



AQUOS ケータイ SH-02L

取扱説明書 '19.1

はじめに

「SH-02L」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

取扱説明書（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
待受画面で☰▶ [ツール] ▶ [取扱説明書]

取扱説明書（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/sh02l/index.html>
※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書で記載しているキーは、実際のデザインとは異なります。
- 本書では、主に本体色「ゴールド」の場合で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SH-02L」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



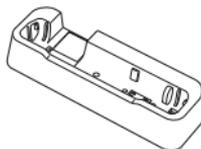
SH-02L本体



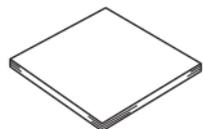
リアカバー SH78



電池パック SH45



卓上ホルダ SH50



クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上のご注意	19
防水／防塵／耐衝撃性能	25

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	31
基本操作	35
ドコモnanoUIMカード	44
microSDカード	48
電池パック	52
充電	53
電源を入れる／切る	57
文字入力	57
初期設定	63

電話

電話をかける	70
電話を受ける	73
通話中の操作	75
リダイヤル／着信履歴	77
通話音声・伝言メモ	78
発着信・通話設定	79
電話帳	82

ドコモ留守電アプリ	86
-----------------	----

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	87
SMS	89
PCメール	92
ウェブブラウザ	95

カメラ

カメラをご利用になる前に	100
静止画の撮影	102
動画の撮影	104
バーコードリーダー	106

ツール／アプリ

テレビ（ワンセグ）	108
ミュージック	112
地図	114
電卓	114
アラーム	115
メモ	116
ボイスレコーダー	117
タイマー	118
ストップウォッチ	118
世界時計	119

歩数計.....	119
PASSNOW (タブレット連携).....	121
データ引継.....	126
SDカードバックアップ.....	128
ケータイデータお預かりサービス.....	129
取扱説明書.....	129
おサイフケータイ.....	130
スケジュール.....	133

本体設定

設定メニュー.....	135
壁紙・ディスプレイ.....	135
マナー・音・パイプ.....	137
省エネ・電池.....	138
ドコモサービス.....	138
位置情報.....	139
セキュリティ.....	140
ネットワーク.....	144
その他.....	147
リセット.....	153

データ管理

本体メモリ (内部ストレージ).....	154
microSDカード (外部ストレージ).....	154
ファイル操作.....	154
パソコンとの接続.....	157

データ通信

赤外線通信.....	158
Bluetooth®通信.....	160
NFC通信.....	164

安心・安全サービス

災害用伝言板.....	166
災害用音声お届けサービス.....	166
緊急速報「エリアメール」.....	167
ドコモあんしんスキャン.....	168
あんしんナンバーチェック.....	169
あんしんフィルター for docomo.....	169
家族あんしん通知.....	170
長エネスイッチ.....	170

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要.....	171
海外で利用可能なサービス.....	171
海外でご利用になる前に.....	172
海外で利用するための設定.....	173
滞在先で電話をかける／受ける.....	174
国際ローミングの設定.....	175
帰国後の確認.....	177

付録／索引

メニュー一覧.....	178
-------------	-----

トラブルシューティング (FAQ).....	182
保証とアフターサービス.....	188
ソフトウェアアップデート.....	191
主な仕様.....	193
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について.....	196
CAUTION.....	200
Inquiries.....	200
輸出管理規制.....	202
知的財産権について.....	202
SIMロック解除.....	204
索引.....	205

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は、電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを經由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え【画面のロック】のパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、SNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google™および各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。</p>
 警告	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。</p>
 注意	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。</p>

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて (共通)

危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水／防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.25「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.25「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.25 「防水／防塵／耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.25 「防水／防塵／耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
 - 電池パックを本端末から取り外す。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
☞ P.25 「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください。電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

☞ P.17 「材質一覧」



指示

本端末を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。



指示

本端末の受話口／スピーカー部、カメラ部に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかた、取り外しかたについては以下をご参照ください。

☞P.52「電池パックの取り付けかた」

☞P.52「電池パックの取り外しかた」



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかたについては以下をご参照ください。

☞P.52「電池パックの取り付けかた」



指示

電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠️ 警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリースocketにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
外装（メインディスプレイ面）	アクリル樹脂+PC樹脂／ハードコート
外装（サブディスプレイ面）	アクリル樹脂／ハードコート
外装（ディスプレイ面の側面）	PA樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート
外装（キー面）	PET樹脂／UV硬化樹脂
外装（キー面の側面）	PA樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部の上側）	PA樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部の下側）	PC樹脂+ABS樹脂／塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部の側面）	PC樹脂+ABS樹脂／塗装、ハードコート
外装（アンテナ部）	PC樹脂+ABS樹脂（ガラス入り）／ニッケルメッキ+塗装
外装（ネジ）	ステンレス
外装（電池収納面シール）	PET樹脂
外装（電池収納面金属部）	洋白
カメラパネル	アクリル樹脂／ハードコート
操作キー（飾りを含む）	UV硬化樹脂
サイドキー	PC樹脂／塗装、ハードコート
充電端子（金属部）	ステンレス／金メッキ
充電端子（樹脂部）	ABS樹脂

使用箇所	材質／表面処理
microUSB-B接続端子（樹脂部）	PA樹脂
microUSB-B接続端子（金属部）	ステンレス+銅合金／錫メッキ、金メッキ
赤外線ポート	アクリル樹脂
microSDカードスロットカバー	ステンレス
microSDカードスロット（金属部）	銅合金／金メッキ
microSDカードスロット（樹脂部）	LCP樹脂
ドコモnanoUIMカードスロットカバー	ステンレス
ドコモnanoUIMカードスロット（金属部）	銅合金／金メッキ
ドコモnanoUIMカードスロット（樹脂部）	LCP樹脂
電池端子（コネクタ本体）	ナイロン
電池端子	銅合金／金メッキ
当たりカバー	UV硬化樹脂
外装（電池収納部）	PA樹脂（ガラス入り）
外装（電池収納下部）	PC樹脂+ABS樹脂
電池収納部スペーサー	PET樹脂
水濡れシール	紙／印刷
規格銘板	PET樹脂／印刷

リアカバー SH78

使用箇所	材質／表面処理
リアカバー本体	PC樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート、印刷
パッキン	シリコンゴム
フェリカアンテナ	フェライト+アルミニウム+PET樹脂+接着剤
電池蓋スパーサー	ウレタン樹脂
電池蓋上スパーサー	PC樹脂

電池パック SH45

使用箇所	材質／表面処理
電池パック本体	PC樹脂
端子部	銅合金／金メッキ
水濡れシール	上質紙／PET樹脂
ラベル	PET樹脂／印刷

卓上ホルダ SH50

使用箇所	材質／表面処理
卓上ホルダ本体（上ケース／下ケース）	ABS樹脂
取り付けラベル	ポリエステル樹脂／印刷+PET樹脂
端子レバー	POM樹脂
ロックレバー	POM樹脂
充電端子	銅合金／金メッキ
接続端子の金属部	ステンレス+銅合金／錫メッキ、金メッキ
ネジ	鉄／メッキ
ゴム足	ウレタン樹脂
製造ロットラベル	紙／印刷+PET樹脂

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-02Lは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押ししたり、引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、本端末の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末の表面は、除菌シートによる拭き取りを想定しています。耐薬品機能のチェックのため、下記の薬品を布に含ませ拭き取り試験を実施しています。
 - ①イソプロピルアルコール99.7%、
 - ②エタノール99.5%、
 - ③次亜塩素酸ナトリウム1.0%
 ただし、変形しないことを保証するものではありません。

電池パックについてのお願ひ

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品のため、保証対象外です。電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池パックを保管される場合は、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、待受画面で▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [認証] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



⑥

- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

⑥ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、待受画面で☑
▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [認証] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の銘板シールに表示しております。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「**技術適マーク**」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [認証]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

SH-02Lは、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP5Xとは、保護度合いをさし、直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信機器の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。
- ※4 MIL規格準拠
米国防総省が制定したMIL-STD-810Gに準拠した独自の試験を実施しています。

試験項目	試験内容
耐衝撃（落下）	高さ1.22mから合板（ラワン材）に製品を26方向で落下させる試験
防水（浸漬）	深さ約1.5mの水中に30分間浸漬させる試験
温度耐久（高温保管）	63℃に固定、および30℃～60℃までの温度変化において72時間の高温保管試験
高温動作	28℃～38℃／湿度43%～78%までの変化において72時間の高温動作試験
温度耐久（温度衝撃）	-21℃～50℃の急激な温度変化において連続3時間の温度耐久試験
低圧対応（低圧保管）	連続2時間（57.2kPa／高度約4,572m相当）の低圧保管試験
耐振動	上下10Hz～500Hz、加速度1.04G、左右10Hz～500Hz、加速度0.2G、前後10Hz～500Hz、加速度0.74Gでそれぞれ60分の振動試験
温度耐久（低温保管）	-33℃～-25℃の温度変化において連続72時間の低温保管試験

- 本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

SH-02Lが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6L/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（P.29「水に濡れたときの水抜きについて」）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

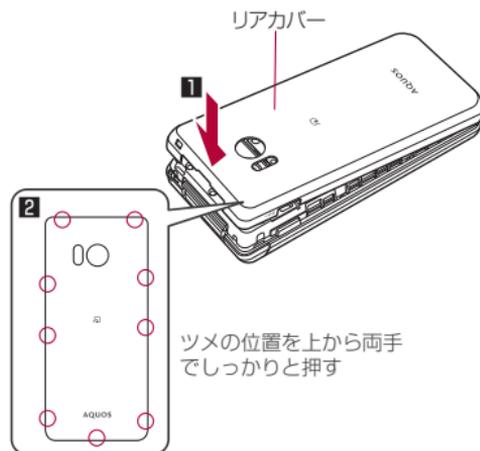
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

■ リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し(1)、○部分をしっかりと押す(2)

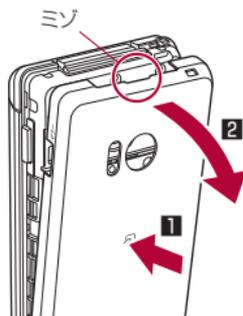
- リアカバーの裏側に、9箇所に取り付け用のツメが付いています。本端末とリアカバーにすき間が生じないように、ツメの位置を上から両手でしっかりと押して取り付けてください。



■ リアカバーの取り外しかた

1 リアカバーの中央部を押さえながら(1)、リアカバーのミゾに指先をかけ、取り外す(2)

- リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。取り外しにくい場合は、本体とリアカバーのすき間に指先をかけてリアカバーを持ち上げ、すき間を広げてから取り外してください。



- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外しはしないでください。
- リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池バックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- リアカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に液体や粉塵が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中で端末を使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6L/分を超える）を直接当てないでください。SH-02LはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります（※P.25「防水／防塵／耐衝撃性能」）。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、空気穴、microUSB-B 接続端子などを尖ったものでつかないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態の場合、ACアダプタ（別売）を接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん/
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

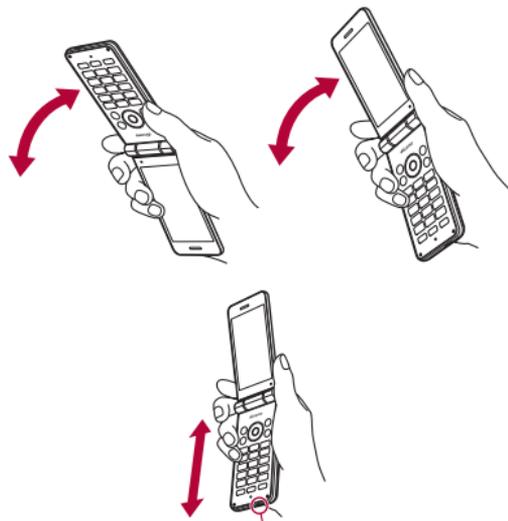
端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。



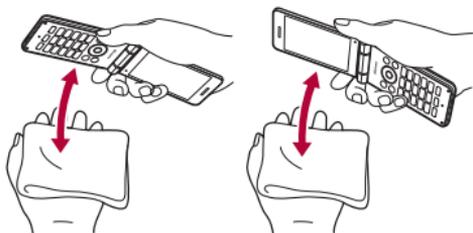
2 端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



microUSB-B接続端子の水抜きのためにmicroUSB-B接続端子を下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、キー、空気穴、ヒンジ部、microUSB-B接続端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、しばらく自然乾燥させてから、卓上ホルダに差し込んでください。

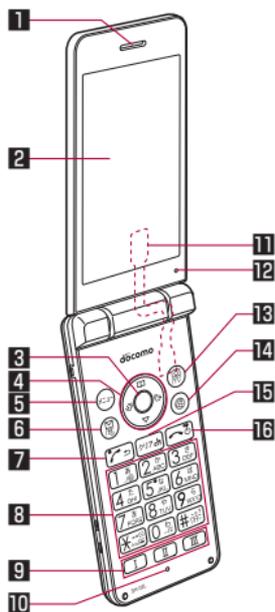
警告

端末が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ（別売）は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1 受話口／スピーカー

- 通話中の相手の声や、着信音や音楽、ハンズフリー通話中の相手の声などが聞こえます。
- 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。通話中のスピーカーホン切替後もしくは通話終了後に、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。

2 メインディスプレイ

3 ●：決定キー

- 項目を選択／決定します。
- 待受画面で押すと、フォーカスモードになります。

4 ⬅️➡️⬆️⬆️⬆️⬆️：方向キー

- カーソルを移動して項目を選びます（[P.35](#)「項目の選択（カーソルの合わせかた）」）。
- 操作の説明では、⬆️、⬆️、⬆️と表記する場合があります。
- 待受画面で次のキーを押すと以下の機能を起動できます。
 - ⬆️：着信履歴一覧画面の表示
 - ⬆️：リダイヤル一覧画面の表示
 - ⬆️：電話帳の表示
 - ⬆️：フォーカスモードの利用

5 Ⓜ️：メニューキー

- メニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
 - 操作ガイダンスについては[P.36](#)「操作ガイダンスについて」

6 : メールキー

- メールの起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
 - ・メールの起動についてはP.87「ドコモメール」
 - ・操作ガイダンスについてはP.36「操作ガイダンスについて」
- 待受画面で1秒以上押すと、メールの問い合わせを行います (P.89「メール問い合わせ」)。

7 : 発信キー

- 電話をかけたり、受けたりします。
- 待受画面で押すと、電話番号入力画面を表示します。

8 ~ 、、、 : ダイヤルキー

- 電話番号や文字を入力します。
- ノーマルメニューの場合は、メニューの項目番号 (, ,  など) に対応するダイヤルキーを押すと機能やアプリを選択できます。
- 待受画面でキーを1秒以上押すと、ドライブマナーを設定/解除できます。
- 待受画面でキーを1秒以上押すと、「+」を入力できます。
- 待受画面でキーを1秒以上押すと、マナーモードを設定/解除できます (P.137「マナーモード設定」)。

9 : クイック起動キー

- クイック起動キーについてはP.69「クイック起動キーの利用」

10 送話口/マイク

- 通話中に自分の声を伝えたり、音声の録音時に使用したりします。

11 テレビアンテナ*

12 空気穴

- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

13 : カメラキー

- カメラの起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
 - ・カメラの起動についてはP.102「静止画の撮影」
 - ・操作ガイダンスについてはP.36「操作ガイダンスについて」
- 待受画面で1秒以上押すと、テレビ(ワンセグ)を起動します。
 - ・テレビ(ワンセグ)についてはP.108「テレビ(ワンセグ)」

14 : ブラウザキー

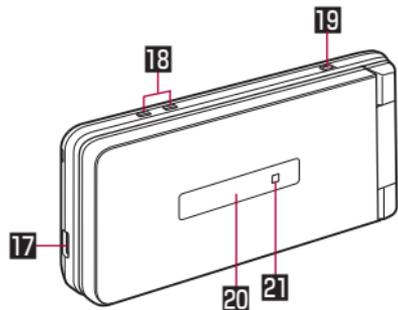
- Webメニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
 - ・Webメニューの表示についてはP.95「ウェブブラウザ」
 - ・操作ガイダンスについてはP.36「操作ガイダンスについて」

15 : クリアキー

- 入力した文字や番号を削除したり、1つ前の画面に戻します。
- 待受画面で押すと、iチャンネルのチャンネル一覧を表示します。

16 : 電源/終了キー

- 2秒以上押して電源を入れます (P.57「電源を入れる/切る」)。
- 1秒以上押して電源を切る/再起動の操作 (P.57「電源を入れる/切る」)、機内モード (P.144「機内モード」) やマナーモードの設定/解除 (P.137「マナーモード設定」) を行います。
- 起動中の機能を終了して待受画面を表示します。



17 microUSB-B接続端子

- 充電時やイヤホンマイク、パソコンなどの接続時に使用します。

18 充電端子

- 付属の卓上ホルダで充電するときに使います。

19 ストラップ取り付け口

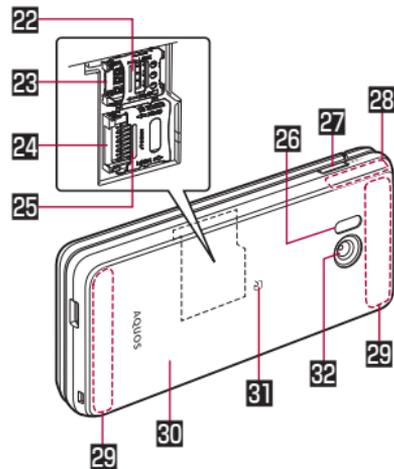
- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してから（☞P.27「リアカバーの取り外しかた」）、ストラップ取り付け口にストラップを通し、中のフックにストラップを掛けてリアカバーを取り付けてください（☞P.26「リアカバーの取り付けかた」）。

20 サブディスプレイ

- サブディスプレイについては☞P.42「サブディスプレイの見かた」

21 着信／充電ランプ

- 着信／充電ランプについては☞P.42「着信／充電ランプ」



22 ドコモnanoUIMカードスロットカバー

23 ドコモnanoUIMカードスロット

- ドコモnanoUIMカードについては☞P.44「ドコモnanoUIMカード」

24 microSDカードスロット

- microSDカードについては☞P.48「microSDカード」

25 microSDカードスロットカバー

26 赤外線ポート

- 赤外線ポートについてはP.158「赤外線送受信のご利用にあたって」

27 目：サイドキー

- 最近使用したアプリの履歴を表示します (P.68「アプリ使用履歴の利用」)。
- 端末を閉じた状態で押すと、サブディスプレイに時計や電池残量、歩数、通知情報などを表示します。
- 端末を閉じた状態で1秒以上押すと、マナーモードの設定／解除を行います。設定する場合は、直前に設定していたマナーモードに切り替えます。

28 GPS／Bluetooth／Wi-Fiアンテナ*

29 LTE／FOMAアンテナ*

30 リアカバー

- リアカバーの内側にある黒いシールは、はがさないでください。シールをはがすと、おサイフケータイをご利用いただけません。

31 ㊟マーク

- ICカードが搭載されています (取り外しはできません)。
- ㊟マークの利用についてはP.130「おサイフケータイ」、P.164「NFC通信」

32 カメラ

- カメラの利用についてはP.100「カメラ」

※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

規格銘板について

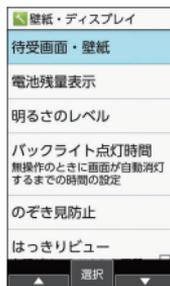
- 電池パックを取り外した場所には、IMEI情報 (端末識別番号)、CEマークなどを印刷したシールが貼られています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となりますので、シールをはがしたりしないでください。規格銘板 (銘板シール) の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.189) をご参照ください。

基本操作

項目の選択やメニューの操作、ディスプレイやアイコンの見かたなど、端末の操作について説明します。

■ 項目の選択（カーソルの合わせかた）

⊗で項目にカーソルを合わせて●を押すと選択できます。カーソルを合わせている項目には枠が表示されたり、色が変わったりします。



● 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記	意味
待受画面で [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ]	待受画面で [設定] を押す ▶ ⊗で [設定] にカーソルを合わせて ●を押す ▶ ⊗で [壁紙・ディスプレイ] にカーソルを合わせて ●を押す

● 項目を選択／入力して●を押す操作において、本書では最後に●を押す操作を省略しています。

● 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。

■ メニューの操作

待受画面で [設定] を押すとノーマルメニュー／シンプルメニューが表示され、機能の設定や変更、アプリの起動を行うことができます。

- メニューについてはP.178「メニュー一覧」
- ⊗で選択するか、ノーマルメニューの場合はメニューの項目番号（1、2、3など）に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- [戻る] を押すと1つ前の画面に戻ります。
- [ホーム] を押すと待受画面に戻ります。

メニュー画面の切替

メニュー画面をノーマルメニュー／シンプルメニューに切り替えます。

1 待受画面で [設定] ▶ [はい]

2 [はい]／[いいえ]

- 文字サイズの確認画面が表示された場合は選択してください。



ノーマルメニュー



シンプルメニュー

■ 操作ガイダンスについて

操作ガイダンスには、機能キー（, , , ) や決定キー（) を押して操作できるメニューや機能が表示されます。

- 表示される内容は画面によって異なります。



- 主に表示されるメニューや機能は次のとおりです。
 - 決定：選択した項目を決定
 - サブメニュー：サブメニュー（使用できる機能）を表示
 - 戻る：1つ前の画面に戻る
 - 閉じる：サブメニュー画面などを閉じる
 - 全選択/全解除：選択できる項目のすべてを選択/解除
 - 表示：選択した画像などを表示
 - 再生/停止：動画や音楽などを再生/停止
 - 全画面：選択した画像などをメインディスプレイいっぱいに表示

- 送信：メールやSMSを送信
- 中断：メール受信などの動作を中止
- ▲ページ/▼ページ、▲/▼、↑/↓：ページ単位でスクロール表示
- 新規作成：メモやスケジュール、SMSなどを新規作成
- 設定：設定項目を表示

■ 待受画面の見かた

待受画面では、現在の状態（ステータス）や新着情報などを確認できます。



1 ステータスバー

- 端末の状態やお知らせなどのさまざまな情報が表示されます。

2 通知アイコン

- 不在着信や新着メールなどのお知らせがあると表示されます。

3 時計/カレンダー

- カレンダーは、カレンダーの表示を設定すると表示されます。待受画面で  ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [待受画面・壁紙] ▶ [カレンダー表示] ▶ [カレンダーの表示] で設定できます。

4 歩数計

- 歩数計の表示を有効にすると表示されます。
待受画面で [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [待受画面・壁紙] ▶ [歩数計] で設定できます。

5 i チャンネルテロップ

- i チャンネルを契約して情報を受信すると、自動的に i チャンネル情報が流れます。
- i チャンネル表示が無効の場合に、クイック起動キーの表示を有効にしていると、クイック起動キーに登録された機能が表示されます。
クイック起動キーの表示は、待受画面で [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [待受画面・壁紙] ▶ [クイック起動キー] で設定できます。

■ フォーカスモードの利用

待受画面に表示されているステータスバーやカレンダー、歩数計、通知アイコンを選択すると、対応するアプリの起動や情報の確認などができます。

1 待受画面で◎/○

- フォーカスモードになります。

2 ステータスバー／カレンダー／歩数計／通知アイコンを選ぶ

- フォーカスモードの解除： [解除] / [戻る]
- フォーカスモード中は、 [設定] / [ホーム] / [メール] / [カメラ] を押してもメニューの表示や機能の起動ができません。



通知アイコンからお知らせ内容を確認

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときに、待受画面に通知アイコンを表示してお知らせします。

- 主な通知アイコンと、選択した場合の動作は次のとおりです。
 - [伝言メモ] (伝言メモ)：伝言メモリスト画面が表示されます。
 - [不在着信] (不在着信)：着信履歴一覧画面が表示されます。
 - [留守番電話サービスの伝言メッセージ] (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：留守番電話接続の確認画面が表示されます。
 - [新着SMS] (新着SMS)：SMS一覧画面が表示されます。
 - [新着メール] (新着メール)：受信BOX画面が表示されます。
 - [通知情報] (通知情報)：ステータスパネルが表示されます。
- 通知情報以外の通知アイコンは、内容を確認すると消えます。
なお、留守番電話サービスの場合は、伝言メッセージを削除/保存すると消去できます。

■ ステータスバーについて

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン：伝言メモやSMSなどの通知を表します。
 - ステータスアイコン：電池残量や電波状態などの端末の状態を表します。



主なお知らせアイコン一覧

	：新着SMSあり (P.89「SMS」)
	：メッセージの送信失敗 (P.89「SMS」)
	：新着メールあり (P.87「ドコモメール」)
	：新着PCメールあり (P.92「PCメール」)
	：新着エリアメールあり (P.167「緊急速報「エリアメール」」)
	：エラー表示 ● 何らかのエラーが発生したときに表示されます。
	：データ通信が無効 (P.146「データ使用量」) ● データ通信の制限を超えた場合に表示されます。
	：アラーム鳴動中／スヌーズ中 (P.115「アラーム」)
	：テレビ視聴中／テレビ受信中
	：スケジュールの予定を通知中 (P.133「スケジュール」)
	：ミュージックで音楽再生中 (P.112「ミュージック」)

通話表示 (P.70「電話」)

：着信中／通話中／発信中

：不在着信あり (P.74「不在着信表示」)

：伝言メモあり (P.78「通話音声・伝言メモ」)

：留守番電話サービスの伝言メッセージあり
(P.79「ネットワークサービス」)

：microSDカード表示 (P.150「ストレージ」)

：本体メモリの空き容量低下 (P.150「ストレージ」)

：Bluetooth通信のデータ受信要求あり
(P.164「Bluetooth通信送受信」)

データ送受信表示

：送信表示

：受信表示

：iチャンネルの情報あり

：長エネスイッチ実行中または設定要求あり
(P.170「長エネスイッチ」)

：スクリーンショットで画像を保存
(P.43「スクリーンショットの撮影」)

テザリング表示 (P.66「テザリング」)

：[USBテザリング] が有効

：[Wi-Fiテザリング] が有効

：[Bluetoothテザリング] が有効

：複数のテザリングが有効

：VPN接続

(P.147「VPN (仮想プライベートネットワーク)」)

 : ソフトウェア更新あり
([P.191](#) 「ソフトウェアアップデート」)

 : おまかせロック設定中

 : あんしんマネージャーからの通知あり
([P.138](#) 「ドコモサービス」)

 : 表示されていないお知らせアイコンあり

主なステータスアイコン一覧

電池残量表示

 ~  : 約100%~約16%

 : 約15%以下

 : 約5%以下

● 充電中は電池マークに [] が重なって表示されます。

電波状態表示

 : レベル4

 : レベル3

 : レベル2

 : レベル1

 : レベル0

 : 圏外

● 本端末にドコモnanoUIMカードを取り付けていないときやドコモnanoUIMカードを読み取れないときは [] が表示されます。

 : 国際ローミング中 ([P.175](#) 「国際ローミングの設定」)

 : おサイフケータイ ロック中
([P.131](#) 「おサイフケータイ ロック」)

 : [Reader/Writer, P2P] が有効 ([P.132](#) 「NFC設定」)

 : 機内モード中 ([P.144](#) 「ネットワーク」)

 : 位置情報測位中 ([P.139](#) 「位置情報」)

3Gデータ通信状態表示

 : 3G使用可能

 : 3Gデータ受信

 : 3Gデータ送信

 : 3Gデータ送受信

GSMデータ通信状態表示

 : GSM使用可能

 : GSMデータ受信

 : GSMデータ送信

 : GSMデータ送受信

4G (LTE) データ通信状態表示

 : 4G (LTE) 使用可能

 : 4G (LTE) データ受信

 : 4G (LTE) データ送信

 : 4G (LTE) データ送受信

HSPAデータ通信状態表示

 : HSPA使用可能

 : HSPAデータ受信

 : HSPAデータ送信

 : HSPAデータ送受信

文字入力モード表示 (☞P.57 「文字入力」)

-  : ひらがな漢字
-  : 半角英字
-  : 半角数字
-  : 半角カタカナ
-  : 全角英字
-  : 全角数字
-  : 全角カタカナ
-  : 区点コード

マナーモード表示 (☞P.137 「マナーモード設定」)

-  : 通常マナー
-  : ドライブマナー
-  : サイレントマナー

 : 電話着信音量を [サイレント] に設定中
(☞P.137 「マナー・音・バイブ」)

 : ハンズフリーで通話中 (☞P.75 「通話中の操作」)

 : ミュートに設定中 (☞P.75 「通話中の操作」)

 : アラーム設定中 (☞P.115 「アラーム」)

Bluetooth機能表示 (☞P.160 「Bluetooth®通信」)

-  : 待機中
-  : 接続中

Wi-Fi電波状態表示 (☞P.64 「Wi-Fiの設定」)

-  : レベル4
-  : レベル3
-  : レベル2
-  : レベル1
-  : レベル0

- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、 のようにWi-Fi電波状態表示に  が重なって表示されます。

伝言メモ表示 (☞P.78 「通話音声・伝言メモ」)

-  : 伝言メモ設定中で伝言メモが0件
-  : 伝言メモ設定中で伝言メモが1～49件
-  : 伝言メモ設定中で伝言メモが50件

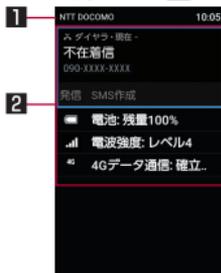
■ ステータスパネルの利用

お知らせアイコンやステータスアイコンの詳細情報を確認したり、対応する機能やアプリを起動できます。

1 待受画面で📶▶ステータスバーを選ぶ

2 ステータスパネルを利用する

- ステータスパネルを閉じる：🔍 / 🏠



1 通信事業者名

2 通知詳細情報

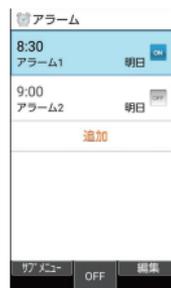
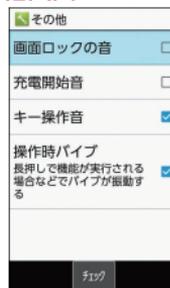
- お知らせアイコンを選択すると、対応する機能やアプリを起動して確認することができます。
 - 🗑️を押して、「通知1件消去」が表示された場合は、通知情報を消去できます。「通知全件消去」を選択すると、通知情報をすべて消去できます。
 - 通知情報によっては、消去できない場合があります。
 - お知らせアイコンを選択中に📶を押すと、返信や共有などの操作ができるものもあります。
- ステータスアイコンを選択すると、設定の確認や変更をすることができます。

■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、項目にカーソルを合わせて🔵を押すと設定の有効/無効や、[ON] / [OFF] を切り替えることができます。

- [🔵] は有効、[] は無効の状態です。
- 操作ガイダンスに [全選択] / [全解除] が表示されているときは、該当する機能キーを押すとすべての項目を選択/解除できます。

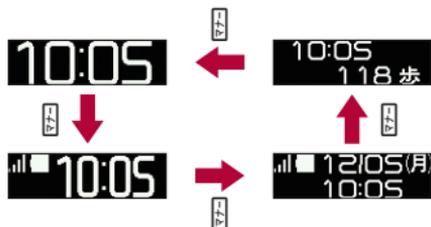
例：その他画面、アラーム画面



■ サブディスプレイの見かた

サブディスプレイには、時間や日付、電波状態や電池残量、不在着信や新着メールなどの通知、着信相手の情報などを表示します。

- 端末を閉じた状態で \square を押すと表示されます。 \square を押すたびに表示が切り替わります。



主なアイコン一覧

電波状態表示

- : レベル4
- : レベル3
- : レベル2
- : レベル1
- : 圏外

- 機内モード設定時は表示されません。

電池残量表示

- ~ ■ : 電池残量
- : 電池残量なし

- 充電中は電池マークに [充電マーク] が重なって表示されます。

マナーモード表示

- : 通常マナー
- : ドライブマナー
- : サイレントマナー
- : 伝言メモ設定中 / 伝言メモあり
- : アラーム鳴動中 / スヌーズ中
- : 機内モード中
- : 不在着信あり

- 件数、通知アイコンのお知らせ内容が表示されるものもあります。

■ 着信 / 充電ランプ

- 着信中や充電中などに着信 / 充電ランプを点灯 / 点滅してお知らせします。
 - 赤色点灯 : 充電中 (電池残量約94%以下)
 - 緑色点灯 : 充電中 (電池残量約95%以上)
 - 緑色点滅 : 不在着信あり / 着信中
 - 青色点滅 : 新着メールあり
 - 白色点滅 : 新着SMSあり
 - 水色点滅 : アラーム鳴動中
- メインディスプレイが表示されている場合は、不在着信、新着メール、新着SMSをお知らせする着信ランプは点滅しません。お知らせアイコンや通知アイコンで確認してください。お知らせアイコンや通知アイコンが表示されないときは、表示される画面で確認してください。

■ スクリーンショットの撮影

☒と☑を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、データBOXの「画像」で確認することができます。

- テレビの表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ プロフィール

ドコモnanoUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- お買い上げ時は、取り付けたドコモnanoUIMカードに登録されている電話番号のみが表示されます。

1 待受画面で☒▶[プロフィール]

2 プロフィールを確認／利用する



1 姓名／ふりがな

- 名前を登録すると表示されます。

2 自分の電話番号

3 画像

プロフィールの編集／利用

1 待受画面で☒▶[プロフィール]

2 ☒▶[プロフィール編集]▶各項目を設定▶☑

- 設定できる各項目については☒P.82「電話帳の登録」
- プロフィールを送信:☒▶[赤外線送信] / [データ送信(共有)]▶画面の指示に従って操作
- 項目のコピー: コピーしたい項目にカーソルを合わせる▶☑

メールアドレスの確認

1 待受画面で☑

2 [メール設定]▶[マイアドレス]

- [更新する]を選択すると、マイアドレスの情報を更新できます。

ドコモnanoUIMカード

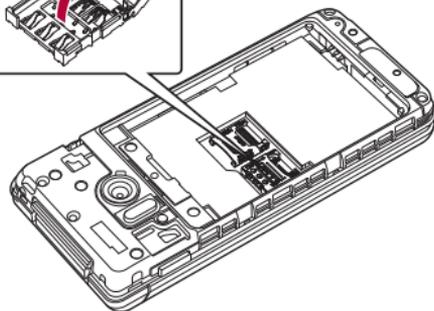
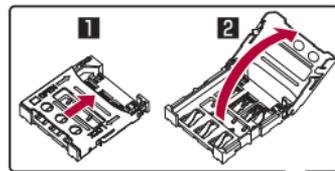
ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります（[P.142](#)「PINコード」）。
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（[P.27](#)「リアカバーの取り外しかた」）、電池パック（[P.52](#)「電池パックの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（[P.26](#)「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（[P.52](#)「電池パックの取り付けかた」）を取り付けてください。

■ ドコモnanoUIMカードの取り付けかた

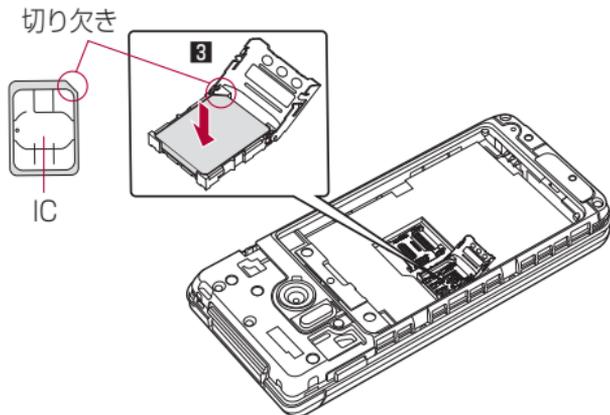
1 ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

- カチッと音がするまで、ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてください。



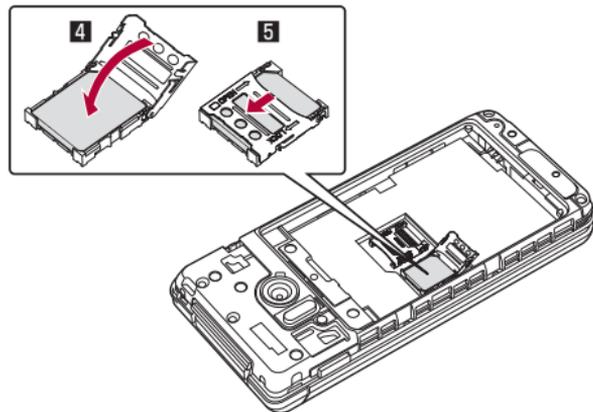
2 ドコモnanoUIMカードのIC(金色)面を下に向けてドコモnanoUIMカードスロットに置く(3)

- 切り欠きの方向にご注意ください。また、上下や表裏が逆の状態では置かないでください。ドコモnanoUIMカードスロットカバーが破損することがあります。



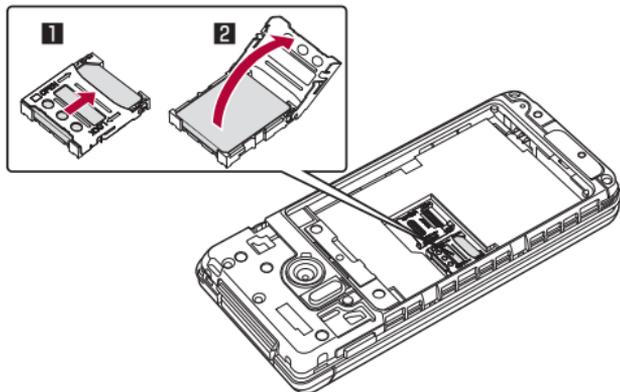
3 ドコモnanoUIMカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)

- カチッと音がするまで、ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてください。

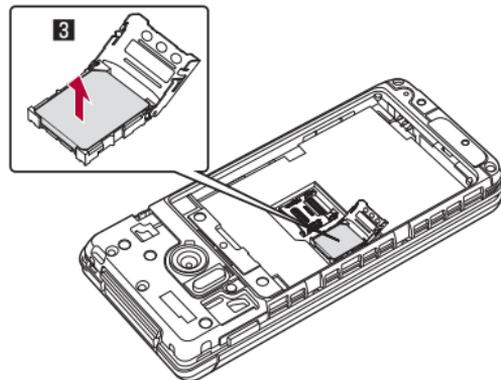


■ ドコモnanoUIMカードの取り外しかた

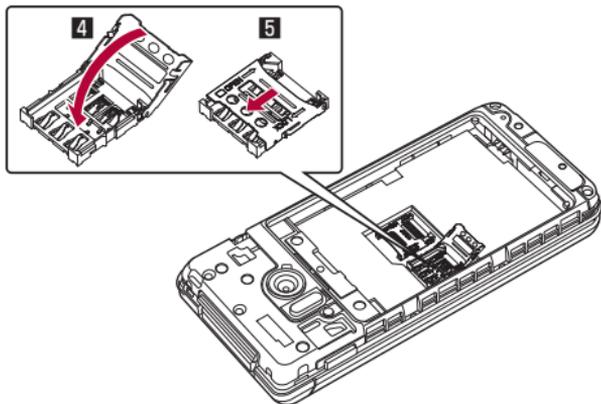
- 1 ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)



- 2 ドコモnanoUIMカードを取り外す(3)



3 ドコモnanoUIMカードスロットカバーを閉じ (4)、スライドさせてロックする(5)



- ドコモnanoUIMカードを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、IC（金色）に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカードスロットカバーが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードスロットカバーは、しっかりとロックしてください。
ロックしていないと、衝撃などでドコモnanoUIMカードが外れ、端末が自動的に再起動する恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-02Lでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大Class 10まで使用できます（2019年1月現在）。

※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh02l/peripherals/microsd.html>

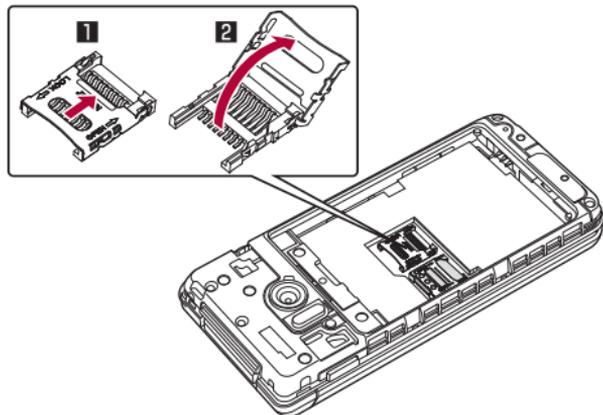
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2Gバイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを取り付けた直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（[P.150](#)「ストレージ」）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管して下さるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（[P.27](#)「リアカバーの取り外しかた」）、電池パック（[P.52](#)「電池パックの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（[P.26](#)「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（[P.52](#)「電池パックの取り付けかた」）を取り付けてください。

■ microSDカードの取り付けかた

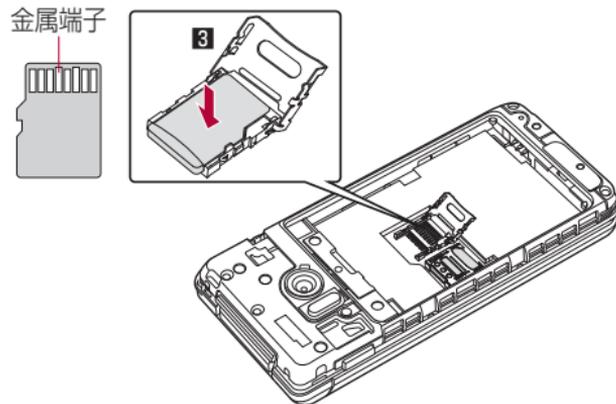
1 microSDカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

- 「カチッ」と音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。



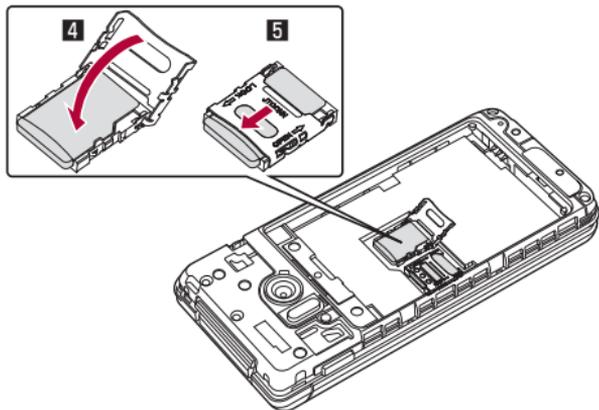
2 microSDカードの金属端子面を下に向けてmicroSDカードスロットに置く(3)

- 上下や表裏が逆の状態で置かないでください。microSDカードスロットカバーが破損することがあります。



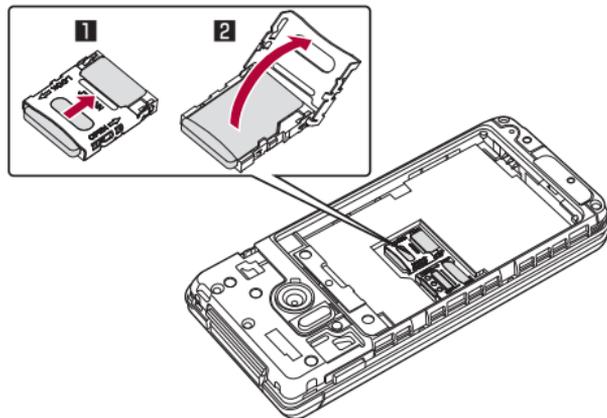
3 microSDカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)

- 「カチッ」と音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。

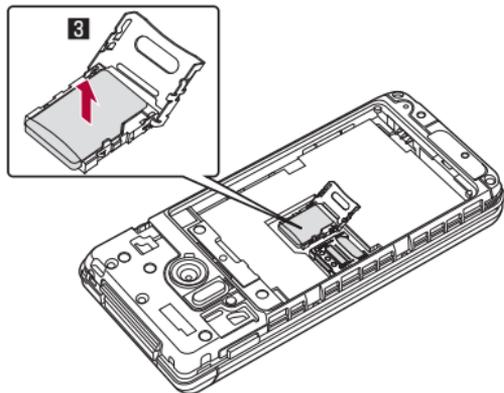


■ microSDカードの取り外しかた

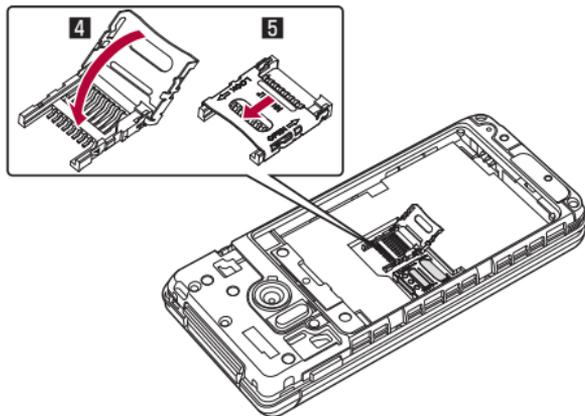
1 microSDカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)



2 microSDカードを取り外す(3)



3 microSDカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)



電池パック

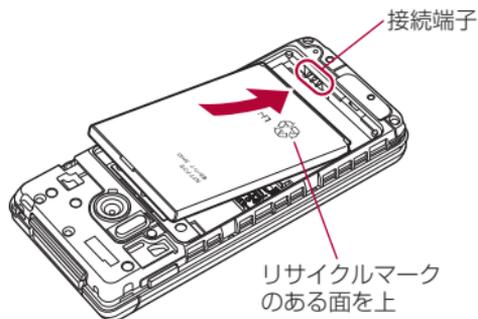
電池パックは、本端末専用の電池パック SH45をご利用ください。

- 電池パックは防水性能を有していません。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（[P.27](#)「リアカバーの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手しっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（[P.26](#)「リアカバーの取り付けかた」）を取り付けてください。

■ 電池パックの取り付けかた

1 電池パックを取り付ける

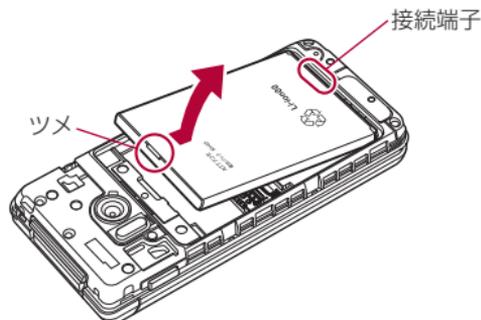
- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、端末の接続端子と電池パックの端子部を合わせて取り付けてください。



■ 電池パックの取り外しかた

1 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指先をかけて、接続端子の方向に軽く押しながら上方向に取り外してください。



- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、端末の接続端子が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.193「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません（充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらテレビの視聴などを長時間行くと電池パックの寿命が短くなることがあります。



■ ACアダプタ、DCアダプタ、USBケーブル

- 詳しくはACアダプタ 05（別売）、DCアダプタ 05（別売）、USBケーブル A to B 01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 05は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

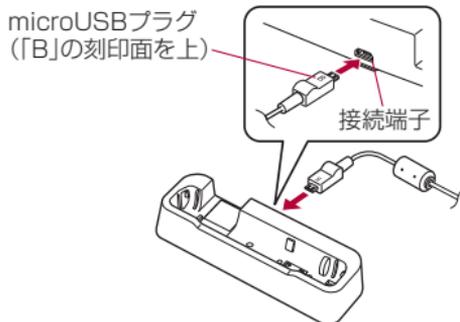
卓上ホルダで充電

[必ずACアダプタ 05 (別売) の取扱説明書を参照してください]

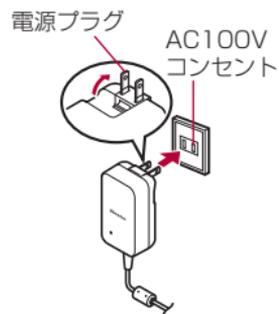
- 付属の卓上ホルダ SH50での充電には、ACアダプタ 05の使用をおすすめします。次の操作はACアダプタ 05を使用して説明しています。
- 端末を閉じた状態でご利用ください。

1 ACアダプタのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を上にして、卓上ホルダの接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

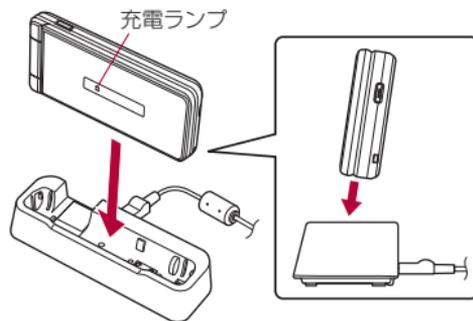


2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



3 端末を卓上ホルダに置くと、充電ランプが点灯して、充電を開始する

- 端末を卓上ホルダの傾きに合わせて矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください。



4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

- 卓上ホルダを押さえながら、端末を持ち上げてください。

5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

6 ACアダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダの接続端子から水平に抜く

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 充電ランプが点灯しないときは、端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置き直してください。
- 端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

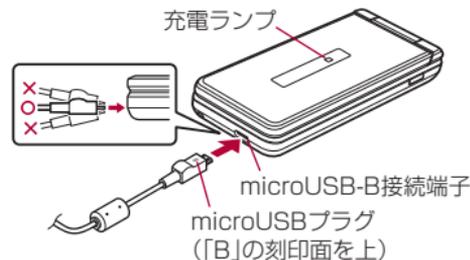
ACアダプタ／DCアダプタで充電

[必ずACアダプタ 05 (別売)、DCアダプタ 05 (別売) の取扱説明書を参照してください]

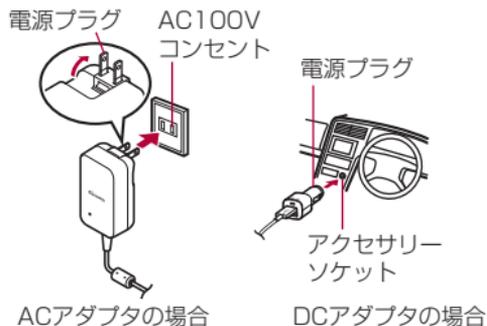
- 次の操作はACアダプタ 05または、DCアダプタ 05を使用して説明しています。
- DCアダプタ 05で充電する場合は、USBケーブル A to B 01 (別売) とあらかじめ接続して使用します。USBケーブル A to B 01の取扱説明書もあわせて参照してください。

1 ACアダプタ／DCアダプタのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を上にして、端末のmicroUSB-B接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

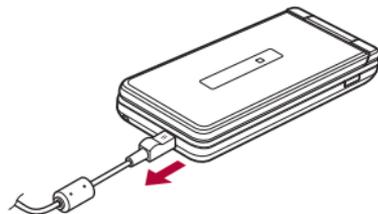


- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のアクセサリソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する



- 3 充電が完了すると、充電ランプが消灯する
- 4 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く、またはDCアダプタの電源プラグを車のアクセサリソケットから抜く

- 5 ACアダプタ／DCアダプタのmicroUSBプラグを端末のmicroUSB-B接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、microUSB-B接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です（DC12V・24V両用）。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、DCアダプタ 05の取扱説明書をご覧ください。

USBケーブル A to B 01で充電

端末とパソコンをUSBケーブル A to B 01（別売）で接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.157「端末とパソコンの接続方法」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 電源を入れる (2秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください (P.63 「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 電源を切る (1秒以上)

2 電源を切る

■ メインディスプレイの表示／非表示

一定時間使用しなかったときは、メインディスプレイの表示が消えます。

メインディスプレイの表示が消えているときに、いずれかのキーを押すと画面が表示されます。

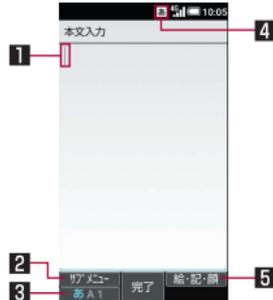
文字入力

電話帳の登録やメールの作成など、文字を入力して利用する機能やアプリがあります。

文字入力のしくみ

1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられています。キーを押すたびに文字が切り替わります。

- 文字の種類には、次の2種類があります。
 - 全角文字：漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字、英小文字、数字、記号
 - 半角文字：カタカナ、英大文字、英小文字、数字、記号



1 カーソル

- 追加したい位置にカーソルを合わせます。

2 サブメニュー

- 入力設定やユーザー辞書登録などができます (P.58 「文字入力のサブメニュー操作」)。

3 入力モード切替

- 入力モードを変更します。
 - を押すたびに半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。

4 入力モード表示

- 入力モードをステータスアイコンで確認できます。

5 絵文字・記号・顔文字

- 絵文字／デコメ絵文字[®]／記号／顔文字リストを表示します。
 - アプリによっては、入力できないものがあります。

■ 文字入力のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能やアプリ、条件などにより異なります。

1 文字入力画面で

2 項目を選ぶ

- **コピー他 (範囲選択)**：入力した文字を選択してコピーや切り取り、貼り付けなどの操作ができます (☞P.62 「文字の編集」)。
- **貼り付け**：コピー／切り取りした文字列を貼り付けます (☞P.62 「文字の編集」)。
- **貼り付け (履歴)**：コピー／切り取りした文字列の履歴を選択して貼り付けます。
 - 履歴は削除することもできます (☞P.62 「履歴の削除」)。
- **文字種変更**：文字種を選択して切り替えます。
- **定型文入力**：定型文を選択して入力します (☞P.61 「定型文入力」)。
 - 定型文を作成して入力することもできます (☞P.61 「定型文の登録」)。

- **ユーザー辞書登録 (白)**：単語をユーザー辞書に登録します (☞P.59 「ユーザー辞書に登録」)。
 - 文字入力画面に入力した文字列を選択して、ユーザー辞書に登録することもできます。
- **引用・連携**：Google™検索などを利用して入力します (☞P.61 「引用・連携」)。
 - 文字入力画面に入力した文字列を選択して、操作することもできます。
- **入力方式**：文字入力の方式をダイヤルキーを繰り返し押し続けて入力するか、2つのキーを押して入力 (ポケベル方式) するか設定します。
- **入力設定**：文字入力について設定します (☞P.58 「文字入力の設定」)。
- **編集キャンセル**：入力をキャンセルして、アプリに戻ります。
 - メールを利用しているときは表示されません。
- **デコメ***：デコメ絵文字[®]を入力します。
- **装飾***：文字を装飾します。
- **挿入***：電話帳を引用したり、メールで設定した定型文や署名を入力します。
 - ※ メールを利用しているときに表示されます。

文字入力の設定

■ 入力補助・変換

- 1 文字入力画面で  ▶ [入力設定] ▶ [入力補助・変換]

2 項目を選ぶ

- **予測変換**：予測変換を利用するか設定します。
- **つながり予測**：入力確定直後につながり予測候補を表示します。
- **ワイルドカード予測**：ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **自動カーソル移動**：文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **ネット変換エンジン**：インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動大文字変換**：半角英字入力で大文字を大文字で入力します。
- **自動スペース入力**：半角英字入力でも単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換] について

- 利用中の機能／アプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ 辞書

1 文字入力画面で ▶ [入力設定] ▶ [辞書]

2 項目を選ぶ

- **ユーザー辞書**：ユーザー辞書の単語を編集します（[P.59](#)「ユーザー辞書に登録」）。
- **ダウンロード辞書**：ダウンロード辞書の登録／解除／削除をします。
- **ダウンロード辞書を追加**：ダウンロード辞書を追加します。
- **電話帳名前データと連携**：電話帳の名前データを辞書に追加／初期化します。

■ 各種リセット

1 文字入力画面で ▶ [入力設定] ▶ [各種リセット]

2 項目を選ぶ

- **設定リセット**：S-Shoinの設定をリセットします。
- **学習辞書リセット**：学習辞書をリセットします。
- **顔文字リセット**：顔文字リストの内容をリセットします。

■ ユーザー辞書に登録

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語でそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語の読みを入力すると、候補一覧に表示されます。

1 文字入力画面で ▶ [入力設定] ▶ [辞書] ▶ [ユーザー辞書]

-  で日本語用／英語用のユーザー辞書を切り替えることができます。
- 日本語のユーザー辞書に単語を登録する場合は、文字入力画面で  ▶ [ユーザー辞書登録 (日)] でも登録できます。

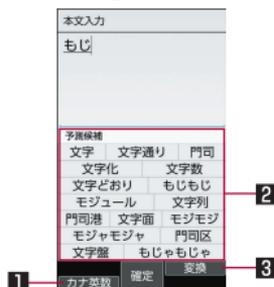
2 ▶ [新規登録] ▶ 読み、単語を入力 ▶ [登録]

- 編集：単語にカーソルを合わせる ▶  ▶ [編集] ▶ 読み、単語を編集 ▶ [登録]
- 1件削除：単語にカーソルを合わせる ▶  ▶ [1件削除] ▶ [はい]
- 全件削除：  ▶ [全件削除] ▶ [はい]

文字入力のしかた

例：「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



1 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、入力したキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補（カナ英数変換候補）を表示します。

2 予測候補欄

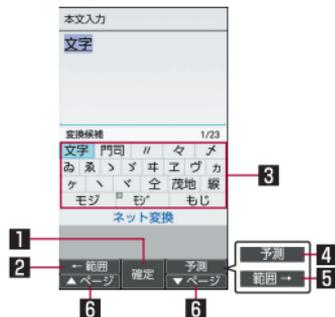
- [予測変換] を有効にしていると表示されます。
-  で選択して入力します。
- ネット変換エンジンを設定している場合は [ネット変換] が表示されます。選択するとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 変換／予測

- 予測候補と変換候補を切り替えることができます。

2

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ



1 確定

- 変換を確定します。

2 ←範囲

- 変換する文字の区切りを縮小することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

3 変換候補欄

-  で選択して入力します。
- ネット変換エンジンを設定している場合は [ネット変換] が表示されます。選択するとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

4 予測／変換

- 予測候補と変換候補を切り替えることができます。

5 範囲→

- 変換する文字の区切りを拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

6 ▲ページ／▼ページ

- 候補一覧のページを切り替えることができます。

- 候補を選択中に を押すと、ブラウザの検索や引用・連携の利用、学習した候補の削除ができます。引用・連携については [P.61](#) 「引用・連携」
- ユーザー辞書やダウンロード辞書を登録すると、候補一覧に表示されるようになります。

■ 定型文入力

あらかじめ登録されている固定定型文や、登録した定型文などを入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [定型文入力]

2 定型文を選ぶ

定型文の登録

よく利用する語句などを定型文として登録できます。

1 文字入力画面で ▶ [定型文入力] ▶ [ユーザーオリジナル]

2 ▶ [新規登録] ▶ 定型文を入力 ▶ [保存]

- 編集：定型文にカーソルを合わせる ▶ ▶ [編集] ▶ 定型文を編集 ▶ [保存]
- 1件削除：定型文にカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除] ▶ [はい]
- 全件削除： ▶ [全件削除] ▶ [はい]

■ 引用・連携

コピー履歴、バーコードリーダー、定型文、Google検索を利用して入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [引用・連携]

2 項目を選ぶ

- **コピー履歴**：コピー／切り取りした文字列の履歴を入力します。
- **バーコードリーダー**：バーコードリーダーで読み取った内容を入力します。
- **定型文入力**：定型文を入力します。
- **Google検索**：Googleで検索します。

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ「ワイルドカード予測」を有効にしておいてください ([P.58](#) 「入力補助・変換」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例：「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 ▶ ▶

- を押すたびに [*] が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 予測候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [文字種変更] ▶ [区点]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 文字入力画面で文字を入力 ▶

- 文字入力画面で  ▶ [コピー他 (範囲選択)] でも選択できます。

2 開始位置を選ぶ ▶ ▶ 終点位置を選ぶ ▶

- 入力したすべての文字を選択：  ▶ 

3 [コピー] / [切り取り]

4 貼り付ける位置を選ぶ

5 ▶ [貼り付け]

-  を1秒以上押すと、直前でコピー／切り取りした文字列を貼り付けることができます。

履歴の削除

コピー／切り取りした文字列は削除することができます。

1 文字入力画面で ▶ [貼り付け (履歴)]

2 履歴にカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除]

- 全件削除：  ▶ [全削除] ▶ [はい]

3 [はい]

- コピー／切り取りした文字列は最大10件まで記憶されます。10件を超えた場合は古い履歴から順に削除されます。

■ スペースの入力

1 文字入力画面の文末で

- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは1文字として数えられます。
- 文中に入力：カーソルを移動 ▶  ▶  ▶ 全角／半角スペースを選ぶ

■ 文字の切替

1 文字入力画面で文字を入力 ▶

- 大文字／小文字の切り替えや、濁点／半濁点の入力ができます。

■ 1つ前の文字を入力

同じキーに割り当てられた文字を1つ前に戻します。

1 文字入力画面で文字を入力 ▶

■ 元に戻す

直前の操作を取り消したり、確定を解除します。

1 文字入力画面で

- 文字を削除した場合は、直前に削除した文字を5回分元に戻すことができます。

■ 文字の1文字削除

1 文字入力画面で

- カーソルの右側の文字が削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル左側の文字が削除されます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソルの文字が削除されます。

■ 文字の削除

1 文字入力画面で (1秒以上)

- カーソルの後ろに文字があるときは、後ろの文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 端末エラー情報送信画面やソフトウェア更新画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK] を選択してください。

1 端末初期設定画面が表示されたら[一括許可する]

- 各機能が関連する別機能を使用する例として、メールの宛先を入力するときの電話帳参照などがあります。
- [許可しない] を選択すると、各機能を最初に使用するとき、許可を求める同意画面が表示されることがあります。
- 初期設定の終了:  ▶ [はい]

2 文字サイズを選択

- [デカ文字] を選択した場合は、[デカ文字] に対応している機能を利用時に [最大] よりも大きな文字サイズで表示されます。



3 通話時の音質を設定 ▶

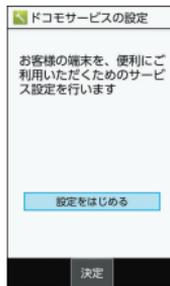
- 設定項目は次のとおりです。
 - スムーズトーク
 - くっきりトーク

4 はっきりビューを設定 ▶

■ ドコモサービスの初期設定

- ドコモサービスは、待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ドコモサービス] でも設定できます。

1 ドコモサービスの設定画面が表示されたら [設定をはじめ]



2 初期設定を行う

- 設定項目は次のとおりです。
 - dアカウント (P.141「dアカウントのパスワード」)
 - ドコモ位置情報

3 [OK]

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi] をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。dアカウントの設定については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi] ▶ ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続] を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録：[ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶ [保存]
- [保存済みネットワーク] を選択すると、接続したことがあるアクセスポイントを表示します。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み] と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定として WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x/EAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、 が表示され、Wi-Fiではなくモバイル ネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、[Wi-Fi 設定] ▶ [接続不良のとき無効にする] を無効にしてください。

■ Wi-Fi 設定

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi 設定]

3 項目を選ぶ

- **オープンネットワークの通知**：オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi] をONにしてから設定してください。
- **接続不良のとき無効にする**：安定したインターネット接続があるときのみWi-Fi機能を利用するか設定します。
- **証明書のインストール**：証明書をインストールします。
- **Wi-Fi Direct**：Wi-Fi DirectについてはP.66「Wi-Fi Direct」
- **WPSプッシュボタン**：WPSプッシュボタン方式で設定します。
 - アクセスポイントのWPSボタンを押してください。自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
- **WPS PIN入力**：WPS PIN方式で設定します。
 - 画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。
- **MACアドレス**：MACアドレスを確認できます。
- **IPアドレス**：IPアドレスを確認できます。

- WPS簡単登録の登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

■ Wi-Fi Direct

アクセスポイントやインターネットを利用せずに、他のWi-Fi Direct規格対応機器とWi-Fi機能で接続できます。

- [Wi-Fi] をONにしている場合に利用できます (P.64 [Wi-Fiの設定])。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [Wi-Fi Direct]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ ▶ [設定削除]

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブル A to B 01 (別売) またはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブル A to B 01 で接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください (P.162 「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [テザリング]

2 項目を選ぶ

- **USBテザリング** : USBテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリング** : Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリングを設定** : ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- **Bluetoothテザリング** : Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

【USBテザリング】について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 7、Windows 8.1、Windows 10の場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

【Wi-Fiテザリング】について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は [Wi-Fiテザリングを設定] で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

【Wi-Fiテザリングを設定】について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は [SH-02L_AP]、セキュリティは [WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 待受画面で ▶ [メール] ▶ [PCメール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する] を選択してください。
- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する] / [同意しない] を選択してください。

2 メールアドレスを入力▶

3 パスワードを入力▶

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する▶

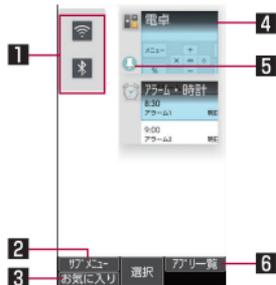
5 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶

アプリ使用履歴の利用

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、Bluetooth機能/Wi-Fi機能を有効/無効に設定することができます。

1

- 機能やアプリを利用中に押しても操作できます。



1 Wi-Fi機能/Bluetooth機能

 : Wi-Fi機能の有効 /  : Wi-Fi機能の無効

 : Bluetooth機能の有効 /  : Bluetooth機能の無効

2 サブメニュー

- 履歴の削除や画面固定を利用できます。

3 お気に入り

- 機能やアプリを登録して起動することができます (P.68 「お気に入りの利用」)。

4 アプリの使用履歴

- 履歴を選択してアプリを起動することができます。

5 画面の固定

- 「画面の固定」がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定についてはP.143 「高度な設定」
-  ▶ 「画面固定」 ▶ 「はい」を選択すると、選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - 画面の固定を解除：とを同時押し

6 アプリ一覧

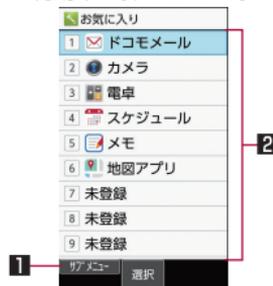
- アプリ一覧から機能やアプリを選択して起動することができます。

お気に入りの利用

よく使う機能やアプリをお気に入りに登録してすばやく起動することができます。

1

- 機能やアプリを利用中に押しても表示できます。



1 サブメニュー

- 機能やアプリの登録/解除ができます。

2 登録情報

-  ~  に機能やアプリを登録できます。

クイック起動キーの利用

よく使う電話番号やお気に入りの機能をクイック起動キーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。また、短押しと長押し（1秒以上）の操作に異なる機能を登録することもできます。

■ クイック起動キーに登録

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [クイック起動キー]
- 2 登録するキー（短押し／長押し）を選ぶ ▶ 登録機能を選ぶ
 - 登録の解除：  ▶ [解除] ▶ [[はい]]

■ クイック起動キーに登録した機能の利用

- 1  /  / 
 - 長押しに登録した場合は  /  /  を1秒以上押しします。
 - 押したキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。

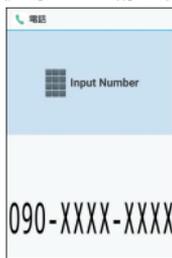
電話

電話や電話帳を利用したり、通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- 最後の1桁を消去：
- すべての桁を消去：（1秒以上）
- カーソルの位置を移動して1桁を消去：▶



2

- 発信オプションを利用して発信：▶ [発信オプション] ▶ 各項目を設定▶/
- SMSの作成・送信：▶ [SMS送信] ▶ メッセージを入力▶
- 電話帳の登録：▶ 登録先を選ぶ▶ 各項目を設定▶

3 通話が終わったら

- 電話番号入力画面で数字を入力すると、「電卓」「タイマー」「アラーム」などの機能をすばやく起動することができます。数字入力後に画面の指示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリア内であること
 - 優先ネットワークモードが [4G/3G/GSM (自動)] であること (P.173 「優先ネットワークモード」)
 - 通話モード設定が [ON] であること (P.145 「モバイルネットワーク」)

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止 (,) / 待機 (;) を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力▶ (1秒以上)

2 送信する番号を入力▶

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい] を選択すると追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力▶ (1秒以上)

2 送信する番号を入力▶

3 通話中に[はい]

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

- あらかじめ連絡先を登録しておいてください (P.82 「電話帳の登録」)。

■ スピードダイヤルへの登録

1 待受画面で▶[電話機能]▶[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の[<未登録>]▶連絡先を選ぶ

■ スピードダイヤルで発信

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0~99)を入力▶

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。

- 待受画面で未登録のスピードダイヤル番号を入力してを押すと、スピードダイヤル一覧が表示されます。スピードダイヤル一覧から連絡先を選んで発信したり、新しくスピードダイヤルに連絡先を登録したりできます。

- スピードダイヤルに登録した連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、待受画面でスピードダイヤルの番号を入力してを押すと、メールの作成ができます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。

- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信すると、着信拒否設定の項目が [OFF] に設定されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- [画面のロック] を設定している場合に、ロックを解除する画面で  を押すと緊急通報をかけることができます。

国際電話 (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

[通話方法]

- 一般電話へかける場合：010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号▶☎
- 携帯電話へかける場合：010▶国番号▶相手先携帯電話番号▶☎
 - 相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください（イタリアなど一部の国・地域を除く）。
 - 「010」の代わりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する



- 2 ☎

- ☎、☎、☎1～☎9、☎✕、☎0、☎田を押しても電話を受けることができます。

- 3 通話が終わったら☎

■ 着信音量調節

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 ☎

■ 着信拒否

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- 2  ▶ [着信拒否]

■ 着信拒否してSMSを送信

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- 2  ▶ [拒否してSMS送信]
- 3 メッセージを選ぶ

■ 伝言メモで応答

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- 2  ▶ [伝言メモ]

伝言メモの再生

- 1 待受画面で  ▶ 通知アイコン [] を選ぶ
 - 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メモ] ▶ [伝言メモリスト] でも確認できます。
- 2 伝言メモを選ぶ

■ あやしい電話に代理で応答

着信相手に名前と要件をたずねるメッセージを流し、相手の声を確認してから電話に出ることができます。代理応答中の相手の声は、通話音声メモとして録音されます。

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- 2 
 - 通常の通話中と同様に相手の声を聞くことができます。
 - 通話する場合は、 /  を押します。通話中も通話音声メモへの録音が継続されます。
 - 通話を拒否するには、 を押します。

不在着信表示

かかってきた電話に出られなかったときは、待受画面に通知アイコン [] が表示されます。

- 1 待受画面で  ▶ 通知アイコン [] を選ぶ
 - 着信履歴一覧画面が表示されます。
 - 待受画面で  を押しても確認できます。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 サブメニュー

- 着信履歴／リダイヤル一覧画面の表示や、通話音声メモとして通話の録音などができます。

3 電話帳

- 電話帳を表示したり、登録などができます。

4 高音質表示

- VoLTEを利用した高音質通話中に表示されます。
 - ・ VoLTE着信中なども表示されます。

5 通話時間

6 ON/OFF

- ハンズフリーのONとOFFを切り替えます。

7 ミュートON/OFF

- ミュートのONとOFFを切り替えます。

8 保留／解除

- 保留／解除にします。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- 保留中はキャッチホンの着信を受けることができません。不在着信として着信履歴に登録されます。

■ 通話音量調節

1 通話中に

■ くっきりトークの利用

くっきりトークを有効にすると、相手の声が聞き取りやすくなります。

1 通話中に ▶ [くっきりトーク] ▶ [ON] / [OFF]

- くっきりトークの聞こえかたは、人によって異なります。
- ハンズフリーやイヤホンマイクで通話中は、くっきりトークを利用できません。

■ スムーズトークの利用

スムーズトークを利用すると、受話口／スピーカーから自分の声が聞こえます。

1 通話中に ▶ [スムーズトーク] ▶ [ON(強め)]／[ON(標準)]／[OFF]

- ハンズフリーやイヤホンマイクで通話中は、受話口／スピーカーから自分の声は聞こえません。

■ 通話を追加

通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

- 通話を追加するにはキャッチホンのご契約が必要です。

例：電話帳を表示して通話を追加するとき

1 通話中に ▶ [電話帳検索]

- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。

2 連絡先にカーソルを合わせる ▶ ▶ ／

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。
- 通話相手を切り替える場合は、通話中に  を押してください。

■ リダイヤル／着信履歴一覧画面の表示

1 通話中に ▶ [着信履歴]／[リダイヤル]

- 通話中に ／ を押しても着信履歴／リダイヤルを表示できません。

■ 音声の出力先の切替

Bluetooth機器を接続しているときのみ操作できます。

1 通話中に ▶ [本体通話切替]／[Bluetooth通話切替]

■ 自局番号確認

1 通話中に ▶ [マイプロフィール参照]

■ 通話音声メモ

1 通話中に ▶ [通話音声メモ]

- 開始音が鳴り、録音を開始します。
- 通話中に  を長押ししても録音を開始できません。

2

- 停止音が鳴り、録音した通話音声メモを保存します。

- 通話音声メモ録音中は、ダイヤルキーによるプッシュ信号が使用できません。プッシュ信号を使用するときは、録音を停止してください。

リダイヤル／着信履歴

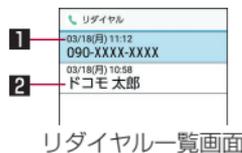
リダイヤル／着信履歴が記憶されます。

- リダイヤル／着信履歴表示件数についてはP.193「主な仕様」

1 待受画面で☎／📞



着信履歴一覧画面



リダイヤル一覧画面

- 1 発着信日時
- 2 相手の名前／電話番号
- 3 不在着信の表示

2 履歴にカーソルを合わせる

- リダイヤル／着信履歴一覧画面の切替：📞

3 📧

- SMSの作成・送信：📧▶メッセージを入力▶📧
- メール作成・送信：📧▶[メール作成]▶メールを作成▶📧
- 番号通知などの条件を設定して発信：📧▶[発信オプション]▶各項目を設定▶📧/📧
- 居場所を確認：📧▶[居場所を確認]▶[イマドコサーチ]／[イマドコかんたんサーチ]
 - [イマドコサーチ]／[イマドコかんたんサーチ]のサイトに接続します。イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- ご利用にはパケット通信料がかかります。
- 電話帳の登録：📞▶[電話帳登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶📞

リダイヤル／着信履歴の削除

1 待受画面で☎／📞

2 履歴にカーソルを合わせる▶📞▶[履歴削除]▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：📞▶[履歴削除]▶[選択削除]▶履歴を選ぶ▶📞▶[はい]
- 全件削除：📞▶[履歴削除]▶[全件削除]▶[はい]

通話音声・伝言メモ

通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておくことで、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 保存可能件数や1件あたりの最大録音時間についてはP.193「主な仕様」
- 通話音声メモはmicroSDカードに直接保存することができます。
- 伝言メモ／通話音声メモをmicroSDカードに保存する場合、保存件数および1件あたりの時間は、microSDカードの空き容量に依存します。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メモ]

2 項目を選ぶ

- **伝言メモリスト**：伝言メモの再生や削除、件名の編集、microSDカードへの保存などができます。
- **通話音声メモリスト**：通話音声メモの再生や削除、件名の編集、microSDカードへの保存などができます。
- **空き容量確認**：伝言メモ／通話音声メモの残り登録可能容量、件数を表示します。
- **伝言メモ設定**：伝言メモの動作について設定します。
- **応答メッセージ設定**：伝言メモの応答メッセージについて設定します。
- **応答時間設定**：伝言メモの応答時間について設定します。
- **通話音声メモ保存先設定**：通話音声メモの保存先を本体メモリ／microSDカードから選択します。

- **通話音声メモ自動録音**：通話開始と同時に自動録音するかどうかを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した通話音声メモが最大保存件数を超えた場合は、古い通話音声メモから順に削除されます。
- 通話音声メモの保存先をmicroSDカードにした場合、microSDカードの空き容量が無くなった時点で録音終了となります。
- 通話音声メモ録音中は、ダイヤルキーによるプッシュ信号が使用できません。プッシュ信号を使用するときは、録音を停止してください。

発着信・通話設定

1 待受画面で☎▶[電話機能]▶[発着信・通話設定]

2 項目を選ぶ

- **ネットワークサービス**：ネットワークサービスについては☎P.79「ネットワークサービス」
- **海外設定**：海外設定については☎P.175「海外設定」
- **着信設定**：着信設定については☎P.80「着信設定」
- **発信設定**：発信設定については☎P.81「発信設定」
- **通話音質設定**：通話音質設定については☎P.81「通話音質設定」
- **その他設定**：その他設定については☎P.81「その他設定」

ネットワークサービス

1 待受画面で☎▶[電話機能]▶[発着信・通話設定]

▶[ネットワークサービス]

2 項目を選ぶ

- **留守番電話サービス**：電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- **転送でんわサービス**：電話を転送するサービスです。
- **キャッチホン**：通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
- **発信者番号通知**：電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。

- **迷惑電話ストップサービス**：繰り返しかかってくる迷惑電話やいたずら電話を着信しないように拒否登録することができます。
- **番号通知お願いサービス**：電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
- **着信通知**：着信の情報をSMSでお知らせします。
- **英語ガイダンス**：各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
- **遠隔操作設定**：留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
- **公共モード（電源OFF）設定**：電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

着信設定

1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [着信設定]

2 項目を選ぶ

- **通話音声・伝言メモ**：通話音声・伝言メモについては  P.78「通話音声・伝言メモ」
- **着信拒否設定**：着信拒否設定については  P.80「着信拒否設定」
- **呼出動作開始時間設定**：電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。
- **応答拒否SMS**：拒否してSMS送信に使用する文章を編集します。
- **クイックサイレント**：端末を閉じているときに  を押すと一時的に着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を停止するか設定します。
- **オープン時動作**：着信中に端末を開いたときの動作を設定します。
- **内線着信**：内線電話の着信音について設定します。

■ 着信拒否設定

1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [着信設定] ▶ [着信拒否設定]

2 項目を選ぶ

- **登録外着信拒否**：電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
- **非通知着信拒否**：電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
- **公衆電話着信拒否**：公衆電話からの着信を受けないように設定します。
- **通知不可能着信拒否**：電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
- **番号指定拒否**：指定した相手からの着信とSMSを受けないように設定します。

【番号指定拒否】について

- [迷惑電話ストップサービス] ( P.79「ネットワークサービス」) から電話番号を指定して着信拒否ができます。
- 着信履歴からサブメニューの [着信拒否番号登録] で電話番号を登録する際には、[迷惑電話ストップサービスに登録] / [番号指定拒否に登録] を選択できます。着信拒否の解除は、各ネットワークサービスから行ってください ( P.79「ネットワークサービス」)。

発信設定

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [発信設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **サブアドレス設定**：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切り子にするか設定します。
 - **プレフィックス設定**：プレフィックス番号について設定します。

通話音質設定

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [通話音質設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **スムーズトーク**：スムーズトークを利用するか設定します。また、受話口/スピーカーから聞こえる自分の声の大きさも設定できます。
 - **くっきりトーク**：くっきりトークを利用するか設定します。

その他設定

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **ドコモへのお問合せ**：ドコモへのお問合せについては  P.81「ドコモへのお問合せ」
 - **オープンソースライセンス**：オープンソースライセンスを表示します。
 - **オフィスリンク設定**：オフィスリンク設定については  P.82「オフィスリンク設定」
- **ドコモへのお問合せ**
- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定] ▶ [ドコモへのお問合せ]
- 2 項目を選ぶ
 - **ドコモ故障問合せ**：故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。
 - **ドコモ総合案内・受付**：総合案内・受付へ電話をかけることができます。
 - **海外紛失・盗難等**：海外から紛失、盗難などの問い合わせ先へ電話をかけることができます。
 - **海外故障**：海外から故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。

■ オフィスリンク設定

オフィスリンクの保留転送を利用するための設定を行います。

※ オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスであり、ご利用には別途ご契約が必要です。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定] ▶ [オフィスリンク設定]

2 項目を選ぶ

- **保留転送機能**：保留転送機能のON/OFFや保留特番などを設定します。
- **プレフィックス付与機能**：プレフィックス付与機能のON/OFFを設定します。

電話帳

連絡先の管理を行うことができます。

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する] / [利用しない] を選択してください。

電話帳の登録

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳登録]

2 [新規連絡先として登録] / [既存の連絡先に追加]

- [既存の連絡先に追加] を選択した場合は連絡先を選択します。

3 各項目を設定

- **姓**：姓を入力します。
- **名**：名を入力します。
- **姓のふりがな**：姓のふりがなを入力します。
- **名のふりがな**：名のふりがなを入力します。
- **電話**：電話番号の種別と電話番号を登録します。
- **メール**：メールアドレスの種別とメールアドレスを登録します。
- **お気に入り**：お気に入りに登録するか設定します。
- **グループ**：グループに分けて登録します。
 - グループ登録している場合のみ設定できます。
- **イルミネーション**：着信ランプのパターンと色を設定します。
- **着信音**：着信音を設定します。
 - [プリセット] / [本体/SD] から着信音を選択できます。
 - [SHSHOWからダウンロード] を選択した場合は着信音をダウンロードすることができます。
- **イベント**：誕生日や記念日などを登録します。
- **住所**：郵便番号と住所を登録します。
- **メモ**：メモを登録します。
- **ニックネーム**：ニックネームを登録します。
- **所属**：所属を登録します。
- **ウェブサイト**：URLを登録します。
- **設定**：画像を登録します。
 - 連絡先確認時やSMS利用時に表示する画像を設定します。

4

電話帳検索

1 待受画面で [メニュー] ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索]

■ 表示方法の切替

電話帳の表示方法を、全件表示（50音）／グループ一覧の表示に切り替えます。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索]

- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。

2 [メニュー] ▶ [確認／設定] ▶ [表示方法の切替]

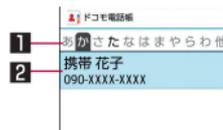
3 表示方法にカーソルを合わせる ▶ [メニュー]

電話帳の確認／利用

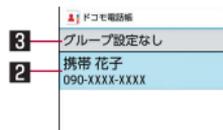
登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索]

- 電話帳リスト画面が表示されます。
- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。
- 待受画面で [戻る] を押しても表示されます。



全件表示（50音）



グループ一覧

1 インデックスタブ

- [戻る] でタブを切り替えます。

2 連絡先

3 グループ名

2 名前を選ぶ

3 登録情報を確認／利用する

携帯 花子 けいたい はなこ
携帯 090-XXXX-XXXX
携帯 docomo.ΔΔ_ab1234yz@..
自宅 XXXΔΔΔ@gmail.com
お気に入り 登録あり
グループ グループなし
イルミネーション 本体ランプ設定
着信音 プリセット着信音
所属 〇〇会社


電話帳内容表示画面

■ 電話をかける

1 電話帳内容表示画面で電話番号を選ぶ

■ SMSの作成・送信

1 電話帳内容表示画面で電話番号にカーソルを合わせる▶▶メッセージを入力▶

■ メールの作成・送信

1 電話帳内容表示画面でメールアドレスを選ぶ▶メールを作成▶

■ 電話帳の編集

1 電話帳内容表示画面で▶[連絡先編集]▶各項目を設定▶

- 設定できる各項目についてはP.82「電話帳の登録」

電話帳の削除

1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせる▶▶[連絡先削除]▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：電話帳リスト画面で▶[連絡先削除]▶[選択削除]▶名前を選ぶ▶▶[はい]
- 全件削除：電話帳リスト画面で▶[連絡先削除]▶[全件削除]▶[はい]

電話帳のバックアップ／復元

1 電話帳リスト画面で▶[SD/SIMカード／共有]

2 項目を選ぶ

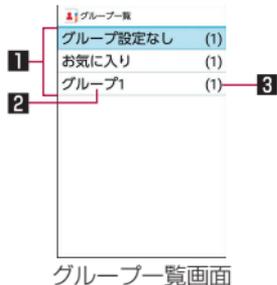
- SDカードへバックアップ／復元：SDカードへバックアップ／復元についてはP.128「SDカードバックアップ」
- SIMカードから復元：SIMカードから連絡先をインポートします。
- 全件データ送信（共有）：連絡先をメールやBluetooth通信で送信します。

グループの利用

1 待受画面で☰▶[電話機能]▶[電話帳]▶[グループ一覧]

- グループ一覧表示の場合は、待受画面で📞を押しても表示されません。

2 グループを利用する



- 1 グループ
- 2 グループ名
- 3 登録されている連絡先の数

■ グループの編集

1 グループ一覧画面で☰▶[グループ追加]▶グループ名を入力▶[OK]

- グループ名変更：グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる▶☰▶[グループ名変更]▶グループ名を入力▶[OK]
- グループ削除：グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる▶☰▶[グループ削除]▶[OK]
- グループの並べ替え：グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる▶☰▶[表示位置を上に移動] / [表示位置を下に移動]

■ グループへの登録／解除

1 グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる

2 ☰▶[グループメンバー変更]▶名前を選ぶ▶📞

- [グループ設定なし] や [お気に入り] は、グループ名の変更、グループの削除などの操作はできません。

ドコモ留守電アプリ

ドコモ留守電アプリとは、留守番電話サービスでお預かりした伝言メッセージがご利用の端末に自動でダウンロードされ、好きな順番で再生できるアプリです。また、音声メッセージをテキストに変換できます。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [ドコモ留守電アプリ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールやSMSなどを利用して、メッセージを送受信したり、ウェブブラウザを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/
- 「ようこそドコモメールへ」の画面が表示されたらを押してください。

ドコモメールの作成・送信

1 待受画面で

2 [新規メール作成]

- を押してもメール作成画面を表示できます。



メール作成画面

3 宛先入力欄を選ぶ

4 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶  ▶ 

- 宛先追加： ▶ 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶  ▶ 
- 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる ▶  ▶ [1件削除] ▶ [はい] ▶ 
- 宛先の選択削除： ▶ [選択削除] ▶ 宛先を選ぶ ▶  ▶ [はい] ▶ 
- 宛先の全件削除： ▶ [全件削除] ▶ [はい] ▶ 

5 件名入力欄を選ぶ ▶ 件名を入力

6 本文欄を選ぶ ▶ 本文を入力

7 

- 下書き保存：

■ 添付ファイル

ドコモメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

2 添付ファイルを選ぶ

- **写真・画像**：静止画やダウンロードした画像を添付できます。
- **動画**：動画を添付できます。
- **電話帳**：電話帳に登録されている連絡先を添付できます。
- **カメラ起動**：カメラを起動し、静止画を撮影して添付できます。
- **その他のファイル**：本体やmicroSDカード内のさまざまなファイルを添付できます。

3

添付ファイルの追加

1 メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

2 ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶

添付ファイルの削除

1 メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

2 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除] ▶ [はい] ▶

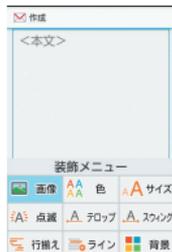
- 選択削除： ▶ [選択削除] ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶  ▶ [はい] ▶ 
- 全件削除： ▶ [全件削除] ▶ [はい] ▶ 

■ 本文の装飾（デコメール®）

メール本文に画像を挿入したり、文字色や文字サイズを変更、背景の色を付けるなどの装飾をすることができます。

1 メール作成画面で本文欄を選ぶ

2 ▶ [装飾] ▶ 装飾方法を選ぶ ▶ 装飾する



装飾メニュー

- 入力済みの文字の装飾： ▶ 装飾開始位置を選ぶ ▶ 装飾終了位置を選ぶ ▶ [装飾] ▶ 装飾方法を選ぶ ▶ 装飾する

■ メール作成画面のサブメニュー操作

1 メール作成画面で

2 項目を選ぶ

- **閲覧に切り替え**：ドコモメールのメニュー画面に切り替えます。
- **プレビュー**：作成中のドコモメールをプレビュー表示します。
- **下書き保存**：作成中のドコモメールを送信せずに「未送信BOX」に保存します。
- **テンプレート**：装飾されたデコメール®のテンプレート（ひな形）を使用してデコメール®を作成したり、作成中のドコモメールをテンプレート保存します。
- **保存せずに終了**：作成中のドコモメールを保存せずに、ドコモメールを終了します。

ドコモメールの受信

ドコモメールは自動的に受信します。

1 ドコモメールを自動的に受信

- 待受画面に通知アイコン 、ステータスバーに  が表示されます。
- 自動で受信しない：待受画面で  ▶ [メール設定] ▶ [通信設定] ▶ [自動通信設定] ▶ [毎回確認する] / [OFF]

2 待受画面で ▶ 通知アイコン を選ぶ

- 待受画面で  ▶ [受信BOX] でも確認できます。

3 フォルダを選ぶ ▶ 未読のドコモメールを選ぶ

■ メール画面の操作

- 拡大／縮小： / 

■ メール問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきたドコモメールをセンターに問い合わせで受信できます。

1 待受画面で (1秒以上)

- 待受画面で  ▶ [新着メール確認／更新] でも問い合わせできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/sms/>

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で ▶ [メール] ▶ [SMS]

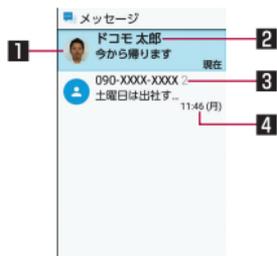
2 ▶ 宛先、メッセージを入力 ▶

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」 / 「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 待受画面で [メール] ▶ [SMS]

- 宛先/送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

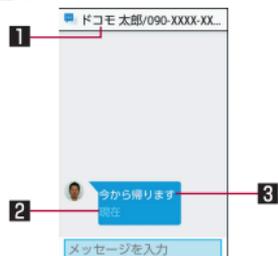
- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。

2 宛先/送信元

3 スレッド内のメッセージ件数

4 送受信日時

2 スレッドを選ぶ



1 宛先/送信元

2 送受信日時

3 メッセージ

3 メッセージを確認する

- 差出人に電話発信:  ▶ [発信] ▶ 
- 差出人を電話帳に登録:  ▶ [電話帳登録] ▶ 登録先を選ぶ ▶ 各項目を設定 ▶ 

メッセージの返信

1 待受画面で [メール] ▶ [SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力 ▶

メッセージの転送

- 1 待受画面で  ▶ [メール] ▶ [SMS]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージにカーソルを合わせる ▶  ▶ [転送]
- 4 宛先、メッセージを入力 ▶ 

メッセージの削除

- 1 待受画面で  ▶ [メール] ▶ [SMS]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージにカーソルを合わせる ▶  ▶ [メッセージを削除] ▶ [はい]

スレッドの削除

- 1 待受画面で  ▶ [メール] ▶ [SMS]
- 2  ▶ [選択削除] ▶ スレッドを選ぶ ▶  ▶ [はい]
 - スレッドの全件削除 :  ▶ [全削除] ▶ [はい]

メッセージの設定

- 1 待受画面で  ▶ [メール] ▶ [SMS]
- 2  ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **デフォルトのSMSアプリ** : SMSを送受信するアプリを確認できます。
 - **着信音** : メッセージ受信時の着信音を設定します。
 - **バイブレーション** : メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
 - **古いメッセージを削除** : 保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除するか設定します。
 - **テキストメッセージの制限件数** : スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
 - **受取確認通知** : 送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
 - **SIMカードのメッセージ** : ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。

【受取確認通知】について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

PCメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください（P.67「メールのアカウントの設定」）。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[メール]** ▶ **[PCメール]**

2 **[新規作成]**

PCメール作成画面

3 宛先入力欄を選ぶ

4 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶ **📧**

- 宛先追加：[新規登録] ▶ 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力
- 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる ▶ **🗑️** ▶ [削除] ▶ [1件] ▶ [はい]
- 宛先の選択削除：**🗑️** ▶ [削除] ▶ [複数選択] ▶ 宛先を選ぶ ▶ **📧** ▶ [はい]

- 宛先の種類を変更：宛先にカーソルを合わせる ▶ **🗑️** ▶ [宛先切替] ▶ [Toへ変更] / [Ccへ変更] / [Bccへ変更]

5 件名入力欄を選ぶ ▶ 件名を入力

6 本文入力欄を選ぶ ▶ 本文を入力

7 **📧**

- 下書き保存：**🗑️** ▶ [下書きを保存]
- 作成中のメールを削除：**🗑️** ▶ [破棄] ▶ [はい]

■ 添付ファイル

PCメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 **[データフォルダ]** / **[その他]** ▶ 添付ファイルを選ぶ

3 **📧**

添付ファイルの追加

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 **[ファイルを追加]** ▶ **[データフォルダ]** / **[その他]** ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶ **📧**

添付ファイルの削除

- 1 メール作成画面で添付欄を選ぶ
- 2 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ **メニュー** ▶ **[削除]**
▶ **[1件]** ▶ **[はい]** ▶ **[OK]**
 - 選択削除：**メニュー** ▶ **[削除]** ▶ **[複数選択]** ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶ **[OK]** ▶ **[はい]** ▶ **[OK]**

メールの表示

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **[メール]** ▶ **[PCメール]**
- 2 **トレイ/フォルダ**を選ぶ ▶ **メール**を選ぶ



- 1 表示中のトレイ名/フォルダ名
- 2 メール
 - 未読メールは、送信元や件名が青い太字の表示になります。

- 3 サブメニュー
 - PCメールの新規作成やスターの付与/解除、アカウント切替、設定などができます。
- 4 スターアイコン
 - 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
 - スターを付けたメールは、★付きフォルダで確認することができます。
- 5 新着受信
 - 新着メールを問い合わせせて受信できます。
- 6 ▲/▼
 - ページをスクロールすることができます。

3 メールを確認する



- 1 送信元/宛先
 - 選択するとアドレスの詳細情報が表示されます。アドレスを選んで、メールの作成や電話帳への登録ができます。
- 2 件名
- 3 本文
- 4 添付ファイル

5 サブメニュー

- PCメールの返信／転送やスターの付与／解除、アカウント切替、設定などができます。

6 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、★付きフォルダで確認することができます。

7 受信日時

8 返信

9 前へ／次へ

- 前のメール／次のメールを表示できます。

メールの返信／転送

1 待受画面で ▶ [メール] ▶ [PCメール]

2 トレイ／フォルダを選ぶ ▶ メールを選ぶ

3

- 全員に返信:  ▶ [全員に返信]
- 本文を引用して返信:  ▶ [引用返信] ▶ [送信者に返信] / [全員に返信]
- 転送:  ▶ [転送]

4 メールを作成

5

メールの削除

1 待受画面で ▶ [メール] ▶ [PCメール]

2 トレイ／フォルダを選ぶ

3 メールを選ぶ

- 1件削除: メールにカーソルを合わせる ▶  ▶ [削除] ▶ [1件] ▶ [はい]
- メールを選択削除:  ▶ [削除] ▶ [複数選択] ▶ メールを選ぶ ▶  ▶ [はい]

4 ▶ [削除] ▶ [はい]

メールの設定

1 待受画面で ▶ [メール] ▶ [PCメール]

2 ▶ [設定]

- **全般設定**: メール全般について設定します。
- **アカウントを追加**: アカウントの追加ができます。
- **プライバシーポリシー**: プライバシーポリシーを確認できます。
- アカウントを選ぶと、署名や通知設定など、各アカウントの詳細について設定できます。

Exchange!について

- 連絡先、カレンダーの同期には非対応です。
- 会議出席依頼への返答後は、受信した会議出席依頼メールは削除されますが、送信済みフォルダに格納されたメールから返答内容を確認することが可能です。

ウェブブラウザ

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

- サイトを表示すると、ポインタが利用できます。ポインタについてはP.95「ポインタの利用」
- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめるサイトやお客サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

1 待受画面で [dメニュー・検索]

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

- dメニューのご利用には、パケット通信 (LTE/3G/GPRS) もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続には、別途パケット通信料がかかります。
- dメニューで紹介しているサイトには、一部有料のコンテンツが含まれる場合があります。

■ サイト画面の操作

- ページの再読み込み/停止： [再読み込み] / [停止]
- 音量変更： [音量変更] ▶ [音量調節]
- 再生中に [7] / [9] を押しても調節できます。
- 拡大/縮小： [拡大縮小] ▶ [拡大/縮小]
- [3] / [1] を押しても調節できます。
- 文字サイズ変更： [文字サイズ変更] ▶ [文字サイズ調節]
- [4] / [6] を押しても調節できます。

- ページの情報を表示： [ページ情報]
- ヘルプの表示： [ヘルプ]

■ サイトの検索

1 検索欄を選ぶ



2 キーワードを入力▶[検索]

■ ポインタの利用

ブラウザで [ポインタ] (ポインタ) を表示させて [ポインタ] と [ポインタ] で操作することができます。

- [ポインタ] を 1 秒以上押すことにポインタの表示/非表示を切り替えます。

■ 新しいタブを開く

1 サイト画面で [新規タブ作成]

- 複数のタブを表示中は、サイト画面で [タブ一覧] ▶ [新規タブ作成] を選択します。

■ タブの切替

1 サイト画面で [タブ一覧]

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

- 1 サイト画面で **メニュー** ▶ [タブ一覧] ▶ タブにカーソルを合わせる ▶ **閉じる**

■ 検索／URL入力

URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

- 1 サイト画面で **メニュー** ▶ [URL入力／Web検索]

2 キーワード／URLを入力

- キーワードを入力して検索するときは、ブラウザ設定の [高度な設定] の [検索エンジンの設定] で指定の検索エンジンを使用します。

■ 画像の保存

- 1 サイト画面で **メニュー** ▶ [画像保存モード]

- 画像保存モードに切り替わります。

2 ポインタで画像を選ぶ

■ 文字のコピー

- 1 サイト画面で **メニュー** ▶ [テキストコピー]

2 ポインタで始点を選ぶ

3 コピーする範囲を指定

- 4 **メニュー** ▶ [コピー]

■ リンクの利用

選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。

- 1 サイト画面でリンクにカーソルを合わせる ▶ **メニュー** ▶ [このリンク]

- 2 [新しいタブで開く]／[リンク先を保存]／[URLをコピー]

■ ページ内の文字の検索

- 1 サイト画面で **メニュー** ▶ [ページ検索]

2 検索する



1 検索終了

2 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

3 前へ

4 次へ

ブックマークの利用

■ ブックマークの登録

- 1 サイト画面で **メニュー** ▶ [ブックマークへ登録] ▶ **閉じる**

■ ブックマークからサイト表示

1 待受画面で▶[ブックマーク]

- サイト画面で▶[ブックマーク一覧]でも表示できます。

2 ブックマークを選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

■ ブックマークの移行

これまでお使いの携帯電話／スマートフォンから本端末への移行

- これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの取扱説明書もあわせて参照してください。

1 これまでお使いの携帯電話／スマートフォンでブックマークのURLをテキストコピー▶メモに貼り付けて登録

2 これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのSDカードバックアップでメモをmicroSDカードにバックアップ

3 バックアップしたmicroSDカードを本端末に取り付ける▶SDカードバックアップでメモを復元

- microSDカードの取り付けかたについてはP.49「microSDカードの取り付けかた」
- メモの復元についてはP.129「データを端末に復元」

4 復元したメモを確認▶URLをテキストコピー

- メモの確認についてはP.116「メモの確認」
- テキストコピーについてはP.58「文字入力のサブメニュー操作」

5 ブラウザを起動し、コピーしたURLのテキストを貼り付けてサイトを表示

- ブラウザにURLを入力するときはP.96「検索／URL入力」
- テキストの貼り付けについてはP.58「文字入力のサブメニュー操作」

6 ブックマークを登録

- ブックマークの登録についてはP.96「ブックマークの登録」

本端末から別の端末への移行

- 移行先の携帯電話／スマートフォンの取扱説明書もあわせて参照してください。

1 本端末でブックマークからサイト表示

- ブックマークからサイト表示するにはP.97「ブックマークからサイト表示」

2 URLをテキストコピー

- URLを選択するときはP.96「検索／URL入力」
- テキストコピーについてはP.58「文字入力のサブメニュー操作」

3 コピーしたURLをメモに貼り付けて登録▶SDカードバックアップでメモをmicroSDカードにバックアップ

- メモの登録についてはP.116「メモの登録」
- テキストの貼り付けについてはP.58「文字入力のサブメニュー操作」
- メモのバックアップについてはP.129「データをmicroSDカードにバックアップ」

4 バックアップしたmicroSDカードを移行先の携帯電話／スマートフォンに取り付ける▶SDカードバックアップでメモを復元▶復元したメモのURLをテキストコピー

5 コピーしたURLでサイトを表示▶ブックマークを登録

サイト閲覧履歴の利用

1 待受画面で▶[サイト閲覧履歴]

- サイト画面で▶[履歴]でも表示できます。

2 閲覧時期を選ぶ／[よく使用]▶履歴を選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

Google検索

GoogleでURLやキーワードを入力してサイトを検索できます。

1 待受画面で▶[Google検索]

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

2 検索ボックスを選ぶ▶キーワード／URLを入力▶



ブラウザ起動

ブラウザ設定の[ホームページを設定]に設定したページに接続できます。

1 待受画面で▶[ブラウザ起動]

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。
- サイト画面で▶[ホーム]でも接続できます。

ブラウザ設定

ブラウザの設定ができます。

1 待受画面で▶[ブラウザ設定]

- サイト画面で▶ [設定] でも設定できます。

2 項目を選ぶ

- **ポインタ設定**：ポインタのモードを設定します。
 - サイト画面でポインタをページのドラッグに利用する場合は [ドラッグモード] に設定します。
ポインタをドラッグしたい位置に移動▶▶▶でページをドラッグできます。
- **ホームページを設定**：ホームページを設定します。
- **画像の読み込み**：ウェブページに画像を表示するか設定します。
- **ファイル保存先**：ファイルの保存先を設定します。
- **プライバシーとセキュリティ**：利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **ユーザー補助**：テキストの倍率や最小フォントサイズなど画面表示について設定します。
- **高度な設定**：サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定をします。

ダウンロード履歴の表示

ダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 待受画面で▶[ダウンロード]

- サイト画面で▶ [ダウンロード] でも表示できます。

2 履歴を選ぶ

カメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについてはP.193「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- 電池残量が少ないときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なう場合がありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。

- [フォーカス設定] を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できることがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠（ExifVer.2.3、JPEG準拠）の形式で保存されます。
- テレビ動作中はカメラをご利用になれません。

著作権・肖像権について

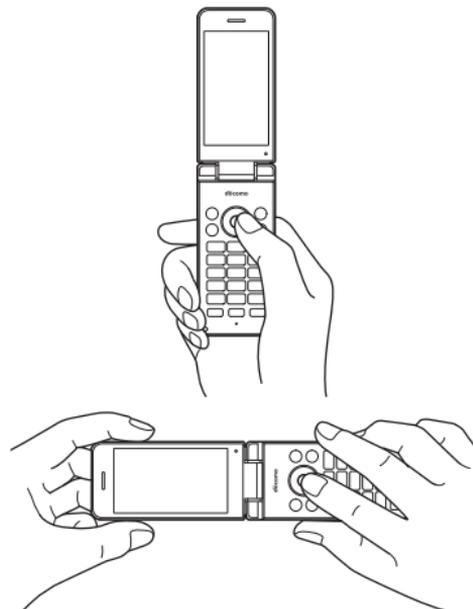
お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

本端末の持ちかた

端末は、図のようにしっかりと持って撮影してください。



カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中に約3分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了します。バーコードリーダーで読み取りを行っている場合、読み取り結果は削除されます。
- シャッター音の音量は変更できません。

カメラの撮影サイズ

■ 静止画撮影

画面比率	撮影サイズ
16 : 9	6M : 3264×1836
	FullHD : 1920×1080
	HD : 1280×720*
4 : 3	8M : 3264×2448
	2M : 1600×1200
	VGA : 640×480

※ [連写撮影] で撮影した場合の撮影サイズです。

■ 動画撮影

画面比率	撮影サイズ
16 : 9	HD : 1280×720
4 : 3	VGA : 640×480
	QVGA : 320×240

静止画の撮影

1 待受画面で

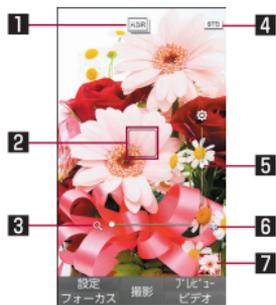
2 本端末のカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整：*
 - ズーム：*
 - ・ 最大倍率は約8.0倍です。
 - カメラの設定メニューを表示：
 - 撮影した静止画を表示：
 - フォーカスをロック：
 - 動画撮影に切替：
 - 画面アイコンの表示/非表示切替：
- ※ 横画面で撮影時はとの操作が入れ替わります。

3

- シャッター音が鳴り、撮影した静止画を保存します。

静止画撮影画面の見かた



1 HDR

- [HDR] の設定がONの場合に表示されます。

2 フォーカスマーク

- 「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。

3 ズーム

4 撮影モード

- 現在の撮影モードを表示します (参照 P.103 「静止画撮影の設定」)。

5 明るさ調整

6 撮影可能枚数

- 残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。

7 ミニプレビュー

- 直前に撮影した静止画のサムネイルを表示します。

静止画撮影の設定

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 待受画面で [戻る] ▶ [メニュー]

2 項目を選ぶ

- **ビデオへ切替**：動画撮影に切り替えます。
- **モード切替**：撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えます。
 - 静止画撮影画面で [2] を押しても設定できます。
 - **カメラ**：「モード切替」で「連写撮影」のとき通常のカメラに切り替えます。
 - **標準**：標準的なモードです。
 - **人物**：人物撮影に適したモードです。
 - **夜景+人物**：夜景での人物撮影に適したモードです。
 - **風景(自然)**：風景撮影に適したモードです。
 - **夜景**：夜景撮影に適したモードです。
 - **セピア**：セピア効果で撮影するモードです。
 - **モノクロ**：モノクロ撮影するモードです。
 - **連写撮影**：1回の撮影で、18枚の写真を撮影するモードです。
 - **撮影サイズ**：撮影サイズを設定します。撮影サイズについては参照 P.102 「カメラの撮影サイズ」
 - 静止画撮影画面で [1] を押しても設定できます。
 - **HDR**：逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [6] を押しても設定できます。
 - **詳細設定**：詳細設定については参照 P.104 「詳細設定」

- **ヘルプ**：キー操作のヘルプやHDRのヘルプを表示します。
 - 静止画撮影画面で O を押してもキー操作のヘルプを表示できます。

- 他のモードへ切り替える場合、撮影モードや撮影カメラによってはカメラを終了したあと、再度カメラを起動する必要があります。

■ 詳細設定

1 待受画面で O ▶ メニュー ▶[詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **ISO感度**：撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- **ホワイトバランス**：撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定します。
- **セルフタイマー**：タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - 静止画撮影画面で 3 を押しても設定できます。
- **フォーカス設定**：被写体に合わせてフォーカスを設定します。
- **手ぶれ軽減**：手ぶれ軽減を利用するか設定します。
 - 静止画撮影画面で 7 を押しても設定できます。
- **保存先設定**：保存先を設定します。
 - 静止画撮影画面で 5 を押しても設定できます。
- **位置情報付加**：位置情報を付加するか設定します。
 - 静止画撮影画面で 4 を押しても設定できます。

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

[ISO感度] について

- 「ISO感度」を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

動画の撮影

1 待受画面で O ▶ O

2 本端末のカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整： Q *
 - ズーム： Z *
 - ・ 最大倍率は約8.0倍です。
 - カメラの設定メニューを表示： メニュー
 - 撮影した動画を表示： O
 - 静止画撮影に切替： O
 - 画面アイコンの表示／非表示切替： X
- *横画面で撮影時は Q と Z の操作が入れ替わります。

3 O

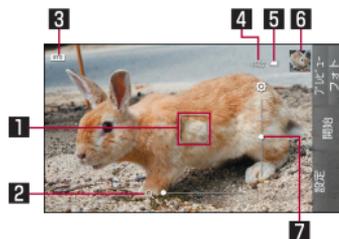
- 撮影開始音が鳴り、撮影を開始します。
- 静止画撮影： メニュー

4 O

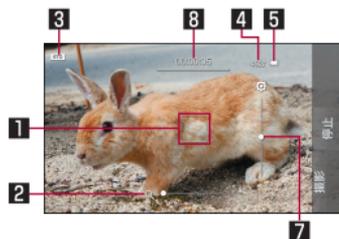
- 撮影停止音が鳴り、撮影した動画を保存します。

動画撮影画面の見かた

- 動画撮影画面は横画面での撮影に適した画面表示となります。横画面で撮影することをおすすめします。



動画撮影前画面



動画撮影中画面

- 1 フォーカスマーク
- 2 ズーム
- 3 撮影モード

- 現在の撮影モードを表示します (P.105「動画撮影の設定」)。

- 4 撮影残時間
- 5 電池残量

6 ミニプレビュー

- 直前に撮影した動画のサムネイルを表示します。

7 明るさ調整

8 撮影時間

動画撮影の設定

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 待受画面で [カメラ] [設定] [メニュー]

2 項目を選ぶ

- **カメラへ切替**：静止画撮影に切り替えます。
- **モード切替**：撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えます。
 - 動画撮影画面で **2** を押しても設定できます。
 - **標準**：標準的なモードです。
 - **人物**：人物撮影に適したモードです。
 - **風景 (自然)**：風景撮影に適したモードです。
 - **タイムラプス**：時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影するモードです。
 - 「連写撮影」については P.103「静止画撮影の設定」
- **撮影サイズ**：撮影サイズを設定します。撮影サイズについては P.102「カメラの撮影サイズ」
 - 動画撮影画面で **1** を押しても設定できます。
- **詳細設定**：詳細設定については P.106「詳細設定」
- **キー操作ヘルプ**：キー操作のヘルプを表示します。
 - 動画撮影画面で **0** を押しても表示できます。

- 他のモードへ切り替える場合、撮影モードや撮影カメラによってはカメラを終了したあと、再度カメラを起動する必要があります。

■ 詳細設定

1 待受画面で [カメラ] ▶ [設定] ▶ [詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **ホワイトバランス**：撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定します。
- **マイク**：マイクを利用するか設定します。
- **セルフタイマー**：タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - 動画撮影画面で [3] を押しても設定できます。
- **フォーカス設定**：被写体に合わせてフォーカスを設定します。
- **保存先設定**：保存先を設定します。
 - 動画撮影画面で [5] を押しても設定できます。
- **微速度撮影間隔**：撮影間隔について設定します。
- **位置情報付加**：位置情報を自動的に付加するか設定します。
 - 動画撮影画面で [4] を押しても設定できます。

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

バーコードリーダー

カメラをかざしてバーコード（JANコード、QRコード）の情報を読み取ることができます。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- JAN8、JAN13を読み取ることができます。

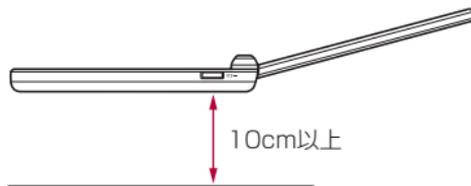
QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

1 待受画面で [カメラ] ▶ [カメラ/TV/音楽] ▶ [バーコードリーダー]

- 明るさの調整： [Q]

2 読み取るバーコードをメインディスプレイに表示



- メインディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示させてください。
- バーコードの真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードや端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

- を押すと、読み取りを一時的に中断します。● を押すと読み取りを再開します。
- バーコードリーダーの設定：▶各項目を設定

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果を選ぶと利用できます。
- 読み取り結果の登録：▶ [読取データ登録]
- 読み取り結果のコピー：▶ [全コピー]

- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- メインディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

テレビ（ワンセグ）

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会：

<https://www.apab.or.jp/>

■ ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

■ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
 - 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
 - トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- 向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

チャンネルリストの作成

テレビを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストは3件まで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネルリスト作成は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [カメラ/TV/音楽] ▶ [テレビ (ワンセグ)]

- 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する] を選択してください。
- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。
- チャンネルリストを追加するとき：テレビ視聴画面で [メニュー] ▶ [チャンネル設定] ▶ [チャンネルリスト編集] ▶ [メニュー] ▶ [作成]

2 項目を選ぶ

- **地域を選んで作成**：地域ごとに割り当てられている放送局を検索します。
- **チャンネルを探して作成**：現在地で受信できるチャンネルを検索します。

3 [📷]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためテレビを利用できません。

テレビ (ワンセグ) の視聴

テレビを視聴します。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [カメラ/TV/音楽] ▶ [テレビ (ワンセグ)]

2 テレビを視聴する



1 番組情報

- 番組名や放送局名が表示されます。

2 映像

3 字幕

4 情報表示エリア

5 音量

- テレビ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。

■ テレビ視聴中の操作

操作モードの切り替えや画面の切り替え、テレビを終了できます。

- データ操作モード／テレビ操作モードの切替：縦画面で 
- 視聴画面の縦画面／横画面の切替： 
- テレビの終了：  ▶ [はい]

■ テレビ操作モードでのキー操作

音量調節やチャンネルの切り替えができます。

- 音量調節： 
- チャンネルの切替：  /  ~ 、、
- チャンネルサーチ：  (1秒以上)

※ 横画面で視聴中は  と  の操作が入れ替わります。

■ データ操作モードでのキー操作

情報表示エリアのデータ放送を利用できます。

- カーソル移動、スクロール： 
- コンテンツで割り当てられた項目を選択：  ~ 、、
- 項目を選択： 
- データ放送の1つ前のページに戻る： 

■ テレビ視聴画面のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 テレビ視聴画面で

2 項目を選ぶ

- **テレビ終了**：テレビを終了します。
- **画面回転**：画面の縦横を切り替えます。
- **チャンネル一覧**：チャンネル一覧を表示します。
- **番組表**：番組表については  P.110 「番組表の利用」

- **音声／字幕設定**：音声／字幕設定については  P.111 「音声／字幕の設定」

- **チャンネル設定**：次の設定を行うことができます。

- **チャンネルサーチ**：チャンネルを検索します。
- **サービス選局**：受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。
- **チャンネルリスト切替**：お使いの地域に合わせて、作成済みのチャンネルリストを切り替えます。
- **チャンネルリスト編集**：チャンネルの割り当てを変更したり、チャンネルリストを作成、削除、再スキャン、名称を変更します。
- **チャンネル個別登録**：視聴中のチャンネルを選択したりモコン番号に登録できます。

- **データ放送再読み込み**：データ放送を再読み込みします。

- **設定**：設定については  P.111 「テレビ（ワンセグ）の設定」

- **TVリンク**：TVリンクについては  P.111 「TVリンク」

- **操作ガイド**：視聴画面での操作方法を表示します。

番組表の利用

1 テレビ視聴画面で ▶ [番組表]

- 視聴中のチャンネルの番組表画面が表示されます。

2 番組を選ぶ

- 番組詳細画面が表示されます。

音声／字幕の設定

テレビ視聴中に音声言語を変更したり、字幕を表示させたりすることができます。

- 番組によって、各機能の有無は異なります。

1 テレビ視聴画面で ▶ [音声／字幕設定]

2 項目を選ぶ

- **音声切替**：音声言語を設定します。
- **音声多重切替**：主音声・副音声について設定します。
- **字幕切替**：表示する字幕について設定します。

テレビ（ワンセグ）の設定

データ放送やテレビの自動終了時間などについて設定できます。

1 テレビ視聴画面で ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **データ放送設定**：データ放送について設定します。
- **オフタイマー設定**：テレビを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- **クローズ動作設定**：テレビ視聴時に端末を閉じたときの動作を設定します。
- **製品情報**：アプリのバージョンを確認できます。

[データ放送設定] について

- [通信接続時の確認] を無効にすると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

TVリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをTVリンクとして登録できます。TVリンクに登録すると、TVリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- TVリンクは50件まで登録できます。
- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 テレビ視聴画面で ▶ [TVリンク]

- 登録したTVリンクを表示します。

2 TVリンクを選ぶ ▶

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

■ TVリンクの削除

1 テレビ視聴画面で ▶ [TVリンク]

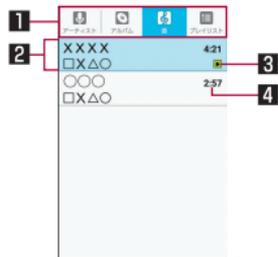
2 TVリンクを選ぶ ▶ ▶ [削除] ▶ [OK]

ミュージック

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生できます。

- 音楽再生の対応コーデックについてはP.193「主な仕様」

1 待受画面で[メニュー]▶[カメラ/TV/音楽]▶[ミュージック]

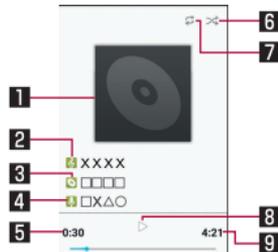


1 カテゴリ

- ①でカテゴリのタブを切り替えます。

- 2 タイトル/アーティスト名/アルバム名
- 3 再生中/一時停止中の音楽データ
- 4 総再生時間

2 音楽データを選ぶ



1 ジャケット画像

2 タイトル

3 アルバム名

4 アーティスト名

5 再生時間

6 シャッフル

☒ : シャッフルOFF / ☑ : シャッフルON

7 リpeat

☒ : リpeatOFF / ☑ : 1曲リpeat / ☑ : 全曲リpeat

8 ▶ : 再生中 / ⏸ : 一時停止中

9 総再生時間

■ 音楽データ再生中の操作

再生音量の調節や前後の音楽データの再生、バックグラウンドで再生できます。

- 再生音量調節：🔊
 - 前の音楽データを再生* / 頭出し：⏮
 - 次の音楽データを再生：⏭
 - 早戻し：⏮ (1秒以上)
 - 早送り：⏭ (1秒以上)
 - バックグラウンドで再生：再生中に🔊 ▶ [はい]
- ※再生時間が約0秒のときに前の音楽データを再生します。

■ 音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 音楽データ一覧画面で🔍

2 項目を選ぶ

- **すべて再生**：表示中の音楽データをすべて再生します。
- **すべてシャッフル**：表示中の音楽データをすべてシャッフルして再生します。
- **プレイリスト保存**：表示中の音楽データを新しいプレイリストに保存します。
- **再生**：カーソル位置の音楽データを再生します。
- **プレイリストに追加**：プレイリストに追加については🔍 P.113 「プレイリストの作成」
- **プレイリスト内削除**：カーソル位置の音楽データをプレイリスト内から削除します。
- **着信音に設定**：カーソル位置の音楽データを着信音に設定します。
- **削除**：カーソル位置の音楽データを削除します。

- **検索**：カーソル位置の音楽データをウェブブラウザで検索したり、端末の「ミュージック」内を検索したりします。

プレイリストの管理

■ プレイリストの作成

- 1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせる ▶ 🔍 ▶ [プレイリストに追加]
- 2 [新規] ▶ プレイリスト名を入力 ▶ [保存]

■ プレイリスト名の変更

- 1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる
- 2 プレイリストにカーソルを合わせる ▶ 🔍 ▶ [名前を変更]
- 3 プレイリスト名を入力 ▶ [保存]

■ 音楽データの並べ替え

- 1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる
- 2 プレイリストを選ぶ ▶ 音楽データにカーソルを合わせる
- 3 🔄 ▶ 変更先を選ぶ ▶ 🔄

■ プレイリストの削除

- 1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる
- 2 プレイリストにカーソルを合わせる ▶  ▶ [削除] ▶ [はい]

地図

地図を利用できます。

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [地図]
 - 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する] を選択してください。
 - 現在地付近の地図が表示されます。
- ## ■ 目的地の検索
- 1 地図表示画面で  ▶ 表示したい場所の情報を入力 ▶ 
 - 表示されたカテゴリを選択しても検索できます。

■ 地図表示画面のサブメニュー操作

- 1 地図表示画面で 
- 2 項目を選ぶ
 - ナビゲーション：目的地までのルートを検索します。
 - 渋滞表示 (VICS)：渋滞表示を設定します。
 - スポット検索：条件を設定して目的地を検索します。
 - 交通情報：交通情報表示を設定します。
 - マイデータ：自分の情報を設定します。
 - 設定：設定メニューを表示します。
 - お知らせ・ヘルプ：お知らせ・ヘルプメニューを表示します。

電卓

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [電卓]
 - 2 計算する
- ## ■ 計算結果のコピー
- 1 計算結果画面で  ▶ [コピー]

- 電卓がバックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で **メニュー** ▶ **[ツール]** ▶ **[アラーム]**

2 登録先にカーソルを合わせる ▶ **📍**

- 登録先の追加：[追加]

3 時刻を設定 ▶ **📍**

4 各項目を設定



1 名称

- 名称を入力します。

2 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

3 アラーム音

- アラーム音を設定します。

4 バイブ設定

- アラーム音が鳴る際にバイブレータを動作させるか設定します。

5 スヌーズ設定

- スヌーズを利用するか設定します。

● アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

● アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、1つ目のアラーム鳴動が停止し、2つ目のアラーム鳴動が開始します。

● アラーム音量を「サイレント」にしているときや、マナーモード設定中にマナーモード中の鳴動を無効に設定しているときはアラーム音は鳴りません。

● 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 いずれかのキーを押す

- スヌーズが設定されているときは **📍** を選択してスヌーズを停止します。それ以外のキーを押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

■ マナーモード中の鳴動設定

1 アラーム画面で **メニュー** ▶ **[設定]**

2 **[マナーモード中の鳴動]**

■ アラーム消音までの時間の設定

1 アラーム画面で **メニュー** ▶ **[設定]**

2 **[消音までの時間]** ▶ 時間を選ぶ

■ スヌーズ間隔の設定

1 アラーム画面で ▶ [設定]

2 [スヌーズの間隔] ▶ ▶

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で ▶ [設定]

2 [アラームの音量] ▶ ▶

■ 登録先の削除

1 アラーム画面で ▶ [選択削除]

- 1件削除：アラーム画面で登録先にカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除] ▶ [はい]

2 登録先を選ぶ ▶ ▶ [はい]

■ アラームの設定／解除

1 アラーム画面で登録先を選ぶ

メモ

メモやスケジュールを作成・管理できます。

メモの登録

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [メモ] ▶

2 各項目を設定 ▶

- 開始／終了日時を登録すると、スケジュール (P.133「スケジュール」) に表示されます。

メモの確認

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [メモ]

2 メモを選ぶ

■ メモの編集

1 メモ詳細画面で

2 内容を編集 ▶

■ メモの削除

1 メモ一覧画面で ▶ [削除] ▶ [選択削除]

2 メモを選ぶ ▶ ▶ [削除する]

- 1件削除：メモ一覧画面で ▶ [削除] ▶ [1件削除] ▶ [削除する]
- 全件削除：メモ一覧画面で ▶ [削除] ▶ [全件削除] ▶ [削除する]

ボイスレコーダー

会談や商談のメモに便利なボイスレコーダーを利用できます。

- 録音データは1件あたり約6時間まで録音できます。保存件数は、本体メモリ/microSDカードの空き容量に依存します。

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [ボイスレコーダー]

2 ▶

- 開始音が鳴り、録音を開始します。

3 ▶ ▶ 件名を選ぶ

- 停止音が鳴り、選択した件名で録音データが保存されます。
- 録音中に端末を閉じたり、電話が着信したり、アラームが鳴動した場合は、録音データを保存の上、録音を終了します。
- 保存されたデータは録音データ一覧画面に表示されます。また、データBOXの「音楽」からも確認することができます。データの移動・コピーなどはデータBOXで行えます。データBOXについては  P.154 「ファイル操作」
- クイック起動キーで録音画面や録音データ一覧画面を起動することもできます。録音画面を起動するには、クイック起動キーの設定で「アプリ一覧」の中から「録音/ボイスレコーダー」や「一覧/ボイスレコーダー」を登録してください。クイック起動キーについては  P.69 「クイック起動キーの利用」

■ 録音データの再生

1 録音データ一覧画面で再生したい録音データにカーソルを合わせる ▶

- もう一度  を押すと再生を停止します。また、 /  で早戻し/早送りができます。

■ 件名の編集

1 録音データ一覧画面で ▶ [件名編集]

2 件名を入力 ▶

■ 録音データの送信

1 録音データ一覧画面で ▶ [送信]

2 [メール添付] / [赤外線送信] / [Bluetooth送信] / [すべて表示]

■ 録音データのコピー

1 録音データ一覧画面でコピーしたい録音データを選ぶ ▶ ▶ [SDカードへコピー] / [本体へコピー]

■ 録音データの削除

1 録音データ一覧画面で削除したい録音データを選ぶ

- 選択削除:  ▶ [選択削除] ▶ 録音データを選ぶ ▶  ▶ [はい]

2 ▶ [1件削除] ▶ [はい]

■ 録音データの詳細情報の確認

1 録音データ一覧画面で確認したい録音データを選ぶ ▶ ▶ [詳細情報]

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [タイマー]

2 時間を入力

3 

- カウントダウンの停止：
- カウントダウンのリセット：
- 設定した時間が経過すると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。停止するにはを押してください。

■ アラーム音の変更

1 タイマー画面で  ▶ [アラーム音]

2 アラーム音を選ぶ ▶ 

■ バイブレータの設定

1 タイマー画面で  ▶ [バイブ設定]

- ONにするとアラーム音が鳴る際にバイブレータが動作します。

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して、経過時間（ラップタイム）／合計経過時間（スプリットタイム）を計測できます。

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [ストップウォッチ]

2 

- ラップタイム、スプリットタイムの計測：

3 

- 計測結果のリセット：

- ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。

世界時計

世界各地の時刻を表示できます。

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [世界時計]
- 2 [追加]
- 3 都市を選ぶ

- サマータイムを導入している国や地域の時刻については、サマータイムを反映した時刻が自動的に表示されます。
- サマータイムは2017年時点の情報に基づいております。

■ 都市の削除

- 1 世界時計画面で ▶ [選択削除]
 - 1件削除：世界時計画面で都市にカーソルを合わせる ▶ ▶ [削除] ▶ [はい]
- 2 都市を選ぶ ▶ ▶ [はい]

歩数計

歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録することができます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [歩数計]
- 2 ▶ [歩数計設定]
- 3 ユーザー情報の各項目を設定 ▶

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - ・ 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・ 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - ・ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・ 立ったり座ったりしたとき
 - ・ スポーツを行ったとき
 - ・ 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - ・ 乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - ・ 受話口／スピーカーから音が出ているとき
 - ・ バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- キャリングケース O2（別売）に入れるときは、キャリングケース O2を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ 歩数計画面の見かた



- 1 今日の歩数
- 2 今日の歩行距離
- 3 今日の消費カロリー
- 4 今日の目標達成率（目標設定時のみ有効）
- 5 今週のエクササイズ（身体活動）量
- 6 今日のエクササイズ（身体活動）量

■ 歩数計画面の表示切り替え

- 1 歩数計画面で  ▶ [簡易表示に切り替え] / [詳細表示に切り替え]

■ 歩数計の停止

- 1 歩数計画面で  ▶ [歩数計設定]
- 2 [歩数計ON]
 - 歩数計がOFFになります。

■ ユーザー情報の変更

- 1 歩数計画面で  ▶ [歩数計設定]
- 2 ユーザー情報の各項目を設定

■ 目標設定

- 1 歩数計画面で  ▶ [目標設定]
- 2 各項目を設定

■ データリセット

- 1 歩数計画面で  ▶ [データリセット] ▶ [はい]

■ 累積データの確認

- 1 歩数計画面で  ▶ [累積データ]

■ ヘルプの表示

- 1 歩数計画面で  ▶ [ヘルプ]

PASSNOW (タブレット連携)

タブレットとペア設定することで、本端末で撮影した静止画をタブレットの大画面に表示して保存したり、本端末で見ているサイトをタブレットで表示できます。また、本端末やタブレットに届いた通知や着信をお互いにお知らせしたり、近くにペア設定した本端末やタブレットがあるかを鳴動させて探すことができます。本機能では、Bluetooth機能、Wi-Fi機能を利用してタブレットと連携します。あらかじめ本端末とタブレットのいずれもBluetooth機能、Wi-Fi機能を有効にしておいてください。

- PASSNOW以外でBluetooth接続を行っている場合は、PASSNOWの連携機能を利用できないことがあります。
- PASSNOWの連携機能が動作しない場合は、本端末とタブレットのBluetooth機能、Wi-Fi機能を一度無効にして、有効にしてください。
- PASSNOWの情報は、シャープ株式会社のホームページ (<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>) をご参照ください。

ペア設定

本端末とタブレットが通信できるように、ペア設定をします。

■ iPadをペア設定

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)] ▶  ▶ [iPad]
- 2 iPadで [設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [SH-02L]

3 [ペア設定リクエスト] ▶ iPadに表示されたコードを入力 ▶ [OK] ▶ [OK]

■ Android™タブレットをペア設定

ペア設定したいタブレットに、あらかじめPASSNOWをインストールしてください。

1 待受画面で [ホーム] ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)] ▶ [Android]

- カメラが起動します。

2 タブレットでPASSNOWを起動

- ディスプレイにQRコードが表示されます。

3 タブレットに表示されたQRコードに本端末のカメラをかざす

- メインディスプレイに表示された枠にQRコードを合わせると、自動的に情報を読み取ります。
- QRコードにカメラのフォーカスが合わず、自動で読み取れない場合は、◎を押すとフォーカスを調整します。

4 画面の指示に従って本端末とタブレットを操作してペアに設定

- リクエスト画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ペア設定後、待受画面で [ホーム] ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)] を選択すると、ペア設定しているタブレットの端末名が表示されます。[ペア解除] ▶ [はい] を選択すると、ペア設定を解除できます。

データBOXからデータの送信

本端末に保存している静止画やテキストデータなどをペア設定したタブレットに送信して、表示・保存できます。

1 待受画面で [ホーム] ▶ [データ]

2 データを選ぶ ▶ [送信] ▶ [PASSNOW]

- 静止画一覧画面で静止画にカーソルを合わせて [送信] ▶ [PASSNOW] を選択して送信することもできます。
- 静止画を表示中／静止画一覧画面で静止画にカーソルを合わせて [送信] を押して送信することもできます。

表示中のサイトやブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示

本端末で見ているサイトやブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示できます。

■ 表示中のサイトをペア設定したタブレットに表示

1 サイト画面で [共有]

- サイト画面で [共有] ▶ [ページ共有] ▶ [PASSNOW] でも操作できます。

■ ブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示

- 1 待受画面で  ▶ [ブックマーク]
 - サイト画面で  ▶ [ブックマーク一覧] でも操作できます。
- 2 ブックマークにカーソルを合わせる ▶  ▶ [プロパティ] ▶ [ブックマーク送信]
- 3 [PASSNOW]

ペア設定したタブレットから受信した電話番号へ発信

ペア設定したタブレットが音声電話に対応していない場合のみ、電話番号を本端末に送信できます。例えば、タブレットでレストランのサイトを閲覧しているときに、そのお店に電話で予約をしたい場合、タブレットに表示された電話番号にタッチすることで、本端末で番号入力をすることなく電話をかけることができます。

- 1 ペア設定したタブレットから電話番号を送信
- 2 本端末のメインディスプレイに電話番号が表示されたら 
 - ペア設定したタブレットから受信した電話番号に発信します。

- ご利用になるタブレット／ブラウザアプリ／サイトによっては、電話番号のリンクが設定されていないことがあります。

本端末の着信・通知をペア設定したタブレットに表示

本端末に着信やメール受信などの通知があったときに、ペア設定したタブレットでも着信・通知を表示できます。

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)]
- 2 [通知連携] ▶ [OK] ▶ [通知連携(PASSNOW)]
- 3 [通知連携(PASSNOW)] ▶ [はい]
 - 「通知連携 (PASSNOW)」が [ON] に切り替わります。
 - 本端末に着信やメール受信の通知があると、自動的にペア設定したタブレットに通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度 [通知連携] ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [はい] を選択してください。

ペア設定したiPadの通知を本端末に表示

ペア設定したiPadにメール受信などの通知があったときに、本端末でも表示できます。

1 待受画面で [通知] ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)]

2 [通知連携] を有効にする

- ペア設定したiPadにメール受信などの通知があると、自動的に本端末に通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、[通知連携] を無効にしてください。
 - 未接続の場合や接続が切れた場合は、[再接続] を押して再接続してください。
- 通知を連携したiPadから通知を受けるとステータスバーに表示されます。ステータスパネルを開き、通知を選択すると通知の詳細を一覧画面で確認できます。
- iPadで [設定] ▶ [通知] を選択すると、通知を行うアプリを設定できます。

ペア設定したタブレットの着信・通知を本端末に表示

ペア設定したタブレットの着信やメール受信などの通知があったときに、本端末でも表示できます。通知ごとに通知/非通知を設定することもできます。

- 利用するタブレットによっては操作が異なる場合があります。

1 ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動

2 通知を連携する「設定」を起動

3 アプリごとに [通知] / [非通知]

4 ON/OFFスイッチをONに設定 ▶ [OK]

5 [通知連携(PASSNOW)] ▶ 「通知連携(PASSNOW)」をONに設定 ▶ [許可]

- 「通知連携 (PASSNOW)」が [ON] に切り替わります。
 - ペア設定したタブレットに着信やメール受信の通知があると、自動的に本端末に通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、通知を連携する「設定」を起動 ▶ ON/OFFスイッチをOFFに設定 ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] をOFFに設定 ▶ [OK] を選択してください。
- 通知を連携したタブレットから通知を受けるとステータスバーに表示されます。ステータスパネルを開き、通知を選択すると通知の詳細を一覧画面で確認できます。
- 通知を行うアプリによっては、通知が連携できない場合があります。

- ペア設定したタブレットがサイレントマナー設定中は、通知が連携できない場合があります。

ペア設定したタブレットからSMSを送信

本端末に着信があった際、電話に出られないときにペア設定したタブレットからSMS（定型文）を送信することができます。

- 1 本端末に電話がかかってくる
- 2 ペア設定したタブレットで[クイック返信] ▶ メッセージを選ぶ
 - 電話をかけてきた相手にSMSが送信されます。

ペア設定した本端末やタブレットを鳴動させて探す

ペア設定した本端末やタブレットが周囲にあるか、お互いを鳴動させて探すことができます。

- 1 待受画面で ☎ ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)]
 - タブレットから本端末を呼び出す：ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動
 - 2 [ペア端末呼び出し] ▶ [呼び出す]
 - 呼び出された本端末やタブレットが鳴動します。[停止] を選択すると呼び出し音が停止します。
 - 呼び出しできないと失敗画面が表示されます。
- 呼び出し音の音量は変更できません。

ペア設定したタブレットで本端末の写真／動画を取り込む

本端末で撮影した写真／動画をペア設定したタブレットから閲覧したり、タブレットに保存することができます。

- 1 ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動 ▶ [コンテンツ選択]
 - 本端末で撮影した写真／動画が一覧表示されます。写真／動画を選択後、[保存] を選択するとタブレットにデータが保存されます。

- この機能は、ペア設定したタブレットがWi-Fiテザリング中の場合には利用できません。
- ご利用のタブレットのデバイス名もしくはWi-Fi Directのデバイス名に、長い日本語が設定されている場合は、この機能を利用できないことがあります。日本語を短くするか、半角英数字に変更してご利用ください。
- ご利用のタブレットが5GHz帯のWi-Fiに接続している場合、タブレットの機種によっては本機能がご利用できないことがあります。その際は、タブレット側でWi-Fiのアクセスポイントとの接続を一時的に切断してご利用ください。

データ引継

microSDカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本端末の本体メモリに取り込んだり、本端末のデータをバックアップ／復元することができます。また、携帯電話のデータを赤外線通信機能を利用して取り込んだり、スマートフォンの電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- 「データ保存」でmicroSDカードにバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - カレンダー
 - ユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）
- microSDカードにバックアップ中は【機内モード】が有効になります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [データ引継]

2 項目を選ぶ

- **開始**：microSDカードにデータを保存したり、microSDカード、赤外線通信、Bluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
 - **従来の携帯電話から**：赤外線通信、microSDカード、ドコモバックアップを利用します。ドコモバックアップについてはP.128「SDカードバックアップ」
 - **スマートフォンから**：microSDカード、Bluetooth機能を利用します。
 - **データ保存**：microSDカードにデータを保存します。
- **取り込み前の準備方法**：データ引継を使用する前の準備方法を表示します。

■ microSDカードにバックアップファイルを保存

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [データ引継]

2 [開始] ▶ [データ保存]

3 保存するデータカテゴリを選ぶ

4  ▶ [はい]

5 

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [データ引継] ▶ 

2 項目を選ぶ

- **保存ファイルの整理**：保存されているバックアップデータを削除できます。
- **電話帳画像保存**：電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- **結果画面閲覧**：最新のバックアップファイルの保存/取り込みの結果を表示します。

■ microSDカードに保存したバックアップファイルの取り込み

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [データ引継]

2 [開始]

3 [従来の携帯電話から] / [スマートフォンから] ▶
[SDカード] / [SDカード経由]

4 

5 取り込むバックアップファイルを選ぶ

6 

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。

- ユーザー辞書/学習辞書 (SH文字入力) を取り込む場合、本体メモリに保存されているユーザー辞書/学習辞書 (SH文字入力) のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ 携帯電話から赤外線通信機能を利用してデータを取り込む

- 赤外線通信については [P.158](#) 「赤外線通信」

1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [データ引継]

2 [開始] ▶ [従来の携帯電話から] ▶ [赤外線]

3 

4 

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ スマートフォンからBluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [データ引継]

2 [開始] ▶ [スマートフォンから] ▶ [Bluetooth経由]

3

4 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする
▶

5 取り込み元の端末を選ぶ ▶

- ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6

7 [追加登録] / [削除して登録]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい] を選択してください。

8 [OK]

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- microSDカードへバックアップ/復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - ドコモメール
 - 画像
 - 動画
 - 音楽データ
 - 通話履歴
 - スケジュール/メモ
- microSDカードへのバックアップでは、本体メモリに保存されているデータのみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [SDカードバックアップ]

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

データをmicroSDカードにバックアップ

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 SDカードバックアップ画面で[バックアップ]

2 バックアップするデータカテゴリを選ぶ

3 ▶[開始する]

- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていない電話帳はコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

データを端末に復元

- あらかじめデータのバックアップを行ったmicroSDカードを挿入しておいてください。
- 電話帳を復元する場合は、電話帳コピーツールや i モード端末のmicroSDカードへバックアップする機能で作成したファイルも復元できます。

1 SDカードバックアップ画面で[復元]

2 復元するデータカテゴリの[選択]

3 バックアップファイルを選ぶ▶

4 [追加]／[上書き]

5 ▶[開始する]

ケータイデータお預かりサービス

大切なスケジュール・メモなどを自動更新でかんたんにバックアップできます。

- ケータイデータお預かりサービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で▶[ツール]▶[ケータイデータお預かりサービス]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

取扱説明書

端末の操作方法がわからないときに利用してください。取扱説明書が表示され、それぞれの機能の説明や操作方法などを確認することができます。機能を直接起動することもできます。

1 待受画面で▶[ツール]▶[取扱説明書]

2 取扱説明書を確認する

- 索引検索：▶[索引検索]
- ワードで検索：▶[検索]▶検索ワードを入力▶[検索]
- お気に入り登録：▶[お気に入り登録]▶[はい]
- お気に入りの確認：▶[お気に入り確認]▶お気に入りを選ぶ
- 目次検索：
- 前ページに戻る：
- 次ページに進む：

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ*が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。

- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

■「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイアプリよりサービスを設定してください。

1 待受画面で ▶ [おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されません。画面の指示に従って操作してください。

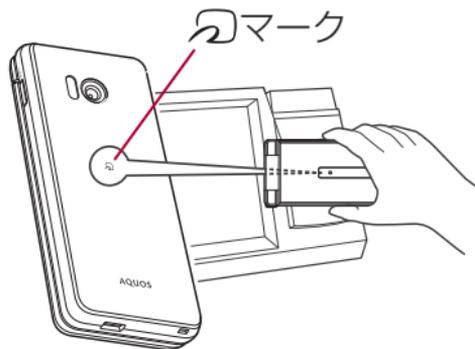
2 サービスを選ぶ

- 利用したいサービスを選択し、設定してください。

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 端末のマークを読み取り機にかざす



- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、[画面のロック] を解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。
 - マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 - マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

■ おサイフケータイ ロック

おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- おサイフケータイ ロックは、本端末の [画面のロック]、[SIMカードロック設定] とは異なります。

1 待受画面で ▶ [おサイフケータイ] ▶ ▶ [次へ]

2 画面の指示に従って、おサイフケータイ ロック設定の暗証番号を入力

- 初回設定時のみ暗証番号の設定が必要となります。

- おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに [] が表示されます。
- おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後におサイフケータイ ロックを解除してください。
- おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、おサイフケータイ ロックを解除してください。
- おサイフケータイ ロック設定の暗証番号は、本端末を初期化しても削除されません。

■ NFC設定

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [NFC設定]

2 項目を選ぶ

- **Reader／Writer, P2P** : Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- **Androidビーム** : Androidビームを利用したデータ通信ができます。
 - AndroidビームについてはP.164「Androidビーム」

■ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページをご覧ください。
<https://id-credit.com/>

スケジュール

スケジュールを作成・管理できます。

1 待受画面で ▶ [スケジュール]

2 スケジュールを確認する



- 1 表示している年月
- 2 登録されている予定

■ スケジュール画面の操作

- 登録されている予定の表示：登録されている日付を選ぶ
- 前月／翌月に移動： /

■ スケジュール画面のサブメニュー操作

1 スケジュール画面で

2 項目を選ぶ

- **新規作成**：新規作成については [P.133](#) 「スケジュールの作成」
- **前月**：前月を表示します。
- **翌月**：翌月を表示します。
- **日付移動**：選択した日付に移動します。
- **表示条件**：予定を検索して表示できます。
- **メモ一覧へ**：メモ一覧へについては [P.116](#) 「メモの確認」
- **全件削除**：予定をすべて削除します。
- **設定**：設定については [P.134](#) 「スケジュールの設定」

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で ▶ [新規作成]

- を押しても新規作成画面を表示できます。

2 各項目を設定 ▶

■ スケジュールの削除

1 スケジュール画面で日付を選ぶ

- 1件削除：スケジュールにカーソルを合わせる ▶ ▶ [削除] ▶ [1件削除] ▶ [削除する]

2 ▶ [削除] ▶ [選択削除]

- 全件削除： ▶ [削除] ▶ [全件削除] ▶ [削除する]

3 スケジュールを選ぶ ▶ ▶ [削除する]

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **アラーム**：アラームについて設定します。
- **誕生日データ更新**：電話帳に登録されている誕生日を反映します。
- **クラウドと同期**：クラウドと登録内容を同期します。
- **クラウド設定**：クラウドを利用するか設定します。
- **ヘルプ**：ヘルプを表示します。
- **アプリ情報**：アプリケーション情報を表示します。

本体設定

設定メニュー

待受画面で  ▶ **【設定】** を選択して表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- **壁紙・ディスプレイ**：画面表示などについて設定します。
- **文字サイズ・フォント**：文字サイズやフォントについて設定します。
- **マナー・音・パイプ**：マナーモードや着信音、パイプレーションなどについて設定します。
- **省エネ・電池**：長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。
- **Wi-Fi**：Wi-Fi機能について設定します。
- **Bluetooth**：端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
- **ドコモサービス**：ドコモサービスの設定を行います。
- **位置情報**：位置情報の測位について設定します。
- **クイック起動キー**：クイック起動キーについては  P.69 「クイック起動キーの利用」
- **セキュリティ**：セキュリティロックについて設定します。
- **ネットワーク**：ネットワークについては  P.144 「ネットワーク」
- **その他**：日付と時刻、セルフチェックなどについて設定します。

【文字サイズ・フォント】について

- [デカ文字] を選択した場合は、[デカ文字] に対応している機能を利用時に [最大] よりも大きな文字サイズで表示されます。

壁紙・ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 待受画面で ▶ **【設定】** ▶ **【壁紙・ディスプレイ】**

2 項目を選ぶ

- **待受画面・壁紙**：待受画面・壁紙については  P.136 「待受画面・壁紙」
- **電池残量表示**：電池残量の表示方法を設定します。
- **明るさのレベル**：明るさのレベルについては  P.136 「明るさのレベル」
- **バックライト点灯時間**：バックライトの点灯時間を設定します。
- **のぞき見防止**：のぞき見防止については  P.136 「のぞき見防止」
- **はっきりビュー**：色調がはっきりとした画質で表示するか設定します。
- **リラックス画質**：目に優しい画質にするか設定します。
- **サブディスプレイ**：サブディスプレイについては  P.136 「サブディスプレイ」
- **キー照明**：ダイヤルキーなどのキーを点灯するか設定します。

【バックライト点灯時間】について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

待受画面・壁紙

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [待受画面・壁紙]

2 項目を選ぶ

- **壁紙**：待受画面の画像を設定します。
- **時計表示**：時計の種類や表示について設定します。
- **歩数計**：歩数計を表示するか設定します。
- **カレンダー表示**：カレンダーの表示について設定します。
- **クイック起動キー**：iチャンネルが非表示のときにクイック起動キーを表示するか設定します。
- **iチャンネル表示**：iチャンネルを表示するか設定します。

明るさのレベル

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [明るさのレベル]

2 ▶

- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

のぞき見防止

周りの人からメインディスプレイを見えにくくします。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [のぞき見防止]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見防止**：のぞき見防止を有効にするか設定します。
- **表示パターン**：表示パターンを設定します。
- **見栄え補正**：正面からの見栄えを調整します。

【のぞき見防止】について

- 電源を切ると【のぞき見防止】が無効になります。

【表示パターン】について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

サブディスプレイ

サブディスプレイの表示を設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [サブディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **表示時間設定**：サブディスプレイの表示時間を設定します。
- **着信相手表示**：着信相手を表示するか設定します。
- **閉じたときに点灯**：端末を閉じたときにサブディスプレイを点灯させるか設定します。

マナー・音・バイブ

マナーモードや着信音、バイブレーションなどについて設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [マナー・音・バイブ]

2 項目を選ぶ

- **マナーモード設定**：マナーモード設定については  P.137 「マナーモード設定」
- **音量**：着信音やアラーム音、音楽や動画再生時などの音量を設定します。
- **着信・お知らせ**：着信時やお知らせ受信時などの動作について設定します。
 - 着信時の点滅カラーの設定：[電話着信] ▶ [点滅カラー] ▶ カラーを選ぶ ▶ 
 - 着信ランプの点滅設定：[お知らせ] ▶ [点滅させて通知]
- **その他**：その他については  P.138 「その他」

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [マナー・音・バイブ] ▶ [マナーモード設定]

2 マナーモードの種類を選ぶ

- **通常マナー**：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

- **ドライブマナー**：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモが有効になり、応答メッセージ設定が[ドライブ]で動作します。
- **サイレントマナー**：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
- **OFF**：マナーモードを解除します。

■ ワンタッチでマナーモードの設定／解除

1 待受画面で (1秒以上) ▶ 種類を選ぶ

- 端末を閉じているとき： (1秒以上)
 - ・ 設定する場合は、直前に設定していたマナーモードに切り替えます。
-  (1秒以上) ▶  /  /  /  でもマナーモードを設定／解除できます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 静止画撮影時のフォーカスロック音
 - 動画撮影時の開始音／停止音
 - PASSNOWの呼び出し音
- マナーモード設定中は、 を押しても着信音量を変更できません。
- マナーモード設定中は、イヤホンからも着信音は鳴りません。

その他

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [マナー・音・バイブ] ▶ [その他]

2 項目を選ぶ

- **画面ロックの音**：画面のロック時に音を鳴らすか設定します。
- **充電開始音**：充電開始時に音を鳴らすか設定します。
- **キー操作音**：キーを押したときに操作音を鳴らすか設定します。
- **操作時バイブ**：キーを1秒以上押したときに機能が実行される場合などにバイブレータを動作させるか設定します。

省エネ・電池

長エネスイッチ設定や電池残量の確認を行います。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [省エネ・電池]

2 項目を選ぶ

- **長エネスイッチ**：長エネスイッチについてはP.170「長エネスイッチ」
- **電池**：電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

ドコモサービス

ドコモサービスの設定を行います。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ドコモサービス]

2 項目を選ぶ

- **dアカウント設定**：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。
- **ドコモアプリ管理**：アプリのアップデートの確認などについて設定します。
- **ドコモ位置情報**：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- **USBデバッグ切替**：USBデバッグを有効にするか設定します。
- **あんしんマネージャー**：あんしんマネージャーの設定を行います。
- **オープンソースライセンス**：オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモサービスに表示されるアプリの中には無効にすることができものがあ、無効にされたアプリは、起動できなくなる場合があります。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [位置情報]

2 項目を選ぶ

- **位置情報**：位置情報を利用するか設定します。
 - 確認画面が表示された場合は、[同意する] / [同意しない] を選択してください。
- **アプリレベルの権限**：位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
 - 最近の位置情報リクエストがある場合は、選択するとアプリの情報を確認できます。

● 現在地を測位するためには、位置情報を [ON] に設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

■ GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、位置情報を [ON] に設定する必要があります (P.139 「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい場合位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内
 - 大雨や雪などの悪天候
 - かばんや箱の中
 - 端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
 - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく内容が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得することがあります。

セキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 待受画面で ▶[設定]▶[セキュリティ]

2 項目を選ぶ

- **セキュリティキー設定**：セキュリティキー設定については  P.143 「セキュリティキー設定」
- **画面のロック**：電源を入れたときやメインディスプレイを表示させたときのロック解除方法について設定します。
- **音声発信制限**：音声発信制限については  P.141 「音声発信制限」
- **高度な設定**：高度な設定については  P.143 「高度な設定」

【画面のロック】について

- 入力を5回連続して間違えると、30秒間入力できません。
- 設定項目は次のとおりです。
 - なし：ロック画面を表示しません。
 - ロックNo.：4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号*を設定します。
※一部の半角記号は利用できません。ロックNo./パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

端末起動時のロック解除について

- 画面ロックを「なし」以外に設定するときは、端末を起動する際にロック解除を行うようにするかを設定できます。
- 端末起動時のロック解除の際、ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力できません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

音声発信制限

電話発信できないようにします。

1 待受画面で☎▶[設定]▶[セキュリティ]▶[音声発信制限]

2 暗証番号を入力▶[音声発信制限]

- 音声発信制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。
- 音声発信制限を設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）へは発信できます。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・] で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモ nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモ nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ dアカウントのパスワード

dアカウントは、ドコモアプリで利用するアカウントです。dアカウントのパスワードは、初期設定時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.138「ドコモサービス」）。

- dアカウントの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ ドコモアプリパスワード

ドコモが提供するアプリで利用するパスワードです。ドコモアプリパスワードは、お買い上げ時は [0000] に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます (☎ P.138 「ドコモサービス」)。

■ セキュリティキー (各種機能用の暗証番号)

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは [暗証番号] ([0000]) に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます (☎ P.143 「セキュリティキー設定」)。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は [0000] に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます (☎ P.144 「SIMカードロック設定」)。

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は [0000] となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード (PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモnanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

セキュリティキー設定

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [セキュリティキー設定]
- 2 暗証番号を入力
 - お知らせ画面が表示されたら [OK] を選択してください。
- 3 項目を選ぶ
 - **暗証番号**：4～16桁の数字を設定します。
 - **パスワード**：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号*を設定します。
※一部の半角記号は利用できません。

高度な設定

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [高度な設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **SIMカードロック設定**：SIMカードロック設定については [P.144](#) 「SIMカードロック設定」
 - **暗号化と認証情報**：次の設定を行うことができます。
 - **端末の暗号化**：端末の暗号化の状態を確認できます。
 - **ストレージのタイプ**：ストレージのタイプを表示します。
 - **信頼できる認証情報**：安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
 - **ユーザー認証情報**：保護されている認証情報の表示／変更をします。
 - **証明書をインストール**：暗号化された証明書をインストールします。
 - **認証ストレージの消去**：すべての認証情報を削除します。
 - **信頼できるエージェント**：画面のロックを解除するアプリ（エージェント）について設定します。
 - **画面の固定**：選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法については [P.68](#) 「アプリ使用履歴の利用」
 - **使用履歴へのアクセス**：使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

■ SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [高度な設定] ▶ [SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- **SIMカードをロック**：電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- **SIM PINの変更**：PINコードを変更します。

- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定はドコモnanoUIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

ネットワーク

機内モードやVPNなどネットワークについて設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **機内モード**：電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **モバイル ネットワーク**：モバイル ネットワークについては  P.145 「モバイル ネットワーク」
- **プロキシ設定**：プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **データ使用量**：データ使用量については  P.146 「データ使用量」
- **データ通信制限**：アプリごとにモバイル ネットワークでの通信を制限します。
- **テザリング**：テザリングについては  P.66 「テザリング」
- **VPN**：VPNについては  P.147 「VPN（仮想プライベートネットワーク）」

【機内モード】について

- [SIMカードをロック] が有効の場合は、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。[SIMカードをロック] が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード] がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード] がONの場合でも、[Wi-Fi] や [Bluetooth] をONにすることができます。

モバイル ネットワーク

データ通信やデータローミング、アクセスポイントなどの設定をします。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [モバイル ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **モバイルデータ**：モバイル ネットワーク経由のデータ通信を利用するか設定します。
- **データローミング**：データローミングについては  P.173 「データローミング」
- **データ使用量**：データ使用量についてはP.146 「データ使用量」
- **通話モード設定**：通話時にVoLTEを利用するか設定します。
- **優先ネットワークモード**：優先ネットワークモードについては  P.173 「優先ネットワークモード」
- **自動的に選択**：自動的に選択については  P.173 「通信事業者の設定」
- **ネットワーク**：利用中のモバイル ネットワークを確認できます。
- **アクセスポイント名**：アクセスポイント名については  P.145 「アクセスポイントの設定」

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/mopera> U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

- 利用中のアクセスポイントを確認できます。

2 ▶ [新しいAPN]

3 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]

4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ ▶ [保存]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントの設定が初期状態に戻ります。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

2 [メニュー] ▶ [初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

データ使用量

モバイル ネットワークやWi-Fiネットワーク経由のデータ使用量を確認できます。また、データ使用量に上限を設けることができます。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [データ使用量]

- モバイル ネットワーク経由のデータ使用量が表示されます。

2 項目を選ぶ

- **データサーバー**：一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データサーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[データ無制限アクセス] から設定することができます。
- **モバイルデータ**：モバイル ネットワーク経由のデータ通信を利用するか設定します。
- **モバイルデータ使用**：モバイル ネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。
- **請求期間**：モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。

また、[データ上限の設定] をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は [データ上限] で設定できます。

 - データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK] を選択すると、次の請求期間までデータ通信を停止します。[再開] を選択すると、データ通信を再開します。
- **Wi-Fi データ使用量**：Wi-Fi経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。
- **ネットワーク制限**：従量制のWi-Fiネットワークの制限を設定します。

- データ使用量で表示される通信量は携帯端末で記録した目安の数値となります。実際のモバイル ネットワーク経由でのデータ通信量はMy docomoで確認できます。

VPN (仮想プライベートネットワーク)

■ VPNの追加

VPN (Virtual Private Network) とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面のロックをロックNo.またはパスワードに設定しておいてください (P.140 「セキュリティ」)。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [VPN]

2 ▶ [VPNプロフィールの追加]

3 各項目を設定 ▶

■ VPNの接続

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [VPN]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力 ▶

■ VPNの切断

1 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ

2 VPN有効化の通知を選ぶ ▶ [切断]

その他

日付と時刻、セルフチェックなどについて設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他]

2 項目を選ぶ

- **サイドマナーキー長押し**：端末を閉じているとき、サイドキーを1秒以上押ししてマナーモードを設定／解除させるか設定します。
- **NFC設定**：NFC設定についてはP.132 「NFC設定」
- **アプリと通知**：アプリと通知についてはP.148 「アプリと通知」
- **日付と時刻**：日付と時刻についてはP.149 「日付と時刻」
- **セルフチェック**：セルフチェックについてはP.150 「セルフチェック」
- **ストレージ**：ストレージについてはP.150 「ストレージ」
- **言語 (Language) を選択**：日本語表示／英語表示を選択します。
- **アカウント**：利用するアカウントを確認できます。
- **端末情報**：端末情報についてはP.151 「端末情報」
- **ソフトキーボード**：ソフトキーボードについてはP.152 「ソフトキーボード」
- **ユーザー補助**：ユーザー補助についてはP.152 「ユーザー補助」
- **リセット**：リセットについてはP.153 「リセット」

[言語 (Language) を選択] について

- 言語変更をしたときに時間がかかる場合があります。

アプリと通知

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **アプリ情報**：アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況の確認、アンインストールなどができます。
- **通知**：通知については  P.149 「通知」
- **アプリの権限**：アプリの権限について設定します。
- **デフォルトアプリ**：デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **エリアメール**：エリアメールについては  P.168 「緊急速報「エリアメール」を設定する」
- **特別なアプリアクセス**：電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずに起動させないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報]

2 アプリを選ぶ ▶ [無効にする] ▶ [はい]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報]

2 アプリを選ぶ ▶ [有効にする]

通知

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [アプリと通知] ▶ [通知]

2 項目を選ぶ

- **アプリの通知**：通知の表示／非表示や優先度を、アプリごとに設定します。
- **点滅させて通知**：通知がある場合に着信ランプを点滅させるかどうか設定します。
- **画面ロック中の表示**：ロック画面に表示する通知について設定します。

【画面ロック中の表示】について

- 設定項目は次のとおりです。
 - **すべての通知**：ロック画面に通知を表示します。
 - **プライベートな通知以外**：ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - ・ 画面のロックを [ロックNo.] / [パスワード] に設定しているときに利用できます。
 - **表示しない**：ロック画面に通知を表示しないようにします。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日時の自動設定**：日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**：ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**：日付を手動で設定します。
- **時刻設定**：時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**：タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**：12時間制／24時間制を切り替えます。

【日時の自動設定】を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

セルフチェック

端末のセルフチェックを行います。

- 1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [セルフチェック]
- 2 ▶ 項目を選ぶ ▶

 - セーフモードで再起動: ▶ [OK]

- 3

 - 表示項目の診断開始:
 - 診断の中止: ▶ [はい] / [次の項目]
 - 診断履歴を選択すると、結果を確認することができます。

ストレージ

microSDカードや端末などの空き容量の確認、情報更新などができます。

- 1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [ストレージ]
 - 本体メモリやmicroSDカードの使用容量／合計容量が表示されます。
 - microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。
- 2 ストレージを選ぶ
 - [内部共有ストレージ] を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で [ファイル] を選択すると、本体メモリ (内部ストレージ) や取り付けているmicroSDカード (外部ストレージ) に保存されているデータの一覧が表示されます。
 - [SDカード] を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
 - microSDカードのマウント解除: [SDカード] ▶ [SDカード] ▶ ▶ [ストレージの設定] ▶ [取り出し]
 - microSDカードのマウント: [SDカード] ▶ [マウント]
 - microSDカードのフォーマット: [SDカード] ▶ [SDカード] ▶ ▶ [ストレージの設定] ▶ [フォーマット] ▶ [消去してフォーマット]
 - microSDカードの暗号化／microSDカードの暗号化解除: [SDカード] ▶ [SDカード] ▶ ▶ [ストレージの設定] ▶ [暗号化] / [暗号化解除] ▶ [確認] ▶ 画面の指示に従って操作

【フォーマット】について

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

【暗号化】、【暗号化解除】について

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態で [オールリセット] を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。[オールリセット] を行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 待受画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報]

2 項目を選ぶ

- **端末の状態**：電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- **ソフトウェアアップデート**：ソフトウェアアップデートについてはP.191「ソフトウェアアップデート」
- **法的情報**：著作権情報、オープンソースライセンスを確認できます。
- **認証**：技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **モデル番号**：モデル番号を確認できます。
- **OSバージョン**：OSバージョンを確認できます。
- **OSセキュリティパッチ**：OSセキュリティパッチのバージョンを確認できます。
- **ベースバンドバージョン**：ベースバンドバージョンを確認できます。
- **カーネルバージョン**：カーネルバージョンを確認できます。
- **ビルド番号**：ビルド番号を確認できます。

ソフトキーボード

利用するソフトキーボードなどについて設定します。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [ソフトキーボード]

2 項目を選ぶ

- **S-Shoin** : S-Shoinの設定をします。設定できる各項目についてはP.58「文字入力の設定」
- **キーボードの変更** : 現在のキーボードを確認できます。
- **ポインタの速度** : ポインタの速度を設定します。
- **送信時文字コード設定** : アプリからデータ送信するときの文字コードを設定します。
- **キーボードを管理** : 文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。

キーボードについて

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。

【ポインタの速度】について

- サイト画面に表示されるポインタとは異なります。設定を変更した場合でもサイト画面に表示されるポインタには反映されません。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **通知連携 (PASSNOW)** : 通知連携 (PASSNOW) を利用するか設定します。
- **フォントサイズ** : 文字のサイズを設定します。
- **ポインタアイコンの拡大設定** : マウスを接続したときに表示されるポインタを大きくするか設定します。
- **字幕** : 字幕の表示について設定します。

リセット

本端末の状態をリセットします。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [リセット]

2 項目を選ぶ

- **ネットワーク設定のリセット**：ネットワークに関する設定をすべてリセットします。
- **アプリの設定をリセット**：アプリに設定した内容をすべてリセットします。
- **オールリセット**：本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

【オールリセット】について

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 設定メニューで設定した内容
- 電池残量が19%以下の場合はオールリセットできません。

本体メモリ（内部ストレージ）

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名：内部共有ストレージ
 - ・ パス：/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。
- **Alarms**：アラーム音などが保存されます。
- **DCIM**：画像や動画が保存されます。
- **Download**：ウェブブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。
- **Movies**：動画などが保存されます。
- **Music**：音楽データなどが保存されます。
- **Notifications**：お知らせ音などが保存されます。
- **Pictures**：静止画などが保存されます。
- **Podcasts**：ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
- **PRIVATE**：静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
- **Ringtones**：着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.48「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを種類ごとに分類して、再生／表示、管理をすることができます。

1 待受画面で [データ]

2 カテゴリを選ぶ

- **写真**：カメラで撮影した画像などを表示します。
- **画像**：ダウンロードした画像などを表示します。
- **音楽**：音楽などを表示します。
- **動画**：動画を表示します。
- **書類**：パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのデータ、テキストデータを表示します。
- **その他**：その他のデータを表示します。
- **ユーザーフォルダ**：ユーザーフォルダを表示します。

3 データを選ぶ

- データの種別に応じたアプリが起動し、データを再生／表示します。

- データBOXで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。
- データサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できなかつたりすることがあります。

データ保存先の表示変更

1 待受画面で [データ]

2 カテゴリを選ぶ

3 ▶ [本体+SDカード] / [本体] / [SDカード]

- ユーザーフォルダでは利用できません。

データのサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 データー一覧画面で

2 項目を選ぶ

- **表示切替**：リスト／グリッド／プレビュー表示を切り替えます。
- **フォルダー一覧／コンテンツ一覧**：表示をフォルダー一覧／コンテンツ一覧に切り替えます。
- **画像編集**：画像編集については [P.156](#) 「画像の編集」

- **送信**：選択したデータをメール添付や赤外線送信、Bluetooth送信、PASSNOWなどで送信できます。
 - PASSNOWでペア設定済みの場合は、 を押してペア設定したタブレットに選択中の画像を送信できます。
 - PASSNOWについては [P.122](#) 「データBOXからデータの送信」
- **移動・コピー**：移動／コピーについては [P.156](#) 「データの移動／コピー」
- **1件削除**：選択した1件のデータを削除します。
- **選択削除**：選択したデータを削除します。
- **ソート**：保存されているデータの並び順を変更します。
- **画像を登録**：電話帳や壁紙に画像を登録します。
- **登録**：音楽データを着信音などに登録します。
- **メモリ使用状況**：microSDカードと本体メモリの容量を表示します。
- **詳細情報**：選択したデータの詳細情報を表示します。

【画像を登録】について

- 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データの移動／コピー

本体メモリまたはmicroSDカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

- 1 データ一覧画面で 
- 2 [移動・コピー]
- 3 [SDカードへ移動]／[SDカードへコピー]／[本体へ移動]／[本体へコピー]／[ユーザーフォルダへ移動]／[ユーザーフォルダへコピー]
- 4 移動／コピーするデータを選ぶ
 - すべてのデータを選択：
 - すべてのデータを選択解除：
- 5 
 - ユーザーフォルダへ移動／コピーする場合は、移動／コピー先のフォルダを選択します。

ユーザーフォルダのサブメニュー操作

- 1 待受画面で  ▶ [データ] ▶ [ユーザーフォルダ] ▶ 
- 2 項目を選ぶ
 - **フォルダ名編集**：フォルダ名を編集します。
 - **フォルダ作成**：新規フォルダを作成します。
 - **フォルダ削除**：フォルダを削除します。フォルダ内のデータも削除されます。

画像の編集

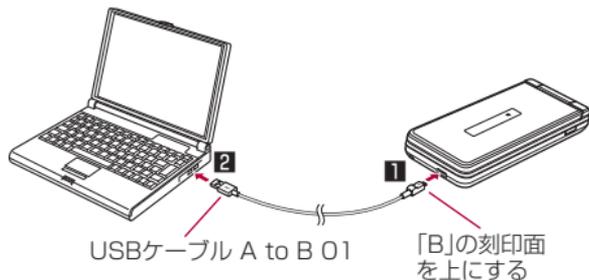
- 1 データ一覧画面で静止画を選ぶ ▶ 
- 2 [画像編集] ▶ 
- 3 項目を選ぶ
 - **トリミング**：静止画を切り取ります。
 - **リサイズ**：静止画のサイズを変更します。
 - **回転**：静止画を回転させます。
 - **鏡**：静止画を鏡に映したように上下左右に反転させます。
 - **エフェクト**：静止画にモノクロや魚眼、ミニチュアなどの効果を与えます。
 - **補正効果**：静止画の明るさやシャープネスなどを補正します。
 - **日付スタンプ**：静止画に日付スタンプを追加します。
 - **顔かくし**：顔と認識された静止画に処理を施してかくします。

パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、microSDカードをパソコンの外部メモリとして利用したり、データ転送をしたりできます。

端末とパソコンの接続方法

- 1 USBケーブル A to B 01 (別売)のmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末のmicroUSB-B接続端子に水平に差し込む(1)
- 2 USBケーブル A to B 01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む(2)



- 3 ④▶ステータスバーを選ぶ▶[この端末をUSBで充電]

4 USB接続の用途を選ぶ

- **この端末を充電する**：端末の充電のみを行います。
- **ファイルを転送する**：MTP対応のパソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **写真を転送する (PTP)**：PTP対応のパソコンと本体メモリの間で静止画を転送します。
- **テザリング設定**：テザリング設定についてはP.66「テザリング」

5 利用が終わったら、USBケーブル A to B 01を端末とパソコンから取り外す

- 大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- USBケーブルはUSBケーブル A to B 01をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USBケーブル A to B 01を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 (いずれも日本語版) です。

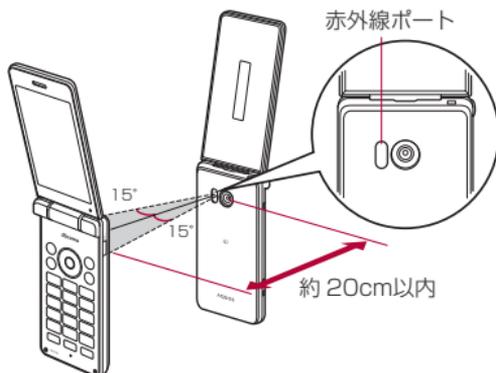
データ通信

赤外線通信

赤外線を利用して、携帯電話など他の機器とデータをやりとることができます。

赤外線送受信のご利用にあたって

- 本端末と相手側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートが約20cm以内にまっすぐ向き合うようにしてください。



- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 電話帳の連絡先はグループなどの一部の登録項目を送受信できない場合があります。

- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- 全件データの送受信には、認証コードの入力が必要になります。認証コードは、赤外線通信のための専用コードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。また、本端末を閉じないでください。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。

赤外線送受信

■ データを1件受信

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [赤外線]
- 2 [1件受信]
- 3 相手機器でデータ送信の操作を行う
- 4 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ データを全件受信

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [赤外線]
- 2 [全件受信]
- 3 認証コードを入力 ▶ 
- 4 相手機器でデータ送信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

- 受信操作が終わると、受信待ち状態になります。約60秒以内に送信側の端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。
- 電話帳を全件受信したときは、登録画面で [削除して登録] ▶ [はい] を選択すると、登録していた電話帳データがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

■ データを選んで送信

例：静止画のとき

- 1 待受画面で  ▶ [データ]
- 2 静止画を選ぶ
- 3  ▶ [送信] ▶ [赤外線送信]
- 4 相手機器でデータ受信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ [はい]

■ データを全件送信

例：電話帳のとき

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [赤外線]
- 2 [電話帳全件送信]
- 3 アカウントを選ぶ
- 4 相手機器でデータ受信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ [はい]
- 6 認証コードを入力 ▶ 

Bluetooth®通信

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力についてはP.193「主な仕様」

■ 対応プロファイル (対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP : Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) ※1
 - HFP : Hands Free Profile (ハンズフリープロファイル) ※2
 - A2DP : Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) ※3
 - AVRCP : Audio/Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル) ※3
 - HID : Human Interface Device Profile (ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル) ※4
 - OPP : Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) ※5
 - SPP : Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル) ※6
 - FTP : File Transfer Profile (ファイルトランスファープロファイル) ※7
 - PBAP : Phone Book Access Profile (フォンプブックアクセスプロファイル) ※8
 - PAN : Personal Area Networking Profile (パーソナルエリアネットワークプロファイル) ※9
 - HOGP : HID Over GATT Profile (エイチアイディーオーバーガットプロファイル) ※10

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やテレビなどを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合があります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※8 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※9 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothテザリングを行うこともできます。
- ※10 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 [Bluetooth] ▶ ONにする

3 [新しいデバイスとペア設定する]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- ペア設定済みのBluetooth機器にカーソルを合わせて  を押し、相手のBluetooth機器の名前や使用目的を変更できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能を [ON] にすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください（取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています）。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 待受画面で◎▶ステータスバーを選ぶ▶登録要求通知／接続要求通知を選ぶ▶[ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器にカーソルを合わせる▶◎▶▶

■ Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- Bluetooth機能を [ON] にしてから設定してください。

1 Bluetooth画面▶[端末名]

2 名前を入力▶◎

■ データ受信履歴の確認

- Bluetooth機能を [ON] にしてから設定してください。

1 Bluetooth画面▶[受信済みファイルを表示]

2 履歴を選ぶ

- データ受信履歴の内容が表示されます。

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例：静止画のとき

1 待受画面で ▶ [データ]

2 静止画を選ぶ

3 ▶ [送信] ▶ [Bluetooth送信]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 着信通知を選ぶ ▶ [承諾]

3 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 受信通知を選ぶ ▶ 受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

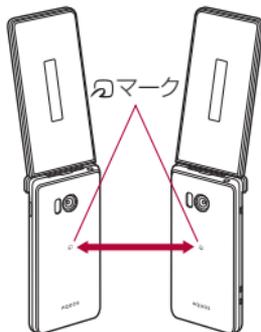
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader/Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Androidビーム

Reader/Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader/Writer, P2P]を有効にし、[Androidビーム]をONにしておいてください（[P.132](#)「NFC設定」）。
- 機内モードやおサイフケータイロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- 次の場合はAndroidビームによるデータの送信ができません。
 - 充電中
 - イヤホンマイク接続中
 - USBケーブル A to B 01（別売）でパソコンに接続中
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ Androidビームのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。
そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です（[P.131](#)「対向機にかざす際の注意事項」）。

■ データを送信

例：電話帳のとき

- 1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳]
- 2 名前を選ぶ
- 3 相手の端末とマークを重ね合わせる
 - [決定キーでビーム] が表示されます。
- 4

■ データを受信

- 1 相手の端末とマークを重ね合わせる

災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生したときに、安否情報の登録と確認ができるサービスです。

本端末から文字でお客様の安否情報を登録し、家族などの携帯電話、パソコンなどから安否情報の確認ができます。

災害用伝言板の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[災害用伝言板]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

災害用音声お届けサービス

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生したときに、安否情報を音声メッセージでお届けできるサービスです。

本端末で音声を録音し、音声メッセージとしてお客様の安否情報を家族などにお届けできます。

災害用音声お届けサービスの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

メッセージの送信

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[災害用音声お届けサービス]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、☎を押してください。

2 [音声メッセージの送信]▶送信先選択方法を選ぶ▶電話番号を入力▶📞

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージの確認

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[災害用音声お届けサービス]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、☎を押してください。

2 [新着音声メッセージの確認]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
 - 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■ 受信したエリアメールをあとで確認する

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [緊急速報「エリアメール」]

2 エリアメールを選ぶ

■ エリアメールを削除する

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [緊急速報「エリアメール」]

2 削除したいエリアメールにカーソルを合わせる

3 [削除] ▶ [削除]

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[緊急速報「エリアメール」]

2 ☎▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **エリアメールの許可**：エリアメールを受信するかどうかを設定します。
- **エリアメールの履歴**：受信したエリアメールの一覧を表示します。
- **バイブレーション**：エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
- **メッセージ受信の再通知**：受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。
 - 再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。
 - [1回]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1回だけ再通知されます。
 - [2分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。
 - [15分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。

- **最大音量を使用する**：エリアメール受信時の音量を設定します。
 - ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。
 - OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
- **受信画面・着信音確認**：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
- **やさしい日本語表示**：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
- **翻訳設定**：受信内容の翻訳機能を利用するかどうかを設定します。

ドコモあんしんスキャン

フィッシングサイトやウイルス配布サイトなどの危険なサイトに接続した時や、通信内容を改ざんされたり、盗み見られたりする可能性がある危険なWi-Fiスポットに接続した時に、警告画面を表示してお知らせします。

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[あんしんセキュリティ]▶[あんしんスキャン]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- ドコモあんしんスキャンは、あんしんセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- ドコモあんしんスキャンの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

あんしんナンバーチェック

しつこいセールスなどの迷惑な電話や、詐欺・架空請求などの危険な電話の可能性が高い電話番号からの着信を事前にお知らせします。

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[あんしんセキュリティ]▶[あんしんナンバーチェック]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- あんしんナンバーチェックは、あんしんセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- あんしんナンバーチェックの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

あんしんフィルター for docomo

お様が安心して本端末をご利用いただけるように、お子様の年齢や利用状況に応じて、保護者が本端末のアプリ起動を制限したり、有害サイトへのアクセスを防ぐことができるブラウザアプリです。

1 待受画面で☎▶[あんしん]▶[あんしんフィルター]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]を選択してください。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

- あんしんフィルター for docomoの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- あんしんフィルター for docomoご利用中は端末の標準ブラウザはご利用いただけません。

家族あんしん通知

設定時刻になると、登録した送信先にSMSで情報を送信します。本端末をご利用になっている方のご様子を、本端末のご利用状況を通じて、離れたところからでもご確認いただくことができます。

● 送信先は3件まで、送信時刻は3回まで登録できます。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [あんしん] ▶ [家族あんしん通知]

2 項目を選ぶ

- **家族あんしん通知**：家族あんしん通知を利用するか設定します。
- **送信先**：SMSの送信先を設定します。
- **送信時刻**：SMSの送信時刻を設定します。
- **歩数**：当日の送信時刻までの歩数を送信するか設定します。
- **端末開いた回数**：当日の送信時刻までの端末を開いた回数を送信するか設定します。
- **電池残量**：電池残量を送信するか設定します。
- **電話発着信回数**：当日の送信時刻までの電話の発着信回数を送信するか設定します。
- **通話時間**：当日の送信時刻までの通話時間を送信するか設定します。

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 待受画面で [メニュー] ▶ [あんしん] ▶ [長エネスイッチ]

2 項目を選ぶ

- **長エネスイッチ**：長エネスイッチを利用するか設定します。
- **長エネスイッチの概要**：機能の説明を表示します。
- **詳細設定**：制限する機能を個別に設定します。
- **電池残量で切替**：設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で [ON] にするか設定します。
- **切替条件設定**：[電池残量で切替] で長エネスイッチを [ON] にする電池残量を設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは [OFF] になります。
- [電池残量で切替] によって長エネスイッチが [ON] になっているとき、[電池残量で切替] を無効にしても長エネスイッチは [OFF] になりません。

海外利用

海外滞在中に本端末で電話をかけたり、国際ローミング時やネットワークサービスなどについて設定することができます。

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信*	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングを [ON] にしてください (P.173 「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます (P.41 「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ 事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になります。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を「サービス開始」にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます（[P.176](#)「ローミング中のネットワークサービス」）。日本国内での遠隔操作設定については [P.79](#)「ネットワークサービス」
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

通信事業者（[P.173](#)「通信事業者の設定」）を「自動的に選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミング

ローミング時にデータ通信を利用するか設定します。

- 海外でパケット通信を行うためには、データローミングを [ON] にする必要があります。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [データローミング]

2 [ON] / [OFF]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK] を選択してください。

優先ネットワークモード

使用するネットワークを確認できます。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [優先ネットワークモード]

2 項目を選ぶ

- **4G/3G/GSM (自動)** : 利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
- **3G/GSM** : 3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
- **GSM** : GSM/GPRSネットワークを利用します。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [自動的に選択] ▶ [OFF]

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 通信事業者のネットワークを選ぶ

日付と時刻

日付と時刻の [日時の自動設定]、[タイムゾーンの自動設定] を有効にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については  P.149 「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 待受画面で「+」(☉を1秒以上)、国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶☑

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。
- 電話番号を入力▶☎▶[発信オプション]▶[国際電話発信]▶[ON]▶[国番号]でも国番号を入力できます。
 - ・ 地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。
- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国内から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストを設定しておいてください。
- 電話番号の先頭の「0」が国番号で設定している国番号に自動的に変換されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶☑

2 [変換後の番号で発信]

滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 待受画面で「+」(☉を1秒以上)、日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力▶☑

海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

海外設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [海外設定]

2 項目を選ぶ

- **ローミング時着信規制**：国際ローミング中に着信を規制することができます。
- **ローミング着信通知**：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイドンス**：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドンスを流すことができます。
- **国際ダイヤルアシスト**：国際ダイヤルアシストについては  P.176 「国際ダイヤルアシストの設定」
- **ネットワークサービス**：ネットワークサービスについては  P.176 「ローミング中のネットワークサービス」

■ 国際ダイヤルアシストの設定

1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定]
▶ [海外設定] ▶ [国際ダイヤルアシスト]

2 項目を選ぶ

- **自動変換機能**：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
- **国番号**：自動変換機能で使用する国番号を選択します。
- **国際プレフィックス**：自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

ローミング中のネットワークサービス

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、遠隔操作設定を「サービス開始」にする必要があります（[P.79](#) 「ネットワークサービス」）。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定]
▶ [海外設定] ▶ [ネットワークサービス]

2 項目を選ぶ

- **遠隔操作（有料）**：遠隔操作を開始するか設定します。
- **番号通知お願いサービス（有料）**：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
- **ローミング着信通知（有料）**：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイダンス（有料）**：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- **留守番電話サービス（有料）**：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申込み必要）
- **転送でんわサービス（有料）**：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申込み必要）

3 画面表示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [データローミング] をOFFに設定してください (P.173 「データローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 優先ネットワークモードを [4G/3G/GSM (自動)] に設定してください (P.173 「優先ネットワークモード」)。
- [自動的に選択] をONに設定してください (P.173 「通信事業者の設定」)。

メニュー一覧

ノーマルメニュー一覧

- メニューに項目番号が表示されている場合、同じ番号のダイヤルキーを押すと、メニューを選択することができます。

■ メール

機能メニュー	ページ
メール	P.87
SMS	P.89
PCメール	P.92

■ Web

機能メニュー	ページ
dメニュー・検索	P.95
ブックマーク	P.96
サイト閲覧履歴	P.98
Google検索	P.98
ブラウザ起動	P.98
ブラウザ設定	P.99
ダウンロード	P.99

■ あんしん

機能メニュー		ページ
災害用伝言板		P.166
災害用音声お届けサービス		P.166
緊急速報「エリアメール」		P.167
あんしんセキュリティ	あんしんスキャン	P.168
	あんしんナンバーチェック	P.169
あんしんフィルター		P.169
家族あんしん通知		P.170
長エネスイッチ		P.170

■ カメラ／TV／音楽

機能メニュー	ページ
カメラ	P.102
ビデオカメラ	P.104
バーコードリーダー	P.106
テレビ（ワンセグ）	P.108
ミュージック	P.112

■ データ

- データについてはP.154「ファイル操作」

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイについてはP.130「おサイフケータイ」

■ 電話機能

機能メニュー		ページ
電話帳		P.82
ドコモ留守電アプリ		P.86
通話音声・伝言メモ		P.78
リダイヤル		P.77
着信履歴		P.77
発着信・通話設定	ネットワークサービス	P.79
	海外設定	P.175
	着信設定	P.80
	発信設定	P.81
	通話音質設定	P.81
	その他設定	P.81
スピードダイヤル		P.71

■ 設定

機能メニュー		ページ
壁紙・ディスプレイ	待受画面・壁紙	P.136
	電池残量表示	P.135
	明るさのレベル	P.136
	バックライト点灯時間	P.135
	のぞき見防止	P.136
	はっきりビュー	P.135
	リラックス画質	P.135
	サブディスプレイ	P.136
	キー照明	P.135

機能メニュー		ページ
文字サイズ・フォント		P.135
マナー・音・バイブ	マナーモード設定	P.137
	音量	P.137
	着信・お知らせ	P.137
	その他	P.138
省エネ・電池	長エネスイッチ	P.170
	電池	P.138
Wi-Fi		P.64
Bluetooth		P.160
ドコモサービス	dアカウント設定	P.138
	ドコモアプリ管理	P.138
	ドコモ位置情報	P.138
	USBデバッグ切替	P.138
	あんしんマネージャー	P.138
	オープンソースライセンス	P.138
位置情報		P.139
クイック起動キー		P.69
セキュリティ	セキュリティキー設定	P.143
	画面のロック	P.140
	音声発信制限	P.141
	高度な設定	P.143

機能メニュー		ページ
ネットワーク	機内モード	P.144
	モバイル ネットワーク	P.145
	プロキシ設定	P.144
	データ使用量	P.146
	データ通信制限	P.144
	テザリング	P.66
	VPN	P.147
その他	サイドマナーキー長押し	P.147
	NFC設定	P.132
	アプリと通知	P.148
	日付と時刻	P.149
	セルフチェック	P.150
	ストレージ	P.150
	言語 (Language) を選択	P.147
	アカウント	P.147
	端末情報	P.151
	ソフトキーボード	P.152
	ユーザー補助	P.152
	リセット	P.153

■ ツール

機能メニュー	ページ
地図	P.114
電卓	P.114
アラーム	P.115
メモ	P.116
ボイスレコーダー	P.117
タイマー	P.118
ストップウォッチ	P.118
世界時計	P.119
歩数計	P.119
PASSNOW (タブレット連携)	P.121
赤外線	P.158
データ引継	P.126
SDカードバックアップ	P.128
ケータイデータお預かりサービス	P.129
取扱説明書	P.129

■ スケジュール

- スケジュールについてはP.133「スケジュール」

■ プロフィール

- プロフィールについてはP.43「プロフィール」

■ SHSHOW

- コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。

シンプルメニュー一覧

■ 電話

機能メニュー	ページ
電話帳の表示	P.82
電話帳に登録	P.82
リダイヤル	P.77
着信履歴	P.77
通話音声・伝言メモ	P.78
自分の電話番号	P.43
発信信・通話設定	P.79

■ メール

機能メニュー	ページ
メールの作成	P.87
受信メール	P.89
送信メール	P.87
メール問い合わせ	P.89
SMSの作成	P.89
SMS一覧	P.90

■ Web

機能メニュー	ページ
dメニュー・検索	P.95
ブックマーク	P.96
サイト閲覧履歴	P.98

■ カメラ

機能メニュー	ページ
写真を撮る	P.102
写真を見る	P.154
バーコードリーダー	P.106

■ 便利ツール

機能メニュー	ページ
電卓	P.114
アラーム	P.115
赤外線	P.158
スケジュール	P.133
メモ	P.116
ボイスレコーダー	P.117
地図	P.114
歩数計	P.119
取扱説明書	P.129

■ 設定

機能メニュー		ページ
マナー・音・バイブ	マナーモード設定	P.137
	音量	P.137
	着信・お知らせ	P.137
	その他	P.147
壁紙・ディスプレイ	待受画面・壁紙	P.136
	電池残量表示	P.135
	明るさのレベル	P.136
	バックライト点灯時間	P.135
	のぞき見防止	P.136
	はっきりビュー	P.135
	リラックス画質	P.135
	サブディスプレイ	P.136
	キー照明	P.135
セキュリティ	セキュリティキー設定	P.143
	画面のロック	P.140
	音声発信制限	P.141
	高度な設定	P.143

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.191「ソフトウェアアップデート」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。(☞P.52「電池パック」)
 - 電池切れになっていませんか。(☞P.53「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
※強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。☞P.52「電池パック」
 - アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。☞P.55「ACアダプタ/DCアダプタで充電」
 - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。☞P.55「ACアダプタ/DCアダプタで充電」
 - ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。☞P.54「卓上ホルダで充電」、P.55「ACアダプタ/DCアダプタで充電」
 - USBケーブル A to B 01（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。☞P.56「USBケーブル A to B 01で充電」
 - 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。☞P.53「充電時のご注意」
 - NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - 操作中や充電中、また、充電しながらテレビ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.53「充電時のご注意」
- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.193「主な仕様」
 - 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。☞P.53「電池パックの寿命」
- 電源断・再起動が起きる
 - 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - ドコモnanoUIMカードのIC部分が汚れていませんか。☞P.44「ドコモnanoUIMカード」
- キーを押しても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。☞P.57「電源を入れる」
- キーを押したときの画面の反応が遅い
 - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.150「ストレージ」

- ドコモnanoUIMカードが認識しない
 - ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。☞P.44「ドコモnanoUIMカード」
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時の自動設定]が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.149「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
 - お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはお買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面で待受画面が表示されるまで \square を押し続けてください。

 - ※ 電源を入れた状態で \square （1秒以上）▶ [電源を切る] にカーソルを合わせる▶ \odot （1秒以上）▶ [OK] でも、セーフモードで再起動ができます。
 - また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞P.150「セルフチェック」
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に [セーフモード] と表示されます。
 - ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。

- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
- アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）
 - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☞P.148「アプリの有効」

■ 通話

- キーを押しても発信できない
 - [音声発信制限]を有効にしていませんか。☞P.141「音声発信制限」
 - 機内モードを設定していませんか。☞P.144「ネットワーク」
- 着信音が鳴らない
 - 音量の [電話着信・通知など] を [サイレント] にしていませんか。☞P.137「マナー・音・バイブ」
 - 公共モード（電源OFF）、マナーモード、機内モードを設定していませんか。☞P.79「ネットワークサービス」、P.137「マナーモード設定」、P.144「ネットワーク」
 - 呼出動作開始時間設定、着信拒否設定を設定していませんか。☞P.80「着信設定」、P.80「着信拒否設定」
 - 応答時間設定を「0秒」にしていませんか。☞P.78「通話音声・伝言メモ」
 - 留守番電話サービスの呼出時間設定または転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。☞P.79「ネットワークサービス」

- 通話ができない（場所を移動しても [電波] の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
 - 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモnanoUIMカードを入れ直してください。☎P.44「ドコモnanoUIMカード」、P.52「電池パック」、P.57「電源を入れる／切る」
 - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は [電波] を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - 着信拒否など着信制限を設定していませんか。☎P.80「着信拒否設定」
 - 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- メインディスプレイが暗い、見にくい、色に違和感がある
 - バックライト点灯時間を短く設定していませんか。☎P.135「壁紙・ディスプレイ」
 - [はっきりビュー] を有効にしていませんか。☎P.135「壁紙・ディスプレイ」
 - [リラックス画質] を有効にしていませんか。☎P.135「壁紙・ディスプレイ」
 - 画面の明るさを変更していませんか。☎P.136「明るさのレベル」
 - [のぞき見防止] を有効にしていませんか。☎P.136「のぞき見防止」
 - [長エネスイッチ] をONに設定していませんか。☎P.170「長エネスイッチ」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - [スムーズトーク] をONに設定していませんか。☎P.81「通話音質設定」
 - [くっきりトーク] をONに設定していませんか。☎P.81「通話音質設定」
 - 受話音量を変更していませんか。☎P.137「マナー・音・バイブ」

■ メール

- メールを自動で受信しない
 - 自動通信設定を [毎回確認する] または [OFF] に設定していませんか。☎P.89「ドコモメールの受信」

■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - 近くの被写体を撮影するときは、詳細設定のフォーカス設定を [接写AF] に切り替えてください。☎P.104「詳細設定」、☎P.106「詳細設定」
 - カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☎P.100「カメラをご利用になる前に」
 - 静止画撮影時に人物を撮影するときは詳細設定のフォーカス設定を [顔優先AF] に切り替えてください。☎P.104「詳細設定」
 - 静止画撮影時には詳細設定の手ぶれ軽減を [ON] に設定してください。☎P.104「詳細設定」

■ テレビ

- テレビの視聴ができない
 - ・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。☞P.108「放送波について」
 - ・チャンネルリストを作成していますか。☞P.108「チャンネルリストの作成」

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
 - ・電池パックを外したり、おまかせロックを設定したりすると、おサイフケータイ ロック設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
 - ・おサイフケータイ ロックを設定していませんか。☞P.131「おサイフケータイ ロック」
 - ・本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていませんか。☞P.131「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない（電波マークが表示されている場合）
 - ・「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。☞P.171「国際ローミング (WORLD WING) の概要」
- 海外で本端末が使えない（が表示されている場合）
 - ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。☞P.171「国際ローミング (WORLD WING) の概要」

- ・海外通信事業者の設定を変更してみてください。通信事業者を「自動的に選択」に設定してください。☞P.173「通信事業者の設定」
- ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.57「電源を入れる／切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - ・データローミングを「ON」にしてください。☞P.173「データローミング」
- 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
 - ・利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - ・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - ・USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。☞P.157「端末とパソコンの接続方法」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・microSDカードを取り付け直してください。☞P.48「microSDカード」

- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は [] が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☞P.162「Bluetooth機能の利用」
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。☞P.57「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

- [SIM カードが挿入されていません - 通信サービスはありません]
 - ・ ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかご確認ください。☞P.44「ドコモnanoUIMカード」
- [xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]
 - ・ 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に 표시됩니다。
- [空き容量わずか]
 - ・ 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
- [暗証番号を入力してください]
 - ・ 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に 표시됩니다。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
 - ・ 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に 표시됩니다。
- [応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー 送信できませんでした]
[接続エラー 送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応していません]
[通信エラー しばらくたってから送り直してください]
 - ・ メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に 표시됩니다。しばらくたってから送信し直してください。

- [しばらくお待ちください (音声サービス)]
 - 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [しばらくお待ちください (データサービス)]
 - パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [接続できません。]
 - 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。
- [送信できませんでした]
 - SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
 - メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - 有効な優先ネットワークモードに設定されているかご確認ください。P.173「優先ネットワークモード」

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - ※ 電池パック SH45、リアカバー SH78、卓上ホルダ SH50 は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
 - ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
 - ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■ 無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造 (ソフトウェアの改造も含む) による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。

- (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
 5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
 6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
 7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承りいただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

■ お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。ソフトウェアアップデートの種類としては以下の3つがあります。

- **新機能追加**
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- **品質改善**
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- **セキュリティパッチの最新化**
Google社が公開しているセキュリティパッチ（脆弱性に対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。「ドコモのホームページ」→「お客様サポート」→「製品・サービスのご利用・ご活用情報」→「製品アップデート情報」→「提供中の製品アップデート情報」

https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product_update/list/index.html

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- **更新をお知らせする通知から**
本端末のステータスバーから [ソフトウェアアップデート提供開始]、[ソフトウェアアップデート開始確認] の通知を選択し、更新を開始します。
- **更新を促すポップアップから**
更新をお知らせしてから一定期間経過後に定期的に表示される [アップデートが利用可能です] のポップアップから [OK] を選択し、更新を開始します。
- **本体設定から**
待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェアアップデート] を選択し、更新を開始します。ソフトウェアアップデートが不要な場合、[アップデートの必要はありません。このままご利用ください。] と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に [今すぐ更新] / [後で] の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、以下のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。
- **今すぐ更新**：すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。
- **後で**：時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。あらかじめおすすめの前約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、[予約時刻変更] を選択し、予約時刻を指定してください。
 - 後から予約時刻を変更する場合は、待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェアアップデート] ▶ [予約時刻変更] から予約時刻を設定してください。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。
※ 再起動を中止する場合は、一定時間内にキャンセルを選択してください。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに [ソフトウェアアップデート完了] が表示されます。

■ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■ 本体

品名	SH-02L	
サイズ	高さ：約115mm、幅：約51mm、厚さ：約17.2mm	
質量	約125g（電池パック装着時）	
ディスプレイ	種類	メインディスプレイ：TFT サブディスプレイ：有機EL
	サイズ	メインディスプレイ：約3.4インチ サブディスプレイ：約0.9インチ
	発色数	メインディスプレイ：16,777,216色 サブディスプレイ：1色
	解像度	メインディスプレイ：横540ピクセル×縦960ピクセル（QHD） サブディスプレイ：横36ピクセル×縦128ピクセル
内蔵メモリ	ROM：8Gバイト* ¹ RAM：1Gバイト	

連続待受時間 *2*3*4	LTE	静止時：約500時間（優先ネットワークモード：4G/3G/GSM（自動））
	3G	静止時：約610時間（優先ネットワークモード：4G/3G/GSM（自動））
	GSM	静止時：約520時間（優先ネットワークモード：4G/3G/GSM（自動））
連続通話時間 *4*5	LTE（VoLTE）	約430分
	3G	約650分
	GSM	約510分
充電時間	ACアダプタ 05：約120分（卓上ホルダ SH50使用時：約135分）	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）*6*7準拠

Bluetooth ※8※9	バージョン	4.2
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し距離※10	約10m
	対応プロファイル※11/コーデック	HSP (1.2)、HFP (1.7) ※12、A2DP (1.2) ※13、AVRCP (1.6)、HID (1.0)、OPP (1.2)、SPP (1.2)、PBAP (1.2)、FTP (1.1)、PAN (PAN-NAP) (1.0)、PAN (PANU) (1.0)、HOGP (1.0)
撮像素子	種類	裏面照射型CMOS※14
	サイズ	1/4.0インチ
カメラ有効画素数		約800万画素
カメラ記録画素数 (最大時)		約800万画素
記録ファイル形式※15	動画	MP4
	静止画	JPEG
ズーム (デジタル)	動画	最大約8.0倍
	静止画	最大約8.0倍
動画撮影時間		約45分※16
動画再生	対応コーデック	MPEG-4、H.263、H.264、VP8
音楽再生	対応コーデック	AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus

ワンセグ連続視聴時間		約400分※17
言語	表示言語	日本語、英語
	入力言語 (文字入力)	日本語、英語
伝言メモ	保存可能件数	最大50件
	1件あたりの最大録音時間	最大60分
リダイヤル表示件数		最大50件
着信履歴表示件数		最大50件

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.150「ストレージ」)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※3 連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※5 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※6 MIMOは未対応です。
- ※7 MU-MIMO (クライアント) は未対応です。
- ※8 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。
- ※9 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

- ※10 通信機器間の障害物や、電波状況により異なります。
- ※11 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※12 音声コーデックmSBC（16kHz）、CVSDに対応していません。
- ※13 音声コーデックaptX、SBC、AACに対応しています。
- ※14 CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※15 「カメラ」利用時の仕様です（P.100「カメラ」）。
- ※16 撮影サイズが「HD:1280×720」の場合の撮影時間です。
- ※17 縦画面利用かつイヤホンマイク利用時の視聴時間です。

■ 電池パック

品名	電池パック SH45
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8 V
公称容量	1680 mAh

■ 卓上ホルダ

品名	卓上ホルダ SH50
入力	DC 5.0 V、1.8 A
出力	DC 5.0 V、1.8 A

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-02Lの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.602W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.568W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

https://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the head is 0.60 W/kg* and when worn on the body is 1.34 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-02L is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Description of accessories

Battery Pack	3.8V 1,680mA · h
Headset, Handsfree	Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD / microSDHC
nano UIM card	DOCOMO nano UIM card / non-DOCOMO nano UIM cards non-DOCOMO nano UIM cards can be used after SIM-unlocking the handset.
Cradle	For charging, peripherals, etc.

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8MHz	Rx 925.2 to 959.8MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8MHz	Rx 1805.2 to 1879.8MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6MHz	Rx 2112.4 to 2167.6MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5MHz	Rx 2112.5 to 2167.5MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3MHz	Rx 1805.7 to 1879.3MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480MHz	Rx 2402 to 2480MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20MHz only)	
NFC	Tx/Rx 13.56MHz	
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375MHz)	

● Maximum transmit power

GSM 900	+33dBm(Power Class4)
DCS 1800	+30dBm(Power Class1)
WCDMA FDD I	+24dBm(Power Class3)
LTE Band 1	+23dBm(Power Class3)
LTE Band 3	+23dBm(Power Class3)
Bluetooth	+11.5dBm(Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+15.0dBm
NFC	0dB μ A/m at 10m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.

2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the head is 0.60 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.32 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> after searching on FCC ID APYHR000268.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO for use with the handset.

May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

Do not throw the battery pack into a fire or heat it.

The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.

May cause fires or damage to the environment. Place tape over the connection terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used batteries.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 120.0 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C .

 : This symbol means the stand-by on/off.

Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries

<docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

 0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 (No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 113 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
NTT DOCOMO website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display "+" on the screen -81-3-6832-6600
(toll free)

(to enter "+", press and hold "0".)

※ You can call using international call access code instead of "+".

From land-line phones

International call access code -81-3-6832-6600
for the country you stay (charges apply)

- ※ You are charged a call fee to Japan.
- ※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.
- Please confirm the phone number before you dial.
- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「おサイフケータイ」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ®」、「デコメール®」、「デコメ絵文字®」、「iモード」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「spモード」、「iチャネル」、「あんしんスキャン」、「あんしんナンバーチェック」、「あんしんマネージャー」、「オフィスリンク」、「dmenu」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「iチャネル」ロゴ、「ドコモメール」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
 - キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
 - Microsoft®、Windows®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Microsoft® Excel®、Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
 - OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
 - QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 
- ♪はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
 - FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org/>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2018 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2018 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、UD新ゴを搭載しています。「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google 検索、Google 検索 ロゴは、Google LLCの商標です。

- iPadは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 「AQUOS/アクオス」、「AQUOS」ロゴ、「SHSHOW」ロゴ、「PASSNOW」、「エスショイン/S-Shoin」、「スムーズトーク」、「はっきりビュー」、「LCフォント/LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。



- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておられません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
 その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。

- タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。
- 追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

- 本書では各OS (日本語版) を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で☒▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [オープンソースライセンス] をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
- <http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを取り付ける
- 2 電源を入れる
- 3 SIMロック解除コードを入力
- 4 [ロック解除]▶☉

索引

あ

アカウント	147
アカウントを追加	94
明るさのレベル	136
空き容量確認	78
後で	192
アプリ情報	
アプリと通知	148
スケジュールの設定	134
アプリ使用履歴の利用	68
アプリと通知	148
アプリの権限	148
アプリの設定をリセット	153
アプリの通知	149
アプリレベルの権限	139
アラーム	
アラーム	115
スケジュール	134
暗号化と認証情報	143
暗証番号	143
あんしんナンバーチェック	169
あんしんフィルター for docomo	169
あんしんマネージャー	138
安全上のご注意 (必ずお守りください)	6
位置情報	139
位置情報付加	
静止画撮影の設定	104

動画撮影の設定	106
今すぐ更新	192
引用・連携	61
ウェブブラウザ	95
受取確認通知	91
英語ガイドンス	79
閲覧に切り替え	89
エフェクト	156
遠隔操作設定	79
遠隔操作 (有料)	176
応答拒否SMS	80
応答時間設定	78
応答メッセージ設定	78
オープン時動作	80
オープンソースライセンス	
その他設定	81
ドコモサービス	138
オープンネットワークの通知	65
オールリセット	153
お気に入りの利用	68
おサイフケータイ	130
おサイフケータイ ロック	131
お知らせアイコン	38
お知らせ・ヘルプ	114
お問い合わせ	174
オフィスリンク設定	82
オフタイマー設定	111
主な仕様	193
音楽	154
音声切替	111
音声／字幕設定	111
音声多重切替	111

音声発信制限	141
音量	137

か

カーソルの合わせかた	35
カーネルバージョン	151
海外故障	81
海外設定	175
海外でご利用になる前に	172
海外で電話を受ける	175
海外で利用可能なサービス	171
海外で利用するための設定	173
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	174
海外紛失・盗難等	81
海外利用	171
開始	126
回転	156
顔かくし	156
顔文字リセット	59
鏡	156
学習辞書リセット	59
各種リセット	59
各部の名称と機能	31
画像	154
画像の読み込み	99
画像編集	156
画像を登録	155
家族あんしん通知	170
壁紙	136
壁紙・ディスプレイ	135

カメラ	
カメラ	100
静止画撮影の設定	103
カメラ起動	88
カメラの撮影サイズ	102
カメラへ切替	105
カメラをご使用になる前に	100
カメラを使用中の動作について	102
画面回転	110
画面の固定	143
画面のロック	140
画面ロック中の表示	149
画面ロックの音	138
カレンダー表示	136
キー照明	135
キー操作音	138
キー操作ヘルプ	105
キーボードの変更	152
キーボードを管理	152
帰国後の確認	177
機内モード	144
基本操作	35
キャッチホン	79
切替条件設定	170
緊急速報「エリアメール」	167
緊急速報「エリアメール」を設定する	168
緊急通報	72
クイック起動キー	
クイック起動キーの利用	69
待受・壁紙	136
クイックサイレント	80
くっきりトーク	81

区点コード	62	災害用音声お届けサービス	166
国番号	176	災害用伝言板	166
クラウド設定	134	再生	113
クラウドと同期	134	サイト閲覧履歴の利用	98
グループの利用	85	サイレントマナー	137
クローズ動作設定	111	削除	113
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	196	サブアドレス設定	81
ケータイデータお預かりサービス	129	サブディスプレイ	136
結果画面閲覧	127	サブディスプレイの見かた	42
言語 (Language) を選択	147	時刻設定	149
検索	113	辞書	59
公共モード (電源OFF) 設定	79	下書き保存	89
公衆電話着信拒否	80	自動大文字変換	59
交通情報	114	自動カーソル移動	59
高度な設定		自動スペース入力	59
セキュリティ	140	自動変換機能	176
ブラウザ	99	字幕	152
項目の選択	35	字幕切替	111
国際ダイヤルアシスト	176	写真	154
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける	174	写真・画像	88
国際電話 (WORLD CALL)	73	写真を転送する (PTP)	157
国際プレフィックス	176	渋滞表示 (VICS)	114
国際ローミング (WORLD WING) の概要	171	充電	53
この端末を充電する	157	充電開始音	138
コピー他 (範囲選択)	58	従来の携帯電話から	126
コピー履歴	61	省エネ・電池	138
コンテンツ一覧	155	詳細情報	155
さ		詳細設定	
サービス選局	110	静止画撮影の設定	104
		長エネスイッチ	170
		動画撮影の設定	106
		証明書インストール	65

証明書をインストール	143	世界時計	119
使用履歴へのアクセス	143	赤外線送受信	158
初期設定	63	赤外線送受信のご利用にあたって	158
書類	154	赤外線通信	158
新規作成	133	セキュリティ	140
人物		セキュリティキー設定	143
静止画撮影の設定	103	接続不良のとき無効にする	65
動画撮影の設定	105	設定	114
シンプルメニュー	35	設定の切替	41
シンプルメニュー一覧	181	設定メニュー	135
信頼できるエージェント	143	設定リセット	59
信頼できる認証情報	143	セピア	103
スクリーンショットの撮影	43	セルフタイマー	
スケジュール	133	静止画撮影の設定	104
ステータスアイコン	39	動画撮影の設定	106
ステータスバー	38	セルフチェック	150
ステータスパネルの利用	41	前月	133
ストップウォッチ	118	全件削除	133
ストレージ	150	全件データ送信（共有）	84
ストレージのタイプ	143	全般設定	94
スピードダイヤルで電話をかける	71	操作ガイド	36
すべて再生	113	操作ガイド	110
すべてシャッフル	113	操作時パイプ	138
スポット検索	114	装飾	58
スマートフォンから	126	送信	155
スムーズトーク	81	送信先	170
スレッドの削除	91	送信時刻	170
請求期間	146	送信時文字コード設定	152
静止画撮影画面の見かた	103	挿入	58
静止画撮影の設定	103	ソート	155
静止画の撮影	102	その他	
製品情報	111	その他	147

マナー・音・バイブ	138
その他設定	81
その他のファイル	88
ソフトウェアアップデート	191
ソフトキーボード	152

た

滞在国外（日本を含む）に電話をかける	174
滞在国内に電話をかける	174
タイマー	118
タイムゾーンの自動設定	149
タイムゾーンの選択	149
タイムラプス	105
ダウンロード辞書	59
ダウンロード辞書を追加	59
ダウンロード履歴の表示	99
卓上ホルダで充電	54
誕生日データ更新	134
端末情報	151
端末とパソコンの接続方法	157
端末の暗号化	143
端末の状態	151
端末開いた回数	170
地域を選んで作成	109
チェックボックス	41
地図	114
知的財産権について	202
着信相手表示	136
着信・お知らせ	137
着信音	91

着信音に設定	113
着信拒否設定	80
着信／充電ランプ	42
着信設定	80
着信通知	79
着信履歴	77
着信履歴の削除	77
チャンネル一覧	110
チャンネル個別登録	110
チャンネルサーチ	110
チャンネル設定	110
チャンネルリスト切替	110
チャンネルリストの作成	108
チャンネルリスト編集	110
チャンネルを探して作成	109
長エネスイッチ	170
長エネスイッチの概要	170
通常マナー	137
通信事業者の設定	173
通知アイコン	37
通知不可能着信拒否	80
通知連携（PASSNOW）	152
通話音質設定	81
通話音声・伝言メモ	78
通話音声メモ自動録音	78
通話音声メモ保存先設定	78
通話音声メモリスト	78
通話時間	170
通話中の操作	75
通話モード設定	145
つながり予測	59
定型文入力	

引用・連携	61	転送でんわサービス	79
定型文入力	61	転送でんわサービス (有料)	176
データBOXからデータの送信	122	電卓	114
データ使用量		電池	138
ネットワーク	146	電池残量	170
モバイル ネットワーク	145	電池残量で切替	170
データセーバー	146	電池残量表示	135
データ通信制限	144	電池パック	52
データの移動/コピー	156	テンプレート	89
データのサブメニュー操作	155	点滅させて通知	149
データ引継	126	電話	70
データ放送再読み込み	110	電話帳	
データ放送設定	111	電話帳	82
データ保存	126	ドコモメール	88
データ保存先の表示変更	155	電話帳画像保存	127
データローミング	173	電話帳検索	83
データをmicroSDカードにバックアップ	129	電話帳名前データと連携	59
データを端末に復元	129	電話帳の確認/利用	83
テキストメッセージの制限件数	91	電話帳の削除	84
デコメ	58	電話帳の登録	82
デコメール®	88	電話帳のバックアップ/復元	84
デザリング	66	電話発着信回数	170
デフォルト アプリ	148	電話を受ける	73
デフォルトのSMSアプリ	91	電話をかける	70
手ぶれ軽減	104	動画	88
テレビ終了	110	動画撮影画面の見かた	105
テレビ (ワンセグ)	108	動画撮影の設定	105
テレビ (ワンセグ) の視聴	109	動画の撮影	104
テレビ (ワンセグ) の設定	111	登録	155
電源を入れる	57	登録外着信拒否	80
伝言メモ設定	78	特別なアプリアクセス	148
伝言メモリスト	78	時計表示	136

ドコモnanoUIMカード	44
ドコモアプリ管理	138
ドコモあんしんスキャン	168
ドコモ位置情報	138
ドコモ故障問合せ	81
ドコモサービス	138
ドコモ総合案内・受付	81
ドコモへのお問合せ	81
ドコモメール	87
ドコモメールの作成・送信	87
ドコモメールの受信	89
ドコモ留守電アプリ	86
閉じたときに点灯	136
ドライブマナー	137
トラブルシューティング (FAQ)	182
取り扱い上のご注意	19
取扱説明書	129
取り込み前の準備方法	126
トリミング	156

な

内線着信	80
ナビゲーション	114
日時の自動設定	149
入力設定	58
入力方式	58
入力補助・変換	58
認証	151
認証ストレージの消去	143
ネット変換エンジン	59

ネットワーク	
ネットワーク	144
モバイル ネットワーク	145
ネットワークサービス	
発着信・通話設定	79
ローミング中のネットワークサービス	176
ネットワーク制限	146
ネットワーク設定のリセット	153
ノーマルメニュー	35
ノーマルメニュー一覧	178
のぞき見防止	136

は

バーコードリーダー	
引用・連携	61
カメラ	106
バイブレーション	91
パスワード	143
パソコンとの接続	157
はっきりビュー	135
バックライト点灯時間	135
発信者番号通知	79
発信設定	81
発着信・通話設定	79
貼り付け	58
貼り付け (履歴)	58
番組表の利用	110
番号指定拒否	80
番号通知お願ひサービス	79
番号通知お願ひサービス (有料)	176

微速度撮影間隔	106	フォルダ名編集	156
非通知着信拒否	80	フォントサイズ	152
日付移動	133	不在着信表示	74
日付スタンプ	156	ブックマーク	96
日付設定	149	プッシュ信号の入力	71
日付と時刻		プライバシーとセキュリティ	99
海外で利用するための設定	173	プライバシーポリシー	94
その他	149	ブラウザ起動	98
ビデオへ切替	103	ブラウザ設定	99
表示切替	155	古いメッセージを削除	91
表示時間設定	136	プレイリスト内削除	113
表示条件	133	プレイリストに追加	113
表示中のサイトやブックマークしたサイトをペア設定した		プレイリストの管理	113
タブレットに表示	122	プレイリスト保存	113
表示パターン	136	プレビュー	89
標準		プレフィックス設定	81
静止画撮影の設定	103	プレフィックス付与機能	82
動画撮影の設定	105	プロキシ設定	144
ビルド番号	151	プロフィール	43
ファイル操作	154	ペア設定	121
ファイル保存先	99	ペア設定したiPadの通知を本端末に表示	124
ファイルを転送する	157	ペア設定したタブレットからSMSを送信	125
風景（自然）		ペア設定したタブレットから受信した電話番号へ発信	123
静止画撮影の設定	103	ペア設定したタブレットで本端末の写真／動画を取り込む	125
動画撮影の設定	105	ペア設定したタブレットの着信・通知を本端末に表示	124
フォーカス設定		ペア設定した本端末やタブレットを鳴動させて探す	125
静止画撮影の設定	104	ページを共有	122
動画撮影の設定	106	ベースバンドバージョン	151
フォーカスモードの利用	37	ヘルプ	
フォルダー一覧	155	スケジュールの設定	134
フォルダ削除	156	静止画撮影の設定	104
フォルダ作成	156		

編集キャンセル	58
ボイスレコーダー	117
ポインタアイコンの拡大設定	152
ポインタ設定	99
ポインタの速度	152
ポインタの利用	95
防水／防塵／耐衝撃性能	25
法的情報	151
ホームページを設定	99
保証とアフターサービス	188
歩数	170
歩数計	
歩数計	119
待受画面・壁紙	136
補正効果	156
保存先設定	
静止画撮影の設定	104
動画撮影の設定	106
保存せずに終了	89
保存ファイルの整理	127
保留	75
保留転送機能	82
ホワイトバランス	
静止画撮影の設定	104
動画撮影の設定	106
本体メモリ（内部ストレージ）	154
本端末で利用する暗証番号	141
本端末のご利用について	5
本端末の着信・通知をペア設定したタブレットに表示	123
本端末の持ちかた	101
翻訳設定	168

ま

マイク	106
マイデータ	114
待受画面・壁紙	136
待受画面の見かた	36
マナー・音・バイブ	137
マナーモード設定	
OFF	137
マナー・音・バイブ	137
見栄え補正	136
ミュージック	112
迷惑電話ストップサービス	79
メール	87
メール作成画面	87
メール問い合わせ	89
メッセージの確認	166
メッセージの削除	91
メッセージの設定	91
メッセージの送信	166
メッセージの転送	91
メッセージの表示	90
メッセージの返信	90
メニュー一覧	178
メニューの操作	35
メモ	116
メモの確認	116
メモの登録	116
メモリ使用状況	155
モード切替	
静止画撮影の設定	103

動画撮影の設定	105
文字サイズ・フォント	135
文字種変更	58
文字入力	57
文字入力のサブメニュー操作	58
文字入力のしかた	60
文字入力のしくみ	57
文字入力の設定	58
モデル番号	151
モノクロ	103
モバイルデータ	
データ使用量	146
モバイル ネットワーク	145
モバイルデータ使用	146
モバイル ネットワーク	145

や

夜景	103
夜景+人物	103
やさしい日本語表示	168
ユーザー辞書	59
ユーザー辞書登録(白)	58
ユーザー認証情報	143
ユーザーフォルダ	154
ユーザー補助	
ウェブブラウザ	99
その他	152
優先ネットワークモード	173
輸出管理規制	202
翌月	133

予測変換	59
呼出動作開始時間設定	80

ら

リサイズ	156
リセット	153
リダイヤル	77
リダイヤルの削除	77
リラックス画質	135
留守番電話サービス	79
留守番電話サービス(有料)	176
連写撮影	103
ローミングガイドランス	175
ローミングガイドランス(有料)	176
ローミング時着信規制	175
ローミング着信通知	175
ローミング着信通知(有料)	176

わ

ワイルドカード予測	
文字入力の設定	59
ワイルドカード予測での入力方法	61
ワンセグ	108

英数字

ACアダプタ/DCアダプタで充電	55
Androidビーム	132
Bluetooth機能の利用	162

Bluetooth通信	160	SIMロック解除	204
Bluetooth通信送受信	164	SMS	89
Bluetoothテザリング	66	S-Shoin	152
dアカウント設定	138	TVリンク	111
dメニュー・検索	95	USBケーブル A to B 01で充電	56
Google検索		USBテザリング	66
引用・連携	61	USBデバッグ切替	138
ウェブブラウザ	98	VPN	147
GPS機能の利用	139	Wi-Fi Direct	65
GSM	173	Wi-Fi データ使用量	146
HDR	103	Wi-Fiテザリング	66
iDアプリ	132	Wi-Fiテザリングを設定	66
IPアドレス	65	Wi-Fiの設定	64
ISO感度	104	WORLD CALL	73
iチャンネル表示	136	WORLD WING	171
JANコードとは	106	WPS PIN入力	65
MACアドレス	65	WPSプッシュボタン	65
microSDカード (外部ストレージ)	154	3G/GSM	173
NFC設定	132	4G/3G/GSM (自動)	173
OSセキュリティパッチ	151	24時間表示	149
OSバージョン	151		
PASSNOW (タブレット連携)	121		
PCメール	92		
PINロックの解除	144		
QRコードとは	106		
Reader/Writer, P2P	132		
SDカードバックアップ	128		
SIM PINの変更	144		
SIMカードから復元	84		
SIMカードのメッセージ	91		
SIMカードロック設定	144		
SIMカードをロック	144		

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード (☞ P.137 「マナーモード設定」)

本端末から鳴る音を消します。

※ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード (電源OFF) (☞ P.79 「ネットワークサービス」)

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ (☞ P.137 「マナー・音・バイブ」)

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ (☞ P.78 「通話音声・伝言メモ」)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス (☞ P.79 「ネットワークサービス」)、転送でんわサービス (☞ P.79 「ネットワークサービス」) などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクル・ネットワーク
携帯電話 PHSのリサイクルにご協力ください。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ (自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から ▶dメニュー・検索▶My docomo（お客様サポート）

パソコンから My docomo(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600（無料）

（「+」は「0」キーを1秒以上押します。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号

-81-3-6832-6600（有料）

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

**総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞**

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

**故障お問い合わせ・
修理お申込み先**

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



キケン!
水ぬれ充電



'19.1 (1.6版)
19A YI220①